

社会課題に関する日米独3か国意識調査  
— 生活者、働き手、消費者、投資家、有権者としての意識 —

結果報告書

2022年10月27日

(一社) 経済社会システム総合研究所  
「KAITEKI 研究会」

## 【目次】

1. 本調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査テーマ	1
4. 回答者の属性に関する調査項目	2
5. 調査結果	3
<生活者としての意識（生活満足度等）>	3
問1 生活満足度（1点～10点）	
問2 生活の満足にとって、どの要素が重要か	
問3 自分の属する世代が他の世代に比べ「楽」か「厳しい」か	
問4 家族、地域、職場で信頼できる人はどれくらいいるか	
問5 家族、地域、職場で信頼されているか	
問6 孤独や孤立を感じることはあるか	
問7 政府（国）を信頼できるか	
問8 将来世代のためにCO2削減、省エネ、食品ロス削減などの努力をしているか	
問9 「カーボン・ニュートラル」や「サーキュラー・エコノミー」を知っているか	
問10 過去1年の間にボランティアや寄付を行ったことがあるか	
問11 望ましい社会をつくるために役割を果たすべき主体は	
<働き手としての意識>	40
問12 働き手として企業に求めるものは何か	
問13 仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか	
問14 仕事（家事、学業を含め）で世の中に役立っていると感じるか	
<消費者としての意識>	47
問15 消費者として、買い物をする時に気になる要素は何か	
問16 CO2排出ゼロにするための追加費用をどの程度まで価格上昇として容認できるか	
問17 地域社会への貢献のための追加費用をどの程度まで価格上昇として容認できるか	
<投資家としての意識>	54
問18 株式、債券、投資信託への投資をどの程度行っているか	
問19 投資を行う際に、投資先企業が「社会課題」に取り組んでいるか否かを気にしているか（問18で「投資をしている」と回答した人に質問）	

<b>&lt;イノベーションについての意識&gt;</b> .....	<b>58</b>
問 20 近年のA I やロボットなどのイノベーションについてどのように感じているか	
<b>&lt;政府のあり方についての意識&gt;</b> .....	<b>60</b>
問 21 政府（国や自治体）が果たすべき重要な役割は何か	
問 22 次世代・将来世代のために政府が支出を拡大すべき分野は	
問 23 次世代・将来世代のために政府が財政支出を拡大する場合、あなた自身は税負担をどの程度まで容認できるか	
<b>&lt;新型コロナ感染症についての意識&gt;</b> .....	<b>70</b>
問 24 新型コロナ感染症（COVID19）の拡大により、働き方、生活がどの程度変化したか（5段階評価）	
問 25 新型コロナ感染症（COVID19）が拡大する中で、社会とのつながりの重要性への思いは強くなったか否か（5段階評価）	
問 26 コロナの収束後、消費支出（外食、観劇・スポーツ、旅行など）を増やすか否か（5段階評価）	
<b>&lt;エネルギーの安定供給のために必要な対応&gt;</b> .....	<b>77</b>
問 27 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか	

## 1. 本調査の目的

近年、地球規模の気候変動や各国における格差や貧困の問題の拡大などを背景として、持続可能な環境や社会の実現など「社会課題」への取り組みへの関心が高まっている。本調査は、個人が生活者、働き手、消費者、投資家、あるいは有権者として「社会課題」をどのように意識しているのかを把握することを主な目的としている。

今回の調査では、「信頼関係」、「エンゲージメント」、「社会課題への企業の取組みに対する価格面での評価」「次世代・将来世代のための政府支出と負担のあり方」などの新たな設問を加え、本年7月～8月、日米独3か国で共通の質問により実施した。

(注) これまで、第1回、第2回の調査は日本を対象に2020年1月、2020年12月に実施。

第3回調査は日米独3か国を対象として2021年8月に実施

## 2. 調査の方法

日本、米国、ドイツ3か国において、18歳から69歳の個人を対象として（日本については、15歳～79歳について調査。ただし、3か国で比較する際には18歳～69歳を対象とした）、性別、年齢、居住地域の3要素について母集団の構成比に合うように調整しつつ、インターネットで回答を得た。回答者数は日本 2,200人余（70歳代の回答者を加えると2,600人余）、米国、ドイツはそれぞれ1,300人余である。

	日本	米国	ドイツ
対象地域	全国	全国	全国
対象者	15～79歳の男女個人(*)	18～69歳の男女個人	
回答者数	(15～79歳) 2,744人 (18～69歳) 2,215人	1,330人	1,322人
サンプリング	住民基本台帳に基づき性別、年齢別、居住地別の分布に合わせて割り当て	直近公表の政府統計データに基づき、性別、年齢別、居住地別の分布に合わせて割り当て	
調査手法	WEB調査		
調査期間	2022年7月26日(火)～8月2日(火)	2022年7月26日(火)～8月8日(月)	
実査実施機関	株式会社日本リサーチセンター		

(\*) 3か国で比較する際は、18～69歳の2,215人を対象とした。

## 3. 調査テーマ

以下の8分野について調査を行った。

「生活者としての意識（生活満足度等）」

「働き手としての意識」

「消費者としての意識」

「投資家としての意識」

「イノベーションについての意識」

「政府のあり方についての意識」

「新型コロナウイルス感染症についての意識」

「エネルギーの安定供給のために必要な対応」

#### 4. 回答者の属性に関する調査項目

回答者の属性として、性別、年齢、居住地域、居住地の都市規模、最終学歴（在学中を含む）、現在の仕事、最初に就いた仕事、同居の家族人数、個人年収、情報収集に用いるメディア、新型コロナウイルスワクチンの接種回数、マイナンバー・カードの保有状況（日本のみ）を調査した。

## 5. 調査結果

### <生活者としての意識（生活満足度等）>

#### 問1 生活満足度（1点～10点）

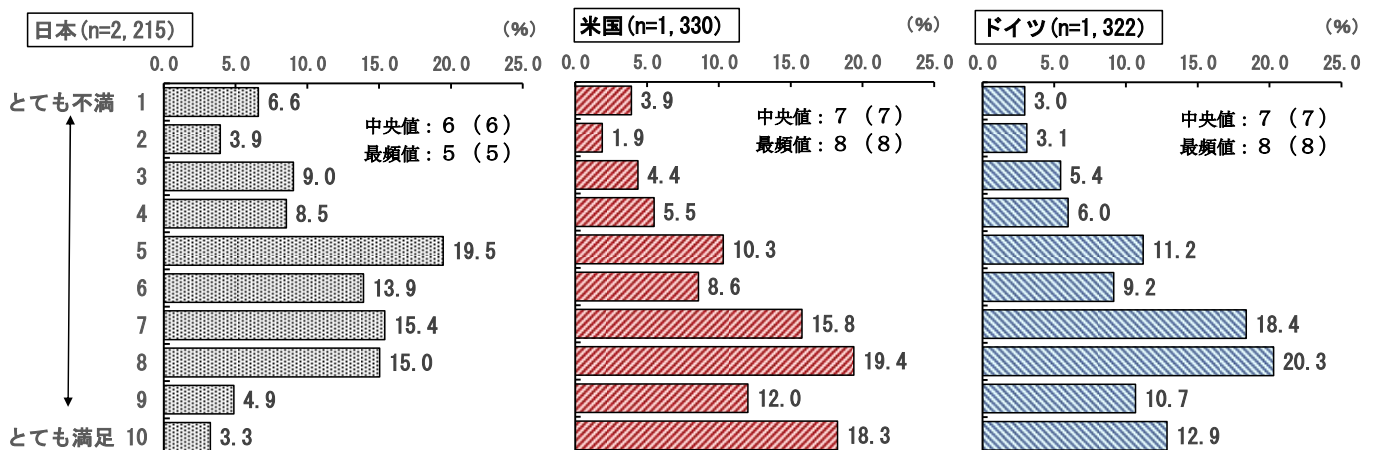
日本では、前回調査と同様、回答者全員の満足度の最頻値が5、中央値が6となり、米国、ドイツ（ともに最頻値が8、中央値が7）に比べかなり低い結果となった。年齢別にみると、日本では10歳代、60歳代がやや高く、就職氷河期世代に重なる30歳代、40歳代は低かった。米国、ドイツでは日本に比べ8点～10点の回答が多く、年齢別にみると、30歳代が高かった。

所得別にみると、3か国とも所得が高い層ほど満足度は高い傾向となった。

また、3か国とも家族との信頼関係がある場合は、満足度が高かった。

前回調査と比べ、満足度の水準は、3か国ともほぼ変化がなかった。

図表1-1 生活全般の満足度の分布（とても不満：1点～とても満足：10点）



(注) ( ) 内は21年調査の数値

図表1-2 世代別 生活全般の満足度（中央値・最頻値）

	【日本】			【米国】			【ドイツ】		
	回答者 (人)	中央値 (点)	最頻値 (点)	回答者 (人)	中央値 (点)	最頻値 (点)	回答者 (人)	中央値 (点)	最頻値 (点)
全体	2,215	6	5	1,330	7	8	1,322	7	8
10歳代	84	6	7	29	6	5	37	7	7
20歳代	334	6	5	298	7	7	224	7	7
30歳代	391	5	5	266	8	10	256	8	10
40歳代	507	6	5	248	8	10	237	7	8
50歳代	463	5	5	258	7	8	315	7	9
60歳代	436	6	8	231	8	8	253	7	9

図表 1 - 3 所得別 生活全般の満足度 (中央値・最頻値)

【日本】	回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体	2,215	6	5
0～100万円未満	693	6	5
100～200万円未満	269	5	5
200～400万円未満	408	6	5
400～600万円未満	276	6	7
600～800万円未満	146	6	7
800～1,000万円未満	65	7	8
1,000万円以上	76	7	6

(注)所得を「答えたくない」(n=282)と回答した人は中央値5、最頻値5

【米国】	回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体	1,330	7	8
0～1万ドル未満	113	6	10
1万～2万ドル未満	120	6	6
2万～4万ドル未満	242	7	8
4万～6万ドル未満	231	7	8
6万～8万ドル未満	175	8	8
8万～10万ドル未満	114	8	8
10万ドル以上	269	9	10

(注)所得を「答えたくない」(n=66)と回答した人は中央値7、最頻値7

【ドイツ】	回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体	1,322	7	8
0～1万ユーロ未満	125	6	5
1万～2万ユーロ未満	206	6	5
2万～4万ユーロ未満	364	7	8
4万～6万ユーロ未満	237	7	7
6万～8万ユーロ未満	139	8	8
8万～10万ユーロ未満	86	9	10
10万ユーロ以上	86	9	10

(注)所得を「答えたくない」(n=79)と回答した人は中央値7、最頻値8

図表 1-4 信頼関係（家族）別 生活全般の満足度（中央値・最頻値）

【日本】		回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体		2,215	6	5
信頼をおける人	家族・0人（誰もいない）	386	4	5
	家族・1人	470	5	5
	家族・2人	471	6	5
	家族・3～4人	604	6.5	8
	家族・5人以上	284	7	7
家族からの信頼	信頼されていない	232	3.5	1
	信頼されている	1,222	7	8
	わからない	761	5	5

【米国】		回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体		1,330	7	8
信頼をおける人	家族・0人（誰もいない）	102	5	1
	家族・1人	196	7	7
	家族・2人	271	7	8
	家族・3～4人	447	8	10
	家族・5人以上	314	8	8
家族からの信頼	信頼されていない	96	5	7
	信頼されている	1,123	8	8
	わからない	111	6	5

【ドイツ】		回答者(人)	中央値(点)	最頻値(点)
全体		1,322	7	8
信頼をおける人	家族・0人（誰もいない）	91	5	10
	家族・1人	240	7	5
	家族・2人	312	7	8
	家族・3～4人	432	7	7
	家族・5人以上	247	7	8
家族からの信頼	信頼されていない	72	6.5	7
	信頼されている	1,119	7	8
	わからない	131	5	8



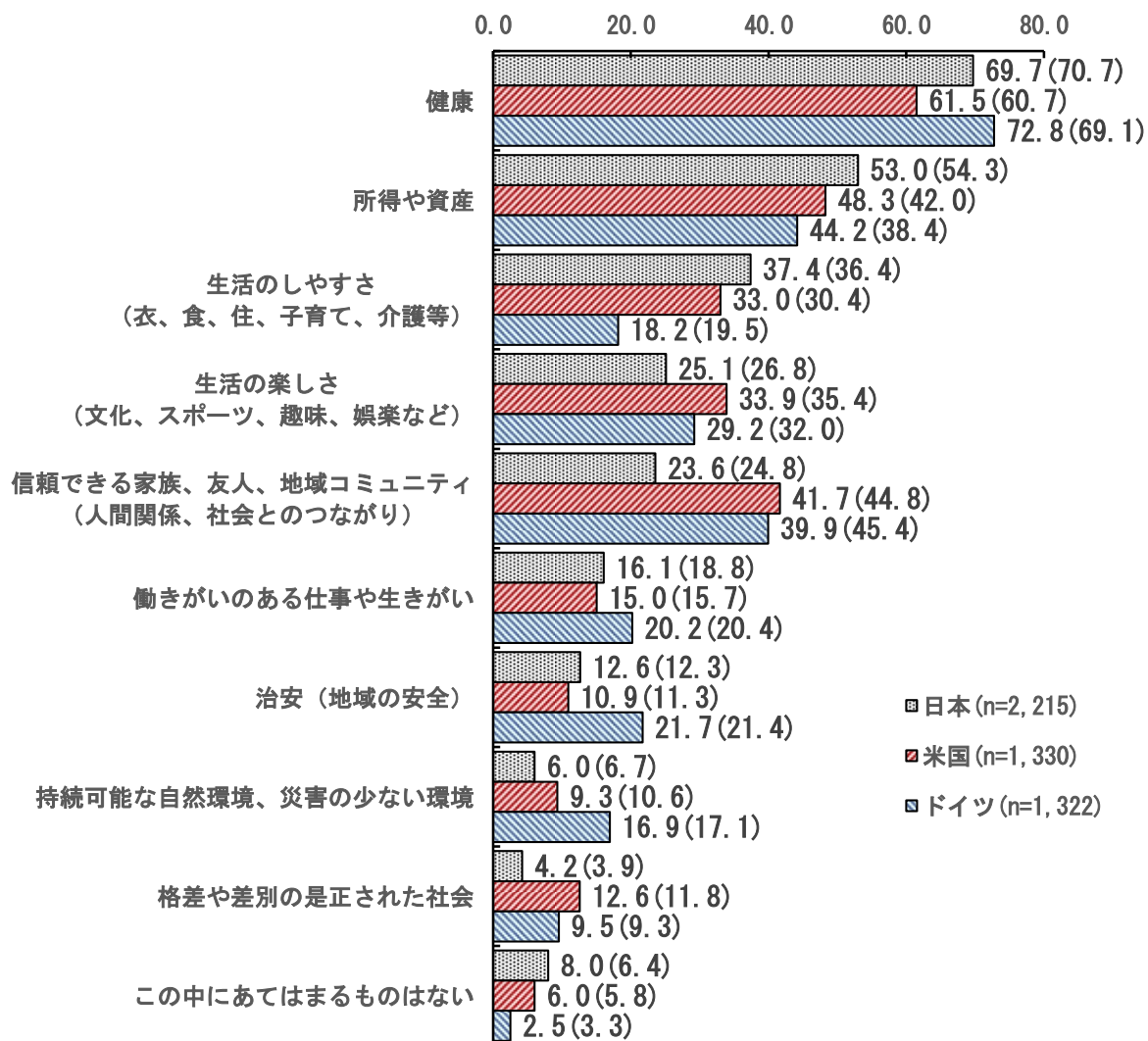
## 問2 生活の満足にとって、どの要素が重要か

「生活の満足にとって重要な要素」として、3 か国ともに、所得などの経済的要素だけでなく、「健康」や「生活」、「信頼できる家族や友人」、さらには持続可能な環境や社会などの「社会課題」を含め多くの要素が選択された。

日本では、回答者の7割が「健康」、5割強が「所得や資産」を挙げたのに比べ、「格差や差別の是正された社会」、「持続可能な自然環境」などを挙げた人の割合は低かった。年齢別にみると、若年層に比べ高齢層が「持続可能な自然環境」を重視する傾向が示された。

米国、ドイツでも「健康」、「所得や資産」を挙げる人が多かった。また「信頼できる家族・友人・地域」は日本に比べかなり高い割合となった。他方、「格差や差別の是正された社会」、「持続可能な自然環境」を挙げた人の割合は低かった。なお、「治安」を挙げた人の割合は、ドイツが米国より高かった。

図表2-1 生活満足にとっての重要度（3つまで回答、日本の回答結果で降順）  
(%)



(注) ( ) 内は21年調査の数値

図表 2-2 世代別 生活満足にとっての重要度  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	健康	所得や資産	生活のしやすさ	生活の楽しさ	信頼できる家族、友人、 地域コミュニティ	働きがいのある仕事や 生きがい	治安(地域の安全)	持続可能な自然環境、 災害の少ない環境	格差や差別の是正され た社会	この中にあてはまる ものはない
--	-------------	----	-------	---------	--------	-------------------------	--------------------	-----------	------------------------	-------------------	--------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	69.7	53.0	37.4	25.1	23.6	16.1	12.6	6.0	4.2	8.0
10歳代	84	45.2	41.7	28.6	44.0	27.4	15.5	10.7	6.0	10.7	16.7
20歳代	334	53.9	40.7	31.7	31.1	17.7	17.7	14.1	3.3	3.6	18.3
30歳代	391	58.3	52.9	41.2	29.7	22.5	14.1	12.8	3.1	4.6	12.0
40歳代	507	70.2	55.8	42.8	20.3	24.1	19.1	12.2	5.7	4.7	6.5
50歳代	463	76.9	60.5	38.0	17.1	22.9	17.1	12.1	7.6	4.8	3.5
60歳代	436	88.5	53.4	33.0	26.8	28.4	12.2	12.8	9.4	1.8	1.4

【米国】

(%)

全体	1,330	61.5	48.3	33.0	33.9	41.7	15.0	10.9	9.3	12.6	6.0
10歳代	29	55.2	37.9	27.6	31.0	44.8	20.7	13.8	10.3	17.2	3.4
20歳代	298	49.3	38.3	37.6	34.9	31.2	15.4	14.8	6.0	18.1	10.7
30歳代	266	56.4	45.1	39.5	35.7	42.5	20.3	13.2	9.4	10.2	3.8
40歳代	248	63.3	51.2	33.9	34.7	34.3	15.3	11.7	8.5	12.5	6.0
50歳代	258	67.8	58.1	27.5	35.7	47.7	17.1	5.0	10.1	6.6	5.4
60歳代	231	74.9	51.9	25.5	28.1	55.0	5.2	8.7	13.4	14.3	3.5

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	72.8	44.2	18.2	29.2	39.9	20.2	21.7	16.9	9.5	2.5
10歳代	37	45.9	35.1	13.5	51.4	48.6	24.3	13.5	5.4	13.5	—
20歳代	224	71.0	44.2	25.4	32.6	32.6	21.4	21.9	6.7	11.2	0.4
30歳代	256	60.9	50.8	24.6	28.1	36.3	19.9	28.1	12.1	8.6	3.1
40歳代	237	69.6	42.2	16.0	31.2	43.9	23.6	22.4	10.5	6.8	4.2
50歳代	315	78.7	44.4	16.5	24.8	40.6	23.2	17.8	22.9	10.5	2.9
60歳代	253	85.8	40.3	9.9	27.7	44.3	11.9	20.6	31.2	9.9	2.0

図表2-3 地域別・都市規模 生活満足にとっての重要度  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数(人)	健康	所得や資産	生活のしやすさ	生活の楽しさ	信頼できる家族、友人、地域コミュニティ	生きがいのある仕事や生きがい	治安(地域の安全)	持続可能な自然環境、災害の少ない環境	格差や差別の是正された社会	この中にあてはまるものはない
--	---------	----	-------	---------	--------	---------------------	----------------	-----------	--------------------	---------------	----------------

【日本】

(%)

全体	2,215	69.7	53.0	37.4	25.1	23.6	16.1	12.6	6.0	4.2	8.0
北海道	94	69.1	59.6	41.5	22.3	19.1	18.1	13.8	3.2	4.3	6.4
東北	148	70.9	55.4	40.5	25.0	18.9	16.9	13.5	6.1	6.1	6.1
関東・甲信	831	72.7	52.0	36.1	26.1	23.2	15.8	13.7	6.4	4.5	7.5
中部	348	69.3	53.7	35.1	22.1	22.7	15.2	11.8	8.3	3.4	10.3
近畿	364	62.1	53.3	38.2	25.8	25.8	16.5	13.2	4.4	4.1	8.5
中国	121	71.1	52.9	35.5	30.6	19.8	18.2	11.6	5.0	2.5	6.6
四国	64	67.2	40.6	43.8	18.8	26.6	12.5	7.8	6.3	6.3	14.1
九州	245	71.0	54.3	39.6	24.9	28.2	16.3	10.2	5.3	3.7	6.5
政令指定都市	815	72.5	54.8	36.6	24.2	24.7	16.7	12.9	5.2	3.8	7.2
上記以外の市	1,144	69.4	53.6	38.2	26.2	23.3	16.5	12.2	6.6	4.5	7.2
町	210	64.8	48.6	39.5	24.3	21.0	11.9	14.8	7.6	3.8	11.0
村	46	50.0	26.1	21.7	17.4	23.9	13.0	8.7	—	4.3	28.3

【米国】

(%)

全体	1,330	61.5	48.3	33.0	33.9	41.7	15.0	10.9	9.3	12.6	6.0
北東部	232	61.2	47.8	31.9	33.2	46.1	16.8	13.4	9.1	9.1	4.7
中西部	276	61.2	50.0	29.3	36.2	45.3	15.9	11.6	9.4	12.7	5.1
南部	503	62.0	46.7	33.6	32.8	39.0	13.9	10.9	8.7	14.5	7.8
西部	319	61.1	49.5	36.1	34.2	39.5	14.7	8.5	10.3	11.9	5.0
大都市	391	65.7	46.0	32.7	35.3	38.4	15.6	16.9	9.7	12.0	4.1
中小都市	293	57.7	47.8	31.4	33.8	38.6	15.4	9.6	7.8	14.7	7.5
郊外	417	61.2	49.9	31.9	34.1	47.0	14.4	8.6	11.3	13.2	5.0
地方	229	59.8	49.8	37.6	31.4	41.5	14.8	6.6	7.0	9.6	9.2

【ドイツ】

(%)

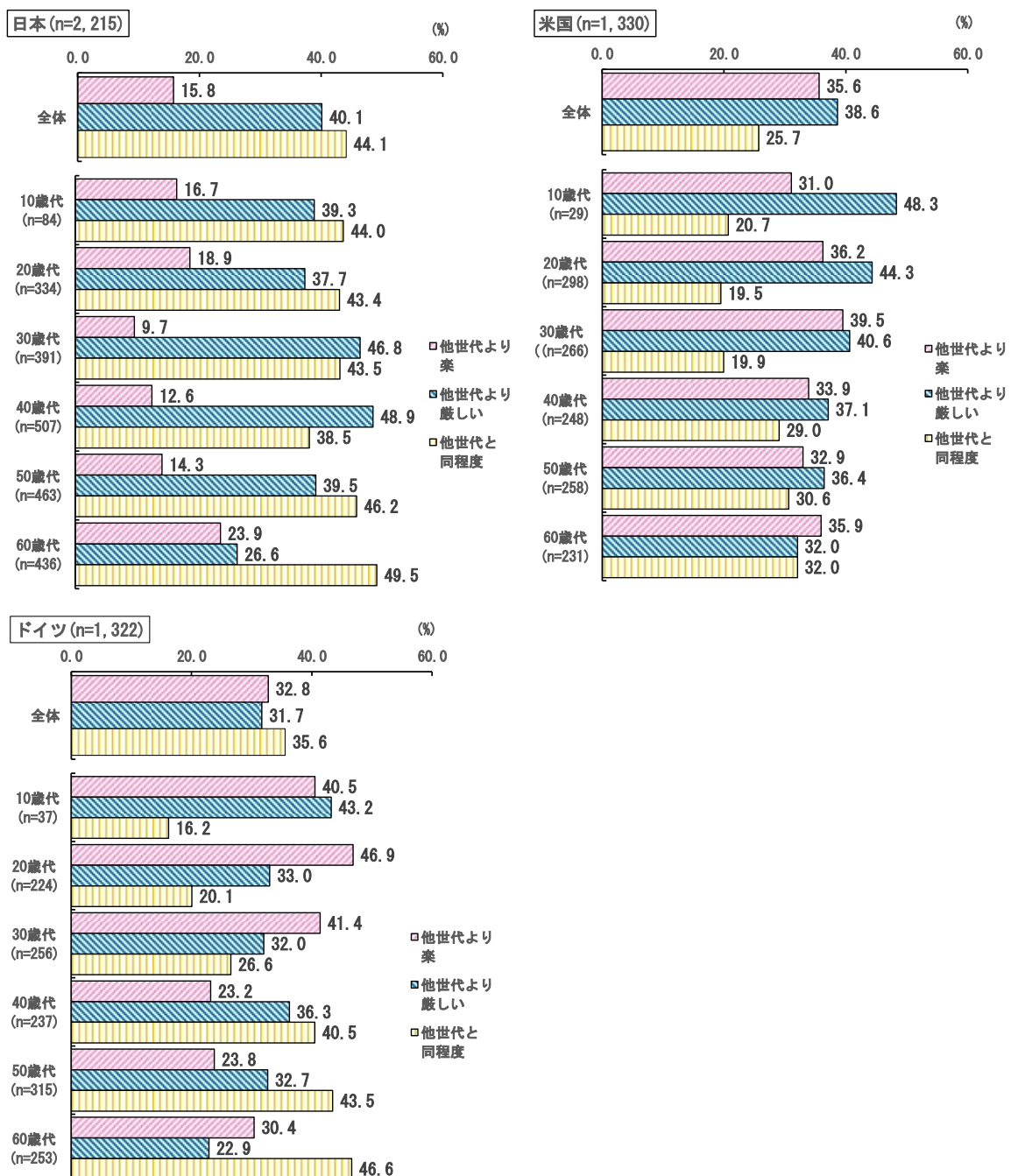
全体	1,322	72.8	44.2	18.2	29.2	39.9	20.2	21.7	16.9	9.5	2.5
北部	215	71.2	41.4	20.9	28.8	42.8	17.2	20.5	19.1	7.0	2.3
東部	251	67.7	50.6	16.7	26.7	33.1	23.5	27.5	15.5	8.8	2.0
中部	465	76.3	42.6	16.1	29.9	43.2	21.3	19.6	16.6	9.9	2.2
南部	391	72.6	43.5	19.9	30.2	38.9	18.4	21.2	17.1	11.0	3.3
大都市	461	72.2	45.1	23.2	27.1	33.8	18.9	26.2	15.0	6.9	2.0
中小都市	491	71.9	42.8	17.7	30.3	42.8	21.6	18.7	15.7	10.8	3.1
郊外	207	74.9	42.5	12.1	29.0	43.5	21.3	22.2	19.8	10.1	2.4
地方	163	74.2	47.9	12.9	31.9	44.2	18.4	17.2	22.7	12.3	2.5

### 問3 自分の属する世代が他の世代に比べ「楽」か「厳しい」か

日本では、全体で見ると「厳しい」が「楽」を大きく上回った。年齢別にみると、就職氷河期世代に重なる30歳代、40歳代で、男女とも「厳しい」とする回答が高かった。この世代、特に女性で、非正規雇用（派遣、パート・アルバイト等）比率が高いこと（次頁参照）と関連している可能性があると思われる。

米国、ドイツでは、「楽」と「厳しい」に大きな差はなかった。年齢別にみると、米国では、1990年代後半以降生まれの、いわゆるZ世代といわれる10歳代、20歳代で「厳しい」とする回答割合が高かった。

図表3-1 他世代に比べ楽か、厳しいか（1つだけ回答）



図表 3-2 性別・世代別 職業分布

	回答者数 (人)	農林漁業	自営業 (商工業)	その他自営業	公務員	会社員 (管理職)	会社員 (事務・技術職)	会社員 (労務・技能職)	派遣	日雇、 臨時雇	パート、 アルバイト、 日雇、 臨時雇	主婦・ 主夫専業	学生	無職
--	-------------	------	--------------	--------	-----	--------------	-----------------	-----------------	----	------------	------------------------------	-------------	----	----

【日本】

(%)

全体	2,215	0.6	4.6	3.5	2.0	7.3	21.8	8.4	1.4	13.1	17.2	4.9	15.1
男性	1,117	0.8	6.6	4.5	3.0	12.8	26.1	13.1	1.0	8.4	0.5	5.0	18.2
女性	1,098	0.5	2.6	2.6	1.0	1.6	17.5	3.6	1.8	17.9	34.2	4.8	11.9
10歳代	84	—	—	—	—	—	3.6	1.2	1.2	4.8	—	82.1	7.1
20歳代	334	0.9	0.9	2.7	3.0	2.1	29.6	11.1	0.9	16.8	5.1	11.4	15.6
30歳代	391	1.0	1.8	2.6	2.6	3.6	28.1	9.7	2.0	17.1	14.8	0.3	16.4
40歳代	507	1.0	6.3	4.3	2.0	8.7	26.4	9.9	2.2	13.2	15.8	0.2	10.1
50歳代	463	0.2	5.4	4.8	2.2	12.7	18.6	9.7	1.3	11.4	22.2	—	11.4
60歳代	436	0.2	8.0	3.4	1.1	8.5	11.7	3.4	0.5	10.1	28.2	—	24.8

【米国】

(%)

全体	1,330	1.3	7.4	4.7	3.9	17.2	10.4	7.8	1.3	6.0	9.2	3.1	27.7
男性	658	1.7	9.9	4.1	3.6	22.8	8.5	9.3	1.1	5.3	5.5	2.4	25.8
女性	672	0.9	5.1	5.2	4.2	11.8	12.2	6.4	1.5	6.7	12.8	3.7	29.6
10歳代	29	3.4	6.9	6.9	3.4	6.9	3.4	6.9	—	13.8	—	34.5	13.8
20歳代	298	1.3	6.4	5.7	3.7	14.4	12.8	8.7	3.0	8.4	9.7	9.1	16.8
30歳代	266	1.5	10.5	3.4	4.1	26.7	9.0	9.4	1.5	4.9	12.8	1.1	15.0
40歳代	248	1.2	14.1	5.6	5.2	22.6	7.7	10.1	0.8	5.6	8.1	0.4	18.5
50歳代	258	1.6	3.9	5.0	5.0	16.7	15.9	7.8	0.8	4.7	7.0	—	31.8
60歳代	231	0.4	2.2	3.0	1.3	6.1	6.5	2.6	—	5.2	9.1	—	63.6

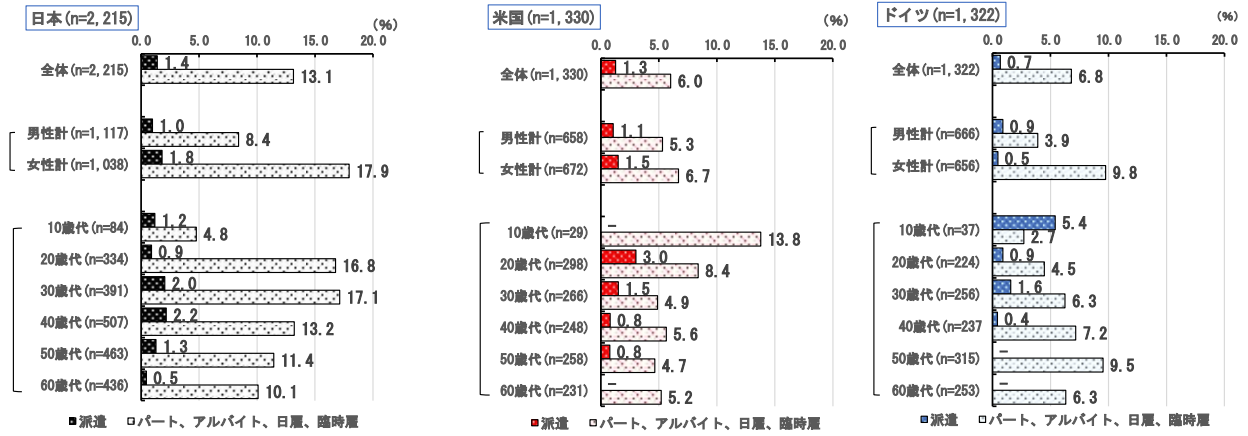
【ドイツ】

(%)

全体	1,322	3.9	5.1	4.6	3.7	12.3	19.2	12.9	0.7	6.8	11.4	5.1	14.3
男性	666	4.5	7.4	2.3	4.2	15.0	18.5	15.0	0.9	3.9	7.8	5.6	15.0
女性	656	3.2	2.9	7.0	3.2	9.5	20.0	10.8	0.5	9.8	15.1	4.6	13.6
10歳代	37	2.7	13.5	—	2.7	5.4	13.5	10.8	5.4	2.7	—	37.8	5.4
20歳代	224	7.6	5.8	6.3	5.8	12.1	14.3	12.5	0.9	4.5	4.5	19.6	6.3
30歳代	256	7.0	4.3	5.5	2.7	16.4	23.0	16.0	1.6	6.3	9.0	2.3	5.9
40歳代	237	4.6	5.5	3.4	1.7	18.6	26.2	14.8	0.4	7.2	6.8	1.3	9.7
50歳代	315	1.3	5.4	4.4	3.8	9.8	20.6	15.6	—	9.5	12.4	—	17.1
60歳代	253	—	3.6	4.3	4.7	6.3	12.3	5.5	—	6.3	24.9	—	32.0

図表 3-3

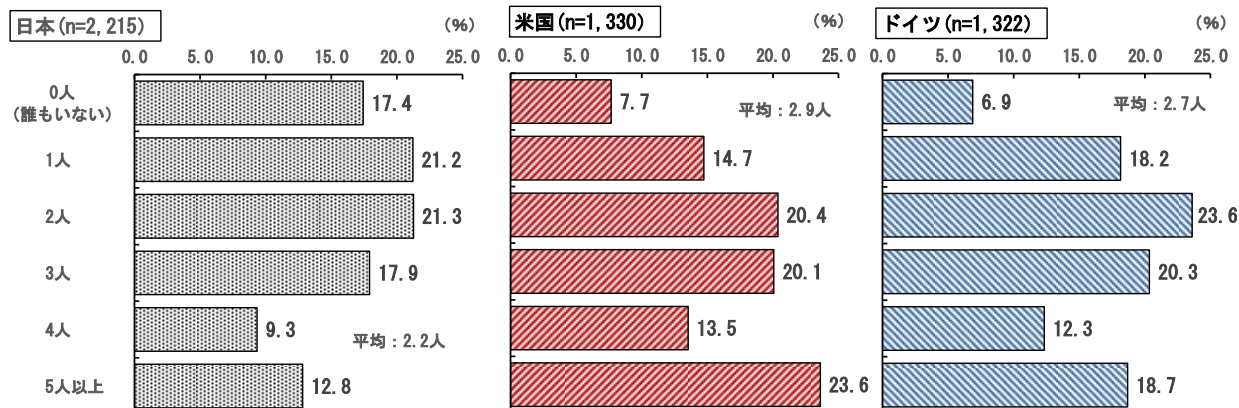
派遣、パート、アルバイト、日雇、臨時雇いが全体に占める割合（全体、性別、世代別）



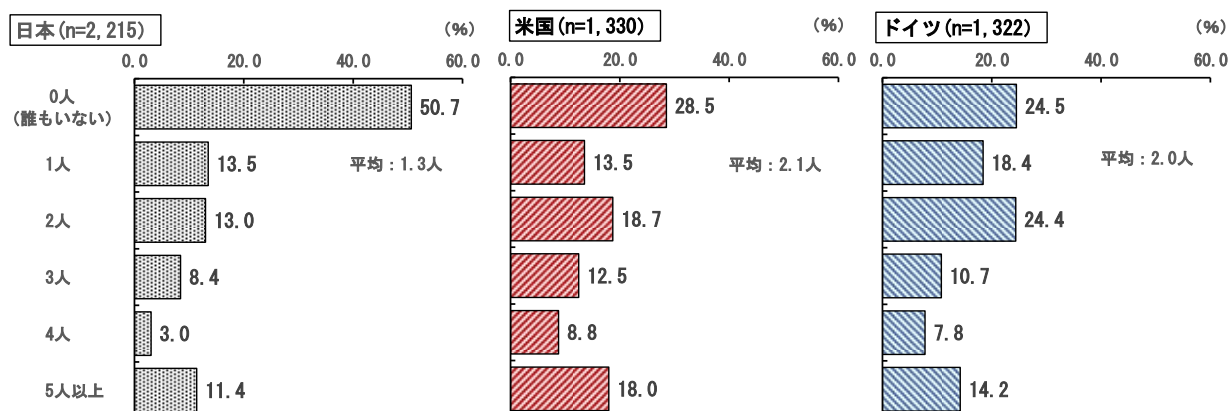
#### 問4 家族、地域、職場で信頼できる人はどれくらいいるか

日本では「家族」、「地域」、「職場（学校を含む）」のうち、特に、「地域」と「職場」で、信頼できる人が誰もいないという回答が約5割を占め、米国、ドイツに比べ高かった。「家族」についても、信頼できる人の数が米国、ドイツに比べやや少なかった。

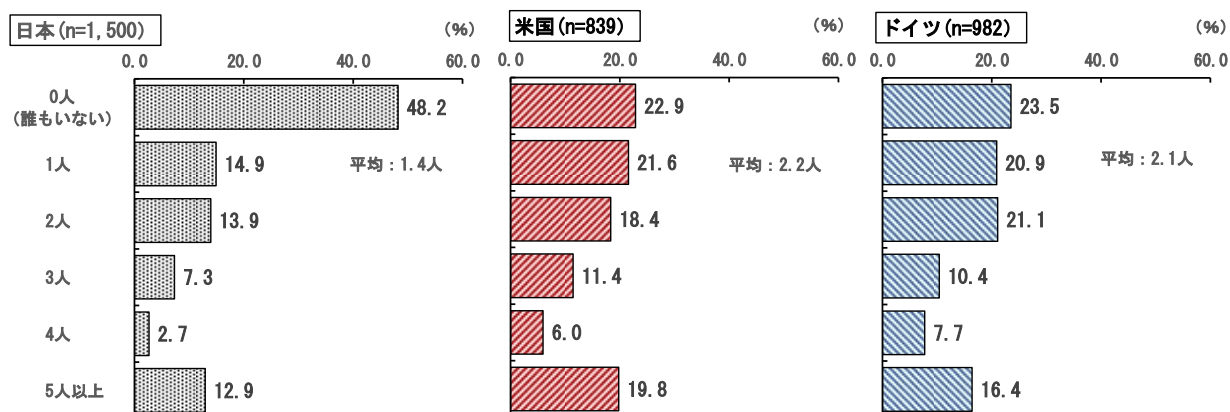
図表4-1-1 家族で信頼のできる人（1つだけ回答）



図表4-1-2 地域で信頼のできる人（1つだけ回答）



図表4-1-3 職場（学校）で信頼のできる人（1つだけ回答）



(注)「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

図表 4-2-1 性別・世代別 家族で信頼のできる人（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人 以上	平均 (人)
--	-------------	----	----	----	----	----	----------	-----------

【日本】

(%)

全体	2,215	17.4	21.2	21.3	17.9	9.3	12.8	2.2
男 性	1,117	20.2	21.8	20.7	17.5	8.2	11.5	2.1
女 性	1,098	14.6	20.6	21.9	18.4	10.5	14.1	2.3
10歳代	84	13.1	16.7	23.8	19.0	14.3	13.1	2.4
20歳代	334	21.0	16.2	26.3	21.6	8.4	6.6	2.0
30歳代	391	21.5	17.9	20.5	14.1	12.3	13.8	2.2
40歳代	507	17.6	18.7	22.9	17.6	9.3	14.0	2.2
50歳代	463	16.2	26.8	19.9	16.4	8.6	12.1	2.1
60歳代	436	13.1	25.9	17.2	20.4	7.3	16.1	2.3

【米国】

(%)

全体	1,330	7.7	14.7	20.4	20.1	13.5	23.6	2.9
男 性	658	6.7	13.5	19.3	23.3	14.3	22.9	2.9
女 性	672	8.6	15.9	21.4	17.0	12.8	24.3	2.8
10歳代	29	17.2	10.3	17.2	24.1	10.3	20.7	2.6
20歳代	298	7.4	13.1	20.8	22.1	13.4	23.2	2.9
30歳代	266	6.8	12.0	25.9	25.9	13.2	16.2	2.8
40歳代	248	7.3	15.3	16.9	19.4	21.8	19.4	2.9
50歳代	258	6.2	15.1	25.2	14.3	11.2	27.9	2.9
60歳代	231	10.0	19.5	12.1	17.3	8.2	32.9	2.9

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	6.9	18.2	23.6	20.3	12.3	18.7	2.7
男 性	666	6.3	20.0	24.0	19.7	12.5	17.6	2.6
女 性	656	7.5	16.3	23.2	21.0	12.2	19.8	2.7
10歳代	37	10.8	8.1	35.1	18.9	16.2	10.8	2.5
20歳代	224	8.0	17.4	25.4	21.9	12.9	14.3	2.6
30歳代	256	4.3	15.6	27.7	22.3	14.5	15.6	2.7
40歳代	237	5.5	19.8	20.7	20.3	14.3	19.4	2.8
50歳代	315	9.5	21.0	21.6	19.7	8.9	19.4	2.6
60歳代	253	5.9	17.8	21.3	18.2	11.5	25.3	2.9



図表4-2-2 性別・世代別 地域で信頼のできる人（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人 以上	平均 (人)
--	-------------	----	----	----	----	----	----------	-----------

【日本】

(%)

全体	2,215	50.7	13.5	13.0	8.4	3.0	11.4	1.3
男 性	1,117	55.3	12.9	11.4	8.0	2.5	9.9	1.2
女 性	1,098	45.9	14.1	14.7	8.9	3.6	12.8	1.5
10歳代	84	53.6	7.1	15.5	4.8	2.4	16.7	1.5
20歳代	334	58.7	13.8	9.9	7.5	3.3	6.9	1.0
30歳代	391	56.0	13.8	11.8	6.4	2.8	9.2	1.1
40歳代	507	48.7	12.4	17.0	8.1	3.9	9.9	1.4
50歳代	463	50.8	16.2	9.5	8.9	1.5	13.2	1.3
60歳代	436	41.3	12.6	15.1	11.7	3.7	15.6	1.7

【米国】

(%)

全体	1,330	28.5	13.5	18.7	12.5	8.8	18.0	2.1
男 性	658	25.1	12.5	18.4	15.0	10.0	19.0	2.3
女 性	672	31.8	14.6	19.0	10.0	7.6	17.0	2.0
10歳代	29	27.6	6.9	31.0	6.9	13.8	13.8	2.1
20歳代	298	28.9	12.4	17.8	14.8	8.4	17.8	2.1
30歳代	266	26.7	13.5	21.8	16.2	9.0	12.8	2.1
40歳代	248	31.0	10.9	16.5	10.1	11.3	20.2	2.2
50歳代	258	30.2	18.6	15.9	8.5	8.1	18.6	2.0
60歳代	231	25.5	13.0	20.3	13.0	6.5	21.6	2.3

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	24.5	18.4	24.4	10.7	7.8	14.2	2.0
男 性	666	24.9	18.2	24.6	11.0	6.9	14.4	2.0
女 性	656	24.1	18.6	24.1	10.5	8.7	14.0	2.0
10歳代	37	21.6	24.3	18.9	13.5	10.8	10.8	2.0
20歳代	224	25.4	22.8	29.0	11.6	3.1	8.0	1.7
30歳代	256	17.2	18.8	29.3	12.1	11.7	10.9	2.2
40歳代	237	26.2	19.4	21.1	10.1	9.7	13.5	2.0
50歳代	315	26.7	16.2	21.6	10.8	6.0	18.7	2.1
60歳代	253	27.3	15.0	22.5	8.7	7.9	18.6	2.1

図表 4-2-3 性別・世代別 職場（学校）で信頼のできる人（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人 以上	平均 (人)
--	-------------	----	----	----	----	----	----------	-----------

【日本】

(%)

全体	1,500	48.2	14.9	13.9	7.3	2.7	12.9	1.4
男 性	908	48.7	13.7	12.8	7.3	3.0	14.6	1.5
女 性	592	47.5	16.9	15.7	7.4	2.2	10.3	1.3
10歳代	78	35.9	7.7	11.5	7.7	2.6	34.6	2.4
20歳代	265	50.6	14.3	12.8	9.4	3.8	9.1	1.3
30歳代	269	55.0	11.9	14.9	4.5	2.2	11.5	1.2
40歳代	376	46.0	16.2	17.3	6.6	3.2	10.6	1.4
50歳代	307	48.9	17.3	10.1	8.5	1.6	13.7	1.4
60歳代	205	43.9	16.6	14.6	7.8	2.4	14.6	1.5

【米国】

(%)

全体	839	22.9	21.6	18.4	11.4	6.0	19.8	2.2
男 性	452	21.7	21.7	17.0	11.7	6.4	21.5	2.2
女 性	387	24.3	21.4	19.9	11.1	5.4	17.8	2.1
10歳代	25	20.0	20.0	28.0	8.0	12.0	12.0	2.1
20歳代	219	27.9	21.0	13.7	12.8	5.9	18.7	2.0
30歳代	192	22.9	25.5	16.7	12.0	5.7	17.2	2.0
40歳代	182	20.9	17.6	17.6	13.7	7.7	22.5	2.4
50歳代	158	20.3	23.4	22.8	7.0	2.5	24.1	2.2
60歳代	63	19.0	19.0	27.0	11.1	7.9	15.9	2.2

【ドイツ】

(%)

全体	982	23.5	20.9	21.1	10.4	7.7	16.4	2.1
男 性	514	22.8	19.1	22.2	10.9	8.4	16.7	2.1
女 性	468	24.4	22.9	19.9	9.8	7.1	16.0	2.0
10歳代	35	17.1	22.9	20.0	22.9	8.6	8.6	2.1
20歳代	200	22.5	30.0	20.0	12.5	7.0	8.0	1.8
30歳代	218	17.4	16.5	27.1	10.6	12.8	15.6	2.3
40歳代	198	23.2	20.2	24.7	6.1	5.1	20.7	2.1
50歳代	222	25.7	20.7	18.5	8.6	6.3	20.3	2.1
60歳代	109	35.8	13.8	10.1	13.8	6.4	20.2	2.0

(注)「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

図表 4-3-1 職業別 職場（学校）で信頼のできる人（1つだけ回答）

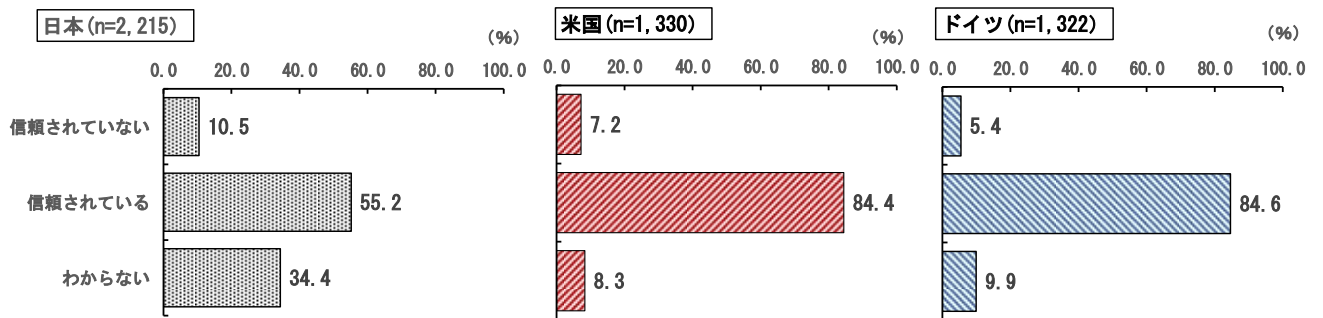
	回答者数 (人)	0人	1人	2人	3人	4人	5人 以上	平均 (人)
<b>【日本】</b> (％)								
全体	1,500	48.2	14.9	13.9	7.3	2.7	12.9	1.4
農林漁業	14	50.0	14.3	7.1	7.1	—	21.4	1.6
自営業（商工業）	102	61.8	15.7	3.9	6.9	2.9	8.8	1.0
その他自営業	78	69.2	9.0	11.5	3.8	1.3	5.1	0.7
公務員	45	28.9	13.3	24.4	8.9	—	24.4	2.1
会社員：管理職	161	28.0	16.8	21.1	9.3	3.7	21.1	2.1
会社員：事務・技術職	483	47.8	15.9	14.3	7.9	2.3	11.8	1.4
会社員：労務・技能職	186	51.1	17.7	10.2	8.1	4.8	8.1	1.2
派遣	31	58.1	19.4	6.5	3.2	6.5	6.5	1.0
パート・アルバイト等	291	52.6	15.5	16.8	4.1	2.1	8.9	1.1
学生	109	40.4	4.6	10.1	12.8	1.8	30.3	2.2
<b>【米国】</b> (％)								
全体	839	22.9	21.6	18.4	11.4	6.0	19.8	2.2
農林漁業	17	29.4	35.3	23.5	—	—	11.8	1.4
自営業（商工業）	99	24.2	21.2	17.2	15.2	7.1	15.2	2.1
その他自営業	62	38.7	22.6	19.4	4.8	3.2	11.3	1.5
公務員	52	15.4	30.8	17.3	11.5	1.9	23.1	2.2
会社員：管理職	229	17.0	18.3	17.0	12.7	7.9	27.1	2.6
会社員：事務・技術職	138	22.5	22.5	15.9	10.9	8.7	19.6	2.2
会社員：労務・技能職	104	21.2	19.2	22.1	14.4	3.8	19.2	2.2
派遣	17	35.3	17.6	23.5	5.9	—	17.6	1.7
パート・アルバイト等	80	25.0	25.0	21.3	8.8	6.3	13.8	1.9
学生	41	31.7	19.5	17.1	12.2	2.4	17.1	1.9
<b>【ドイツ】</b> (％)								
全体	982	23.5	20.9	21.1	10.4	7.7	16.4	2.1
農林漁業	51	7.8	43.1	29.4	3.9	5.9	9.8	1.9
自営業（商工業）	68	20.6	27.9	23.5	5.9	4.4	17.6	2.0
その他自営業	61	37.7	19.7	29.5	3.3	—	9.8	1.4
公務員	49	26.5	14.3	16.3	10.2	12.2	20.4	2.3
会社員：管理職	162	17.3	17.3	19.8	10.5	12.3	22.8	2.5
会社員：事務・技術職	254	22.4	20.9	21.7	11.0	7.1	16.9	2.1
会社員：労務・技能職	171	26.9	18.1	17.0	11.7	9.4	17.0	2.1
派遣	9	11.1	11.1	44.4	11.1	—	22.2	2.4
パート・アルバイト等	90	26.7	20.0	20.0	16.7	2.2	14.4	1.9
学生	67	31.3	20.9	17.9	11.9	11.9	6.0	1.7

(注) 「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

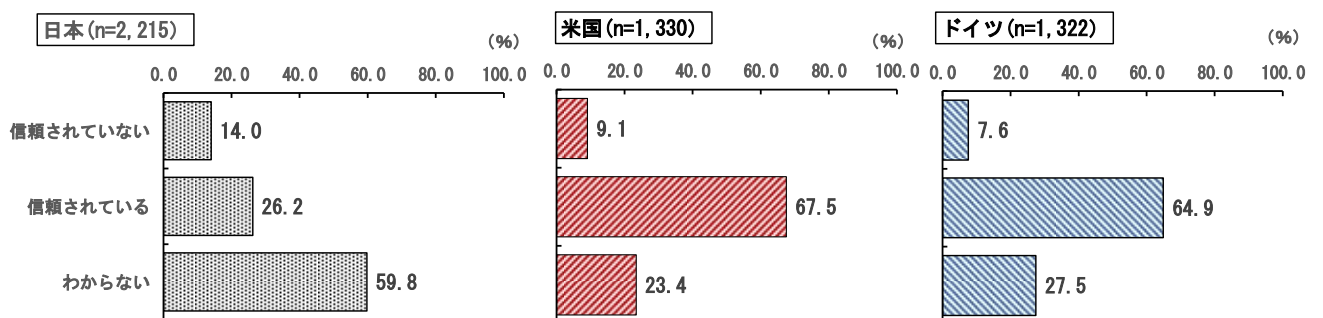
## 問5 家族、地域、職場で信頼されているか

前問とは逆に、「家族」、「地域」、「職場」で回りの人から信頼されているかを質問した。この問でも、米国、ドイツに比べ、日本では信頼されているという回答割合が低く、特に、「地域」、「職場」では、その傾向が顕著となった。

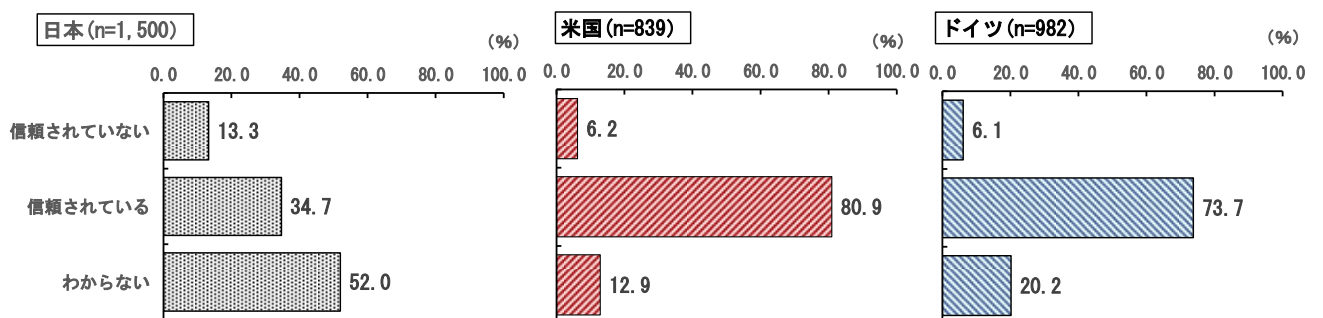
図表5-1-1 家族に信頼されているか（1つだけ回答）



図表5-1-2 地域で信頼されているか（1つだけ回答）



図表5-1-3 職場（学校）で信頼されているか（1つだけ回答）



(注)「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

図表5-2-1 性別・世代別 家族に信頼されているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	信頼されていない	信頼されている	わからない
--	-------------	----------	---------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	10.5	55.2	34.4
男 性	1,117	12.5	50.9	36.6
女 性	1,098	8.4	59.6	32.1
10 歳代	84	7.1	56.0	36.9
20 歳代	334	12.3	52.7	35.0
30 歳代	391	13.0	46.5	40.4
40 歳代	507	12.4	53.5	34.1
50 歳代	463	12.3	53.1	34.6
60 歳代	436	3.2	68.8	28.0

【米国】

(%)

全体	1,330	7.2	84.4	8.3
男 性	658	7.8	85.1	7.1
女 性	672	6.7	83.8	9.5
10 歳代	29	27.6	65.5	6.9
20 歳代	298	10.7	79.5	9.7
30 歳代	266	5.3	87.2	7.5
40 歳代	248	6.5	86.7	6.9
50 歳代	258	6.6	82.9	10.5
60 歳代	231	3.9	89.2	6.9

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	5.4	84.6	9.9
男 性	666	6.3	84.5	9.2
女 性	656	4.6	84.8	10.7
10 歳代	37	21.6	62.2	16.2
20 歳代	224	8.0	87.9	4.0
30 歳代	256	7.0	86.3	6.6
40 歳代	237	4.6	85.7	9.7
50 歳代	315	3.8	80.0	16.2
60 歳代	253	2.0	88.1	9.9

図表5-2-2 性別・世代別 地域で信頼されているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	信頼されていない	信頼されている	わからない
--	-------------	----------	---------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	14.0	26.2	59.8
男 性	1,117	16.5	24.0	59.5
女 性	1,098	11.5	28.5	60.0
10 歳代	84	9.5	25.0	65.5
20 歳代	334	16.2	25.4	58.4
30 歳代	391	18.2	19.9	61.9
40 歳代	507	15.2	23.9	60.9
50 歳代	463	14.5	25.9	59.6
60 歳代	436	7.6	35.8	56.7

【米国】

(%)

全体	1,330	9.1	67.5	23.4
男 性	658	11.1	69.9	19.0
女 性	672	7.1	65.2	27.7
10 歳代	29	24.1	48.3	27.6
20 歳代	298	13.4	64.4	22.1
30 歳代	266	10.2	70.3	19.5
40 歳代	248	10.1	68.5	21.4
50 歳代	258	5.8	66.3	27.9
60 歳代	231	3.0	71.0	26.0

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	7.6	64.9	27.5
男 性	666	8.4	63.7	27.9
女 性	656	6.9	66.2	27.0
10 歳代	37	21.6	62.2	16.2
20 歳代	224	12.5	64.7	22.8
30 歳代	256	12.1	68.0	19.9
40 歳代	237	6.3	62.9	30.8
50 歳代	315	5.1	64.4	30.5
60 歳代	253	1.2	64.8	34.0

図表5-2-3 性別・世代別 職場（学校）で信頼されているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	信頼されていない	信頼されている	わからない
--	-------------	----------	---------	-------

【日本】

(%)

全体	1,500	13.3	34.7	52.0
男 性	908	14.9	33.5	51.7
女 性	592	11.0	36.5	52.5
10 歳代	78	10.3	37.2	52.6
20 歳代	265	15.5	34.3	50.2
30 歳代	269	17.1	28.3	54.6
40 歳代	376	12.8	35.1	52.1
50 歳代	307	14.0	30.6	55.4
60 歳代	205	6.8	47.8	45.4

【米国】

(%)

全体	839	6.2	80.9	12.9
男 性	452	6.0	81.6	12.4
女 性	387	6.5	80.1	13.4
10 歳代	25	24.0	48.0	28.0
20 歳代	219	7.3	76.7	16.0
30 歳代	192	4.7	82.8	12.5
40 歳代	182	7.7	82.4	9.9
50 歳代	158	4.4	84.2	11.4
60 歳代	63	—	90.5	9.5

【ドイツ】

(%)

全体	982	6.1	73.7	20.2
男 性	514	7.4	73.5	19.1
女 性	468	4.7	73.9	21.4
10 歳代	35	14.3	62.9	22.9
20 歳代	200	6.5	75.0	18.5
30 歳代	218	7.3	77.1	15.6
40 歳代	198	5.6	73.2	21.2
50 歳代	222	5.4	73.0	21.6
60 歳代	109	2.8	70.6	26.6

(注)「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

図表5-3-1 職業別 職場（学校）で信頼されているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	信頼されて いない	信頼されて いる	わからない
<b>【日本】</b> (％)				
全体	1,500	13.3	34.7	52.0
農林漁業	14	42.9	28.6	28.6
自営業（商工業）	102	4.9	36.3	58.8
その他自営業	78	12.8	30.8	56.4
公務員	45	11.1	46.7	42.2
会社員：管理職	161	8.7	52.8	38.5
会社員：事務・技術職	483	14.9	35.0	50.1
会社員：労務・技能職	186	18.3	26.9	54.8
派遣	31	9.7	29.0	61.3
パート・アルバイト等	291	13.7	27.8	58.4
学生	109	10.1	36.7	53.2
<b>【米国】</b> (％)				
全体	839	6.2	80.9	12.9
農林漁業	17	—	88.2	11.8
自営業（商工業）	99	14.1	73.7	12.1
その他自営業	62	9.7	67.7	22.6
公務員	52	7.7	82.7	9.6
会社員：管理職	229	3.1	89.1	7.9
会社員：事務・技術職	138	4.3	82.6	13.0
会社員：労務・技能職	104	3.8	86.5	9.6
派遣	17	11.8	64.7	23.5
パート・アルバイト等	80	6.3	73.8	20.0
学生	41	9.8	68.3	22.0
<b>【ドイツ】</b> (％)				
全体	982	6.1	73.7	20.2
農林漁業	51	5.9	86.3	7.8
自営業（商工業）	68	4.4	80.9	14.7
その他自営業	61	9.8	68.9	21.3
公務員	49	4.1	71.4	24.5
会社員：管理職	162	9.3	77.8	13.0
会社員：事務・技術職	254	5.5	75.6	18.9
会社員：労務・技能職	171	2.3	70.8	26.9
派遣	9	22.2	55.6	22.2
パート・アルバイト等	90	3.3	70.0	26.7
学生	67	11.9	61.2	26.9

(注)「職場（学校）」の回答は主婦・主夫専業、無職を除く

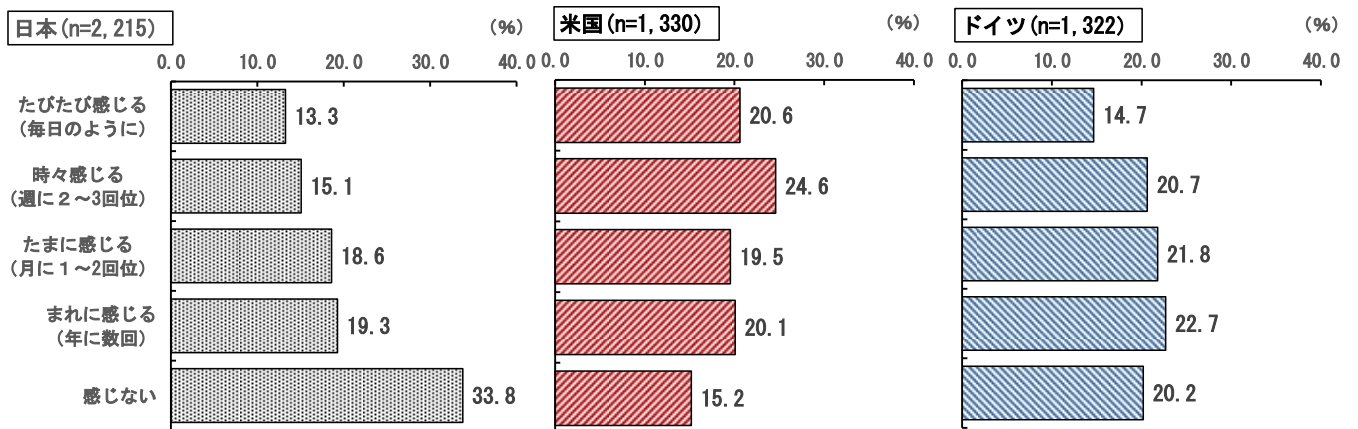


## 問6 孤独や孤立を感じることはあるか

「孤独や孤立を感じることはあるか」に関して、3か国で顕著な違いはなかったが、日本では、米国、ドイツに比べ「感じない」との回答割合が高めとなった。

前問、前々問では、日本の信頼関係の弱さが示されたにもかかわらず、孤独・孤立を感じる人は多くないという結果について、今後、詳しく分析していく必要がある。

図表6-1 孤独や孤立を感じることはあるか（1つだけ回答）



図表6-2 性別・世代別 孤独や孤立を感じることはあるか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	た び た び 感 じ る (毎 日 の よ う に)	時 々 感 じ る (週 に 2 〜 3 回 く ら い)	た ま に 感 じ る (月 に 1 〜 2 回 く ら い)	ま れ に 感 じ る (年 に 数 回)	感 じ な い
--	-------------	---	--	---	--	------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	13.3	15.1	18.6	19.3	33.8
男性	1,117	12.9	14.1	18.6	16.4	38.0
女性	1,098	13.7	16.1	18.6	22.2	29.4
10歳代	84	22.6	16.7	21.4	20.2	19.0
20歳代	334	15.3	21.0	20.7	11.1	32.0
30歳代	391	16.1	17.6	18.7	17.1	30.4
40歳代	507	13.4	14.4	18.5	21.3	32.3
50歳代	463	12.3	15.6	20.5	19.9	31.7
60歳代	436	8.3	8.3	14.4	24.3	44.7

【米国】

(%)

全体	1,330	20.6	24.6	19.5	20.1	15.2
男性	658	21.3	23.4	19.8	20.1	15.5
女性	672	19.9	25.7	19.3	20.1	14.9
10歳代	29	27.6	41.4	27.6	3.4	—
20歳代	298	22.5	30.9	19.8	15.4	11.4
30歳代	266	27.4	30.1	18.8	15.0	8.6
40歳代	248	21.8	22.6	19.4	20.6	15.7
50歳代	258	20.5	22.1	19.0	21.3	17.1
60歳代	231	8.2	13.0	19.9	32.0	26.8

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	14.7	20.7	21.8	22.7	20.2
男性	666	14.1	20.4	22.8	21.0	21.6
女性	656	15.2	20.9	20.7	24.4	18.8
10歳代	37	21.6	29.7	27.0	16.2	5.4
20歳代	224	29.9	32.6	20.1	12.5	4.9
30歳代	256	13.7	29.7	26.2	19.9	10.5
40歳代	237	13.1	19.8	24.9	18.6	23.6
50歳代	315	12.1	13.3	20.0	28.3	26.3
60歳代	253	5.9	9.5	17.4	32.4	34.8

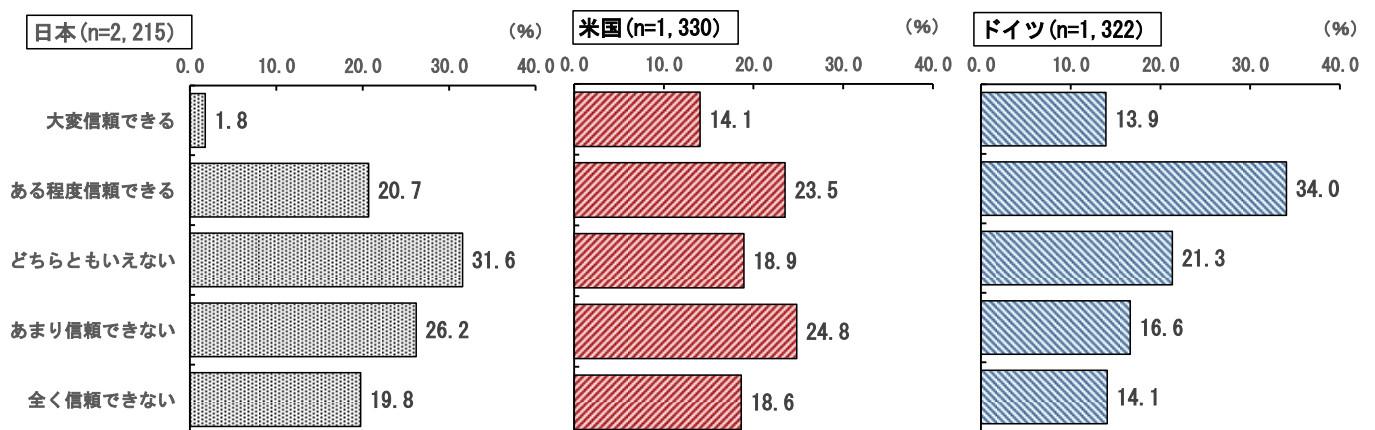
## 問7 政府（国）を信頼できるか

「政府（国）を信頼できるか」については、日本では「大変信頼できる」1.8%、「ある程度信頼できる」20.7%となり、米国、ドイツに比べ「信頼できる」がかなり低い結果となった。米国、ドイツでは、特に大都市において「信頼できる」との回答割合が高かった。

また、政府の信頼度と新型コロナ・ワクチンの接種回数との関係を見ると、3か国とも正の相関がみられたが、日本では相関が弱めであった。なお、3か国のワクチン摂取回数の平均は、日本2.3回、米国2.1回、ドイツ2.5回であった。

日本について、政府の信頼度とマイナンバー・カード保有の関係を見ると、両者には正の相関がみられた。

図表7-1 政府（国）を信頼できるか（1つだけ回答）



図表7-2 性別・世代別 政府（国）を信頼できるか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	大変 信頼できる	ある程度 信頼できる	どちらとも いえない	あまり信頼 できない	全く信頼 できない
--	-------------	-------------	---------------	---------------	---------------	--------------

【日本】

(%)

全体	2,215	1.8	20.7	31.6	26.2	19.8
男 性	1,117	2.6	22.6	32.4	21.6	20.9
女 性	1,098	1.0	18.8	30.7	30.9	18.7
10 歳代	84	1.2	27.4	40.5	19.0	11.9
20 歳代	334	3.6	19.2	32.3	25.1	19.8
30 歳代	391	1.8	14.8	30.2	26.6	26.6
40 歳代	507	1.8	17.6	35.1	25.8	19.7
50 歳代	463	1.3	17.9	32.0	27.6	21.2
60 歳代	436	1.1	32.3	25.9	26.8	13.8

【米国】

(%)

全体	1,330	14.1	23.5	18.9	24.8	18.6
男 性	658	19.3	24.5	15.5	23.7	17.0
女 性	672	8.9	22.6	22.3	25.9	20.2
10 歳代	29	6.9	31.0	17.2	31.0	13.8
20 歳代	298	13.4	21.5	24.2	22.8	18.1
30 歳代	266	26.7	22.9	21.1	15.0	14.3
40 歳代	248	21.0	25.0	16.1	18.5	19.4
50 歳代	258	5.4	19.8	17.8	36.4	20.5
60 歳代	231	3.5	28.6	14.3	31.6	22.1

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	13.9	34.0	21.3	16.6	14.1
男 性	666	16.2	35.6	18.8	15.5	14.0
女 性	656	11.6	32.5	23.9	17.8	14.2
10 歳代	37	8.1	32.4	32.4	21.6	5.4
20 歳代	224	22.3	34.4	17.9	17.4	8.0
30 歳代	256	24.6	32.8	21.9	11.3	9.4
40 歳代	237	12.2	30.8	24.5	17.3	15.2
50 歳代	315	8.3	32.1	23.8	18.7	17.1
60 歳代	253	5.1	40.7	16.2	17.4	20.6

図表 7-3 地域別・都市規模別 政府（国）を信頼できるか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	大変 信頼できる	ある程度 信頼できる	どちらとも いえない	あまり信頼 できない	全く信頼 できない
--	-------------	-------------	---------------	---------------	---------------	--------------

【日本】

(%)

全体	2,215	1.8	20.7	31.6	26.2	19.8
北海道	94	—	19.1	36.2	22.3	22.3
東北	148	1.4	20.9	29.1	23.0	25.7
関東・甲信	831	2.4	18.7	33.7	25.2	20.1
中部	348	1.1	20.4	31.0	28.7	18.7
近畿	364	2.2	21.7	29.4	26.6	20.1
中国	121	2.5	26.4	26.4	25.6	19.0
四国	64	1.6	26.6	26.6	29.7	15.6
九州	245	0.8	22.4	31.8	28.2	16.7
政令指定都市	815	2.3	20.1	29.2	28.0	20.4
上記以外の市	1,144	1.5	21.9	32.7	24.7	19.2
町	210	1.0	19.5	34.8	28.1	16.7
村	46	4.3	6.5	30.4	21.7	37.0

【米国】

(%)

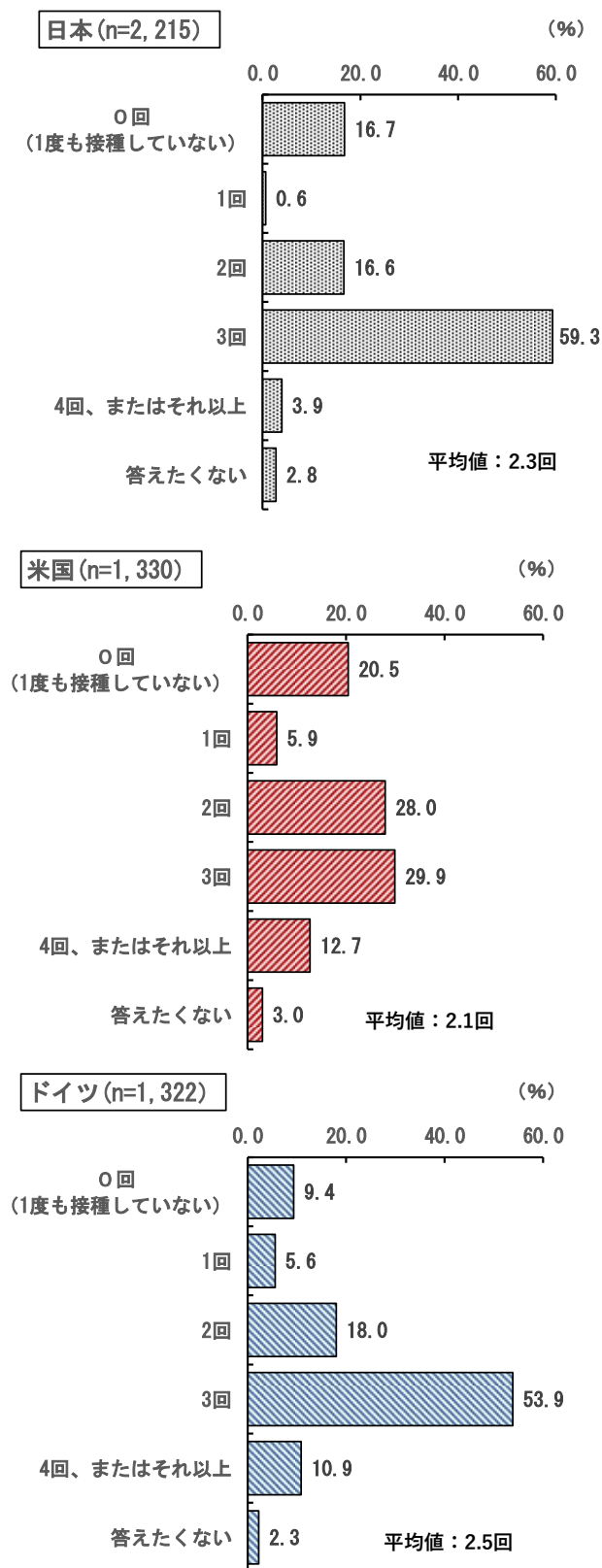
全体	1,330	14.1	23.5	18.9	24.8	18.6
北東部	232	13.4	27.2	19.0	26.3	14.2
中西部	276	10.5	22.8	17.4	27.9	21.4
南部	503	16.5	22.1	20.3	22.5	18.7
西部	319	13.8	23.8	18.2	24.8	19.4
大都市	391	30.9	27.9	15.1	16.6	9.5
中小都市	293	6.8	24.2	21.2	24.6	23.2
郊外	417	7.0	24.2	19.7	28.8	20.4
地方	229	7.4	14.0	21.4	31.9	25.3

【ドイツ】

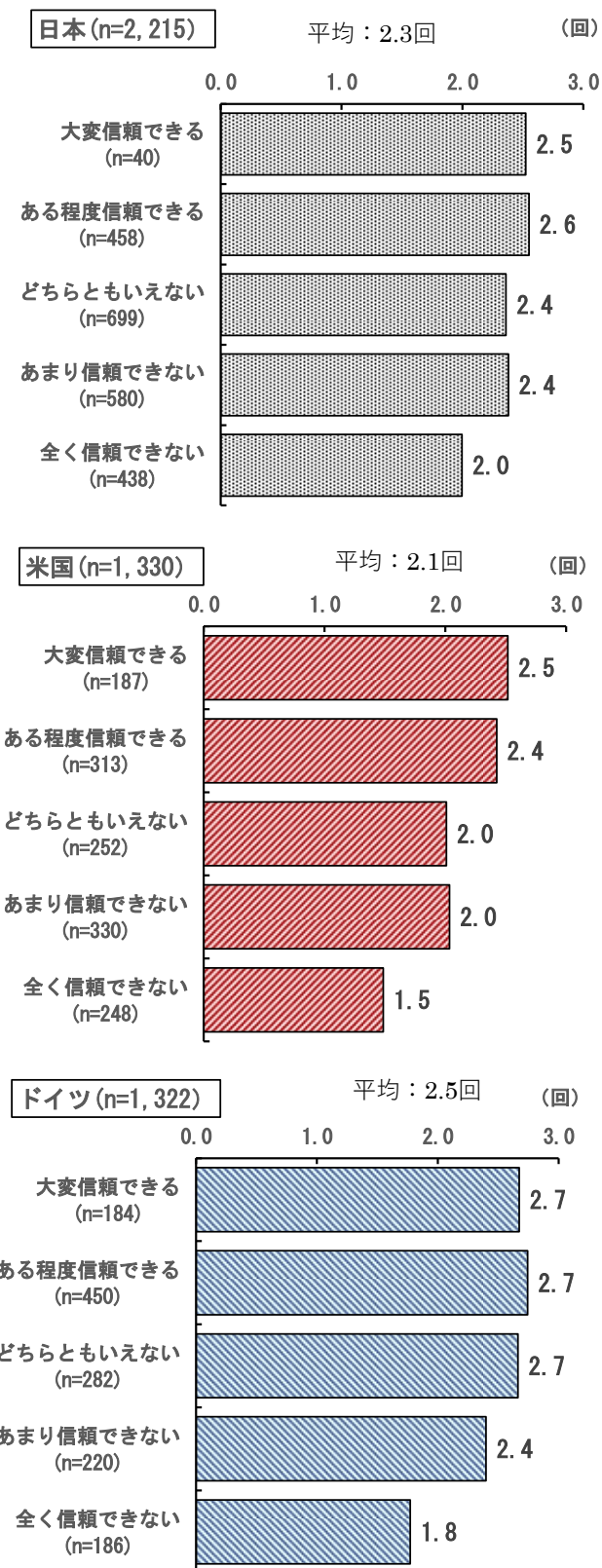
(%)

全体	1,322	13.9	34.0	21.3	16.6	14.1
北部	215	14.9	40.5	20.5	14.4	9.8
東部	251	18.3	27.9	19.1	15.1	19.5
中部	465	9.5	35.7	23.4	16.3	15.1
南部	391	15.9	32.5	20.7	19.2	11.8
大都市	461	25.2	32.5	16.7	11.5	14.1
中小都市	491	7.7	37.1	24.0	18.9	12.2
郊外	207	8.7	32.9	21.3	20.3	16.9
地方	163	7.4	30.7	26.4	19.6	16.0

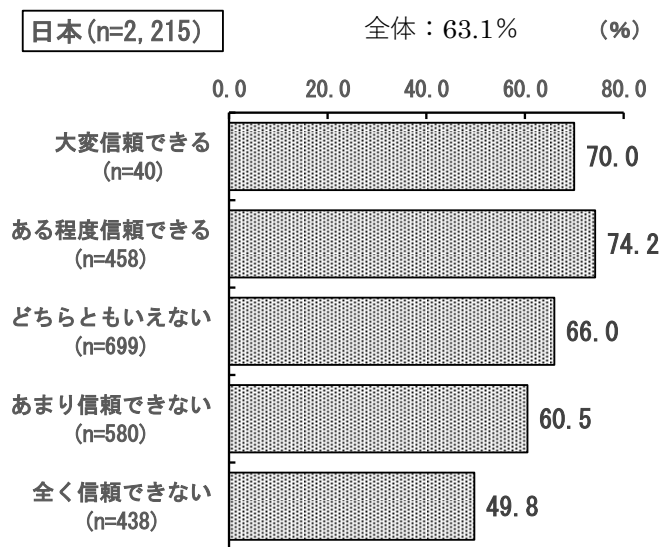
図表7-4 新型コロナ・ワクチンを何回接種したか（1つだけ回答）



図表 7-5 政府（国）信頼度別 新型コロナ・ワクチンを何回接種したか（平均回数）



図表7-6 政府（国）信頼度別  
マイナンバー・カードを「既に持っている」と回答した人の割合（日本のみ）



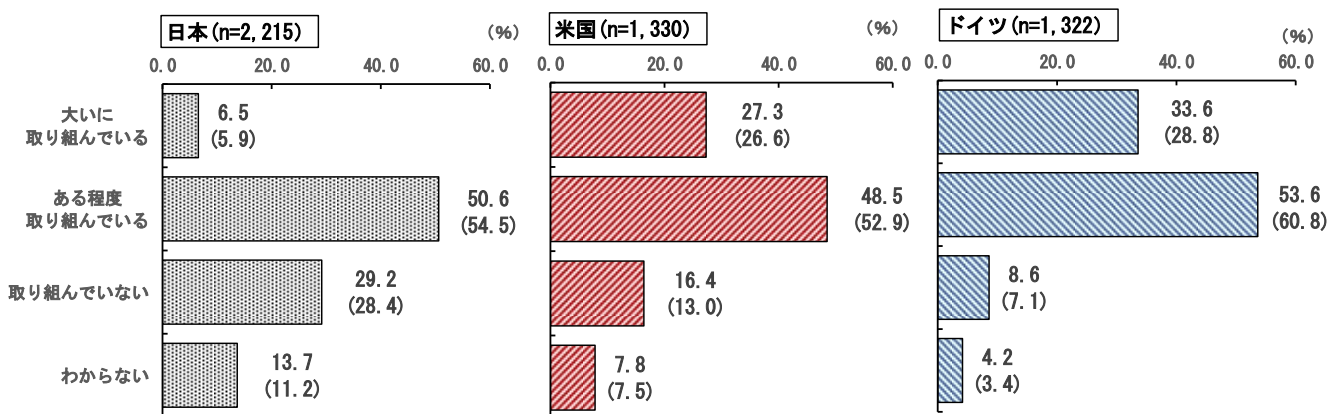


## 問 8 将来世代のために CO2 削減、省エネ、食品ロス削減などの努力をしているか

「CO2 削減、省エネ、食品ロス削減などの努力」について、日本では「大いに取組んでいる」は 1 割に満たず、「ある程度取組んでいる」との回答が多かった。日本では、男性に比べ女性の方が、取組んでいるとの回答が多かった。

米国、ドイツでは、「大いに取組んでいる」が日本を大きく上回った。米国、ドイツでは、特に、大都市で「大いに取組んでいる」という回答割合が高かった。

図表 8-1 将来世代のために CO2 削減、省エネ、食品ロス削減などの努力をしているか (1 つだけ回答)



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 8-2 性別・世代別

将来世代のためにCO2削減、省エネ、食品ロス削減などの努力をしているか

(1つだけ回答)

	回答者数 (人)	大いに 取り組んでいる	ある程度取り 組んでいる	取り組んで いない	わからない
--	-------------	----------------	-----------------	--------------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	6.5	50.6	29.2	13.7
男 性	1,117	5.8	46.5	34.4	13.3
女 性	1,098	7.3	54.8	23.9	14.0
10 歳代	84	8.3	50.0	25.0	16.7
20 歳代	334	9.9	36.2	37.7	16.2
30 歳代	391	3.3	38.6	40.9	17.1
40 歳代	507	6.5	47.7	30.2	15.6
50 歳代	463	6.9	55.1	25.7	12.3
60 歳代	436	6.2	71.1	15.4	7.3

【米国】

(%)

全体	1,330	27.3	48.5	16.4	7.8
男 性	658	32.5	43.3	18.2	5.9
女 性	672	22.2	53.6	14.6	9.7
10 歳代	29	20.7	44.8	17.2	17.2
20 歳代	298	29.2	49.0	12.1	9.7
30 歳代	266	38.3	44.7	11.7	5.3
40 歳代	248	37.1	44.8	12.5	5.6
50 歳代	258	17.8	47.3	23.3	11.6
60 歳代	231	13.0	58.0	23.8	5.2

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	33.6	53.6	8.6	4.2
男 性	666	34.7	50.5	10.5	4.4
女 性	656	32.5	56.9	6.7	4.0
10 歳代	37	16.2	64.9	8.1	10.8
20 歳代	224	37.9	51.3	8.5	2.2
30 歳代	256	41.4	49.2	6.3	3.1
40 歳代	237	32.9	51.5	10.5	5.1
50 歳代	315	28.9	57.5	8.9	4.8
60 歳代	253	30.8	55.7	9.1	4.3

図表 8-3 地域別・都市規模別

将来世代のためにCO2削減、省エネ、食品ロス削減などの努力をしているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	大いに 取り組んでいる	ある程度取り 組んでいる	取り組んで いない	わからない
--	-------------	----------------	-----------------	--------------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	6.5	50.6	29.2	13.7
北海道	94	4.3	45.7	33.0	17.0
東北	148	4.1	52.0	23.6	20.3
関東・甲信	831	8.1	49.8	29.6	12.5
中部	348	6.3	54.3	28.4	10.9
近畿	364	6.3	47.8	29.7	16.2
中国	121	8.3	45.5	30.6	15.7
四国	64	3.1	59.4	25.0	12.5
九州	245	4.5	53.5	30.2	11.8
政令指定都市	815	7.0	50.2	28.6	14.2
上記以外の市	1,144	6.3	52.2	29.0	12.5
町	210	5.7	46.7	31.9	15.7
村	46	8.7	37.0	30.4	23.9

【米国】

(%)

全体	1,330	27.3	48.5	16.4	7.8
北東部	232	26.7	52.2	12.5	8.6
中西部	276	19.6	54.3	17.8	8.3
南部	503	32.2	43.5	15.5	8.7
西部	319	26.6	48.6	19.4	5.3
大都市	391	43.2	40.4	10.5	5.9
中小都市	293	21.2	53.2	17.7	7.8
郊外	417	20.4	54.9	18.5	6.2
地方	229	20.5	44.5	21.0	14.0

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	33.6	53.6	8.6	4.2
北部	215	35.8	51.6	8.8	3.7
東部	251	33.9	52.2	9.6	4.4
中部	465	31.0	55.7	8.2	5.2
南部	391	35.3	53.2	8.4	3.1
大都市	461	42.1	46.2	8.2	3.5
中小都市	491	28.7	59.1	9.0	3.3
郊外	207	28.5	54.1	9.2	8.2
地方	163	30.7	57.7	8.0	3.7

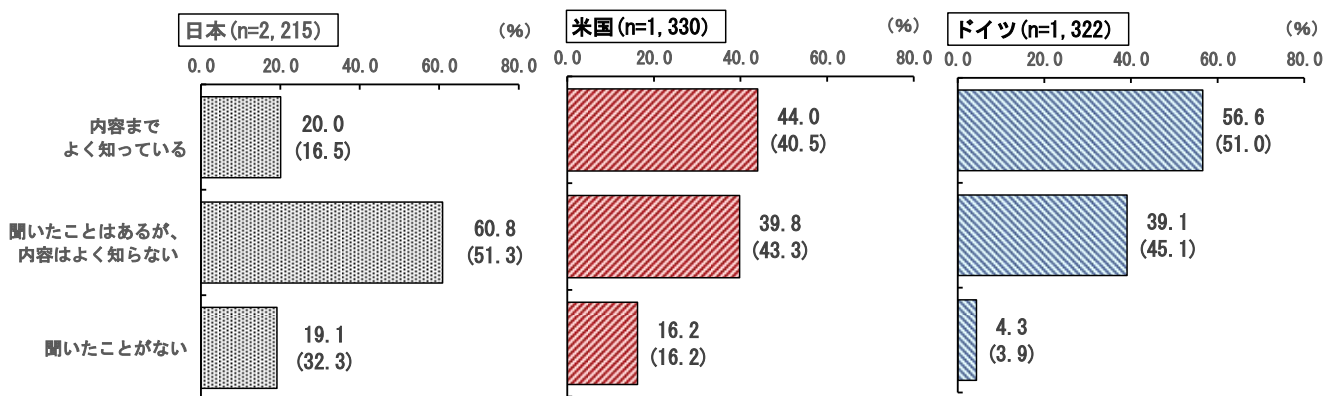
## 問9 「カーボン・ニュートラル」や「サーキュラー・エコノミー」を知っているか

日本では、「内容までよく知っている」は2割にとどまり、「聞いたことはあるが内容は知らない」が6割を占めた。米国、ドイツでは、「よく知っている」が日本よりかなり高かった。

男女別にみると、日本、米国では女性で「よく知っている」と回答した人の割合が低かった。ドイツでは女性も「よく知っている」割合が高かった。

前回調査と比べると、3か国とも「カーボン・ニュートラル」や「サーキュラー・エコノミー」について、「内容まで良く知っている」との回答割合が高まり、認知度がやや向上してきたとみられる。

図表9-1 「カーボン・ニュートラル」や「サーキュラー・エコノミー」を知っているか  
(1つだけ回答)



(注) ( ) 内は21年調査の数値

図表9-2 性別・世代別

「カーボン・ニュートラル」や「サーキュラー・エコノミー」を知っているか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	内容まで よく知っている	聞いたことはあるが、 内容はよく知らない	聞いたことがない
--	-------------	-----------------	-------------------------	----------

【日本】

(%)

全体	2,215	20.0	60.8	19.1
男 性	1,117	27.1	55.4	17.5
女 性	1,098	12.8	66.3	20.9
10 歳代	84	32.1	46.4	21.4
20 歳代	334	18.3	54.8	26.9
30 歳代	391	14.8	59.3	25.8
40 歳代	507	17.4	62.7	19.9
50 歳代	463	21.0	61.3	17.7
60 歳代	436	25.9	66.7	7.3

【米国】

(%)

全体	1,330	44.0	39.8	16.2
男 性	658	56.8	33.7	9.4
女 性	672	31.4	45.7	22.9
10 歳代	29	34.5	55.2	10.3
20 歳代	298	41.3	38.3	20.5
30 歳代	266	56.4	31.6	12.0
40 歳代	248	48.4	38.7	12.9
50 歳代	258	35.7	44.6	19.8
60 歳代	231	39.0	45.0	16.0

【ドイツ】

(%)

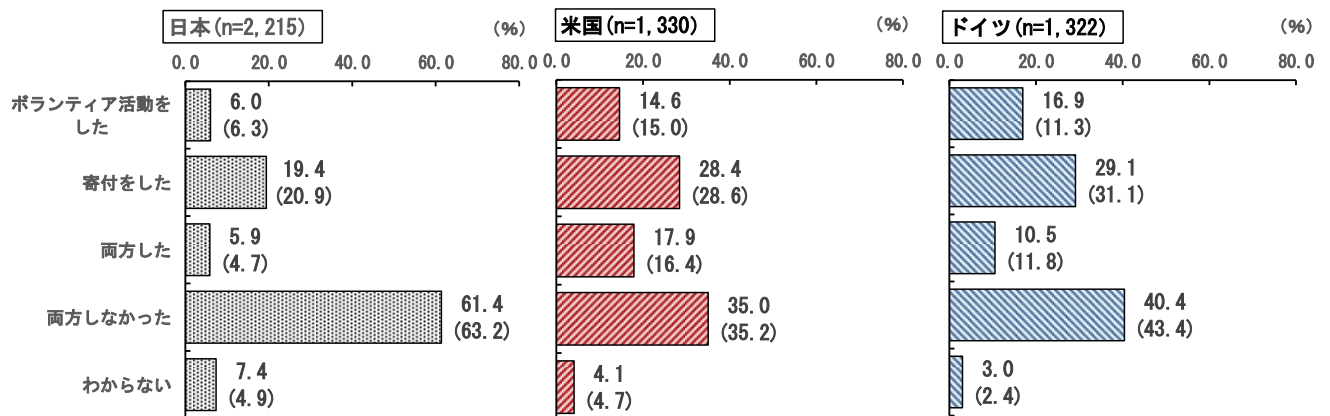
全体	1,322	56.6	39.1	4.3
男 性	666	59.8	35.9	4.4
女 性	656	53.4	42.4	4.3
10 歳代	37	45.9	43.2	10.8
20 歳代	224	61.2	35.3	3.6
30 歳代	256	62.9	32.8	4.3
40 歳代	237	51.9	42.2	5.9
50 歳代	315	54.6	41.0	4.4
60 歳代	253	54.5	43.1	2.4

## 問 10 過去 1 年の間にボランティアや寄付を行ったことがあるか

日本では、「ボランティア活動をした」が 6%、「寄付をした」が 19%となり、「両方しなかった」が 6 割を超えた。

米国、ドイツでは日本と比べ、「ボランティア活動をした」、「寄付をした」との回答割合が高く、「両方しなかった」は 4 割前後となった。米国、ドイツでは大都市で「ボランティア活動をした」という回答割合が高かった。

図表 10-1 ボランティア活動や寄付を過去 1 年間に行ったか (1 つだけ回答)



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 10-2 性別・世代別

ボランティア活動や寄付を過去1年間に行ったか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	ボランティア活 動をした	寄付をした	両方した	両方 しなかった	わからない
--	-------------	-----------------	-------	------	-------------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	6.0	19.4	5.9	61.4	7.4
男 性	1,117	6.7	18.0	6.6	61.6	7.1
女 性	1,098	5.3	20.9	5.1	61.1	7.7
10 歳代	84	14.3	15.5	14.3	45.2	10.7
20 歳代	334	6.3	12.6	6.9	61.4	12.9
30 歳代	391	4.1	15.9	7.7	62.9	9.5
40 歳代	507	5.3	19.3	3.9	64.1	7.3
50 歳代	463	5.4	21.2	5.0	63.5	5.0
60 歳代	436	7.3	26.8	5.0	57.6	3.2

【米国】

(%)

全体	1,330	14.6	28.4	17.9	35.0	4.1
男 性	658	15.8	29.0	20.2	31.9	3.0
女 性	672	13.4	27.8	15.6	38.1	5.1
10 歳代	29	20.7	37.9	24.1	13.8	3.4
20 歳代	298	15.8	29.2	17.8	30.5	6.7
30 歳代	266	22.2	29.3	16.5	28.2	3.8
40 歳代	248	14.9	27.8	20.2	33.5	3.6
50 歳代	258	11.2	25.6	15.1	44.6	3.5
60 歳代	231	6.9	29.0	19.5	42.4	2.2

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	16.9	29.1	10.5	40.4	3.0
男 性	666	18.3	29.7	10.8	37.1	4.1
女 性	656	15.5	28.5	10.2	43.8	2.0
10 歳代	37	29.7	27.0	21.6	21.6	—
20 歳代	224	26.8	31.7	12.9	25.4	3.1
30 歳代	256	28.9	24.6	10.5	32.4	3.5
40 歳代	237	11.0	33.3	11.0	39.2	5.5
50 歳代	315	9.2	28.6	8.9	50.5	2.9
60 歳代	253	9.5	28.5	8.3	53.0	0.8

図表 10-3 地域別・都市規模別  
ボランティア活動や寄付を過去1年間に行ったか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	ボランティア活動 をした	寄付をした	両方した	両方 しなかった	わからない
<b>【日本】</b> (％)						
全体	2,215	6.0	19.4	5.9	61.4	7.4
北海道	94	5.3	19.1	11.7	57.4	6.4
東北	148	1.4	25.7	4.7	59.5	8.8
関東・甲信	831	5.9	18.8	5.2	62.8	7.3
中部	348	6.0	19.0	9.2	59.8	6.0
近畿	364	7.4	16.5	3.0	65.4	7.7
中国	121	8.3	19.0	5.0	58.7	9.1
四国	64	6.3	18.8	4.7	60.9	9.4
九州	245	6.1	23.3	6.9	56.7	6.9
政令指定都市	815	6.0	19.3	4.4	62.2	8.1
上記以外の市	1,144	6.0	20.6	6.2	61.3	5.9
町	210	7.1	15.7	8.1	62.4	6.7
村	46	—	8.7	13.0	43.5	34.8
<b>【米国】</b> (％)						
全体	1,330	14.6	28.4	17.9	35.0	4.1
北東部	232	13.8	27.6	18.5	36.6	3.4
中西部	276	13.0	27.5	17.0	38.0	4.3
南部	503	14.9	29.0	18.7	33.4	4.0
西部	319	16.0	28.8	16.9	33.9	4.4
大都市	391	22.3	34.5	17.6	22.8	2.8
中小都市	293	10.9	25.6	21.2	38.9	3.4
郊外	417	12.7	28.5	15.8	39.3	3.6
地方	229	9.6	21.4	17.9	43.2	7.9
<b>【ドイツ】</b> (％)						
全体	1,322	16.9	29.1	10.5	40.4	3.0
北部	215	13.0	33.0	11.6	40.0	2.3
東部	251	23.1	28.7	4.0	42.2	2.0
中部	465	13.5	29.2	13.3	40.0	3.9
南部	391	19.2	27.1	10.7	39.9	3.1
大都市	461	24.3	28.0	8.9	36.2	2.6
中小都市	491	14.3	30.5	11.2	41.8	2.2
郊外	207	12.1	30.0	10.6	40.6	6.8
地方	163	10.4	27.0	12.9	47.9	1.8



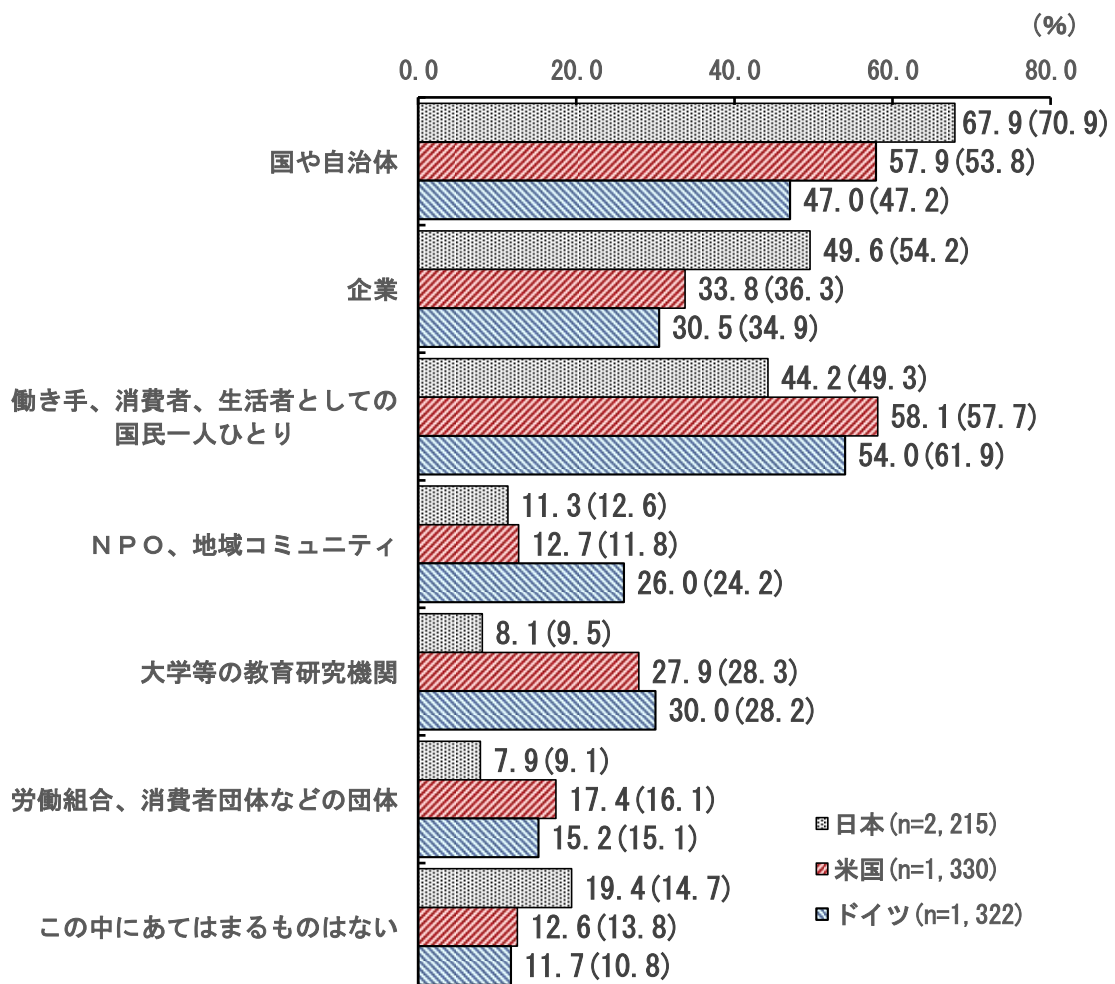
## 問 11 望ましい社会をつくるために役割を果たすべき主体は

「望ましい社会を作るために役割を果たすべき主体」として、日本では、「国や自治体」が約 7 割と最も高く、「企業」は 5 割、「国民一人ひとり」は 4 割強となった。他方、「NPO、地域コミュニティ」、「大学等の教育研究機関」、「労働組合、消費者団体などの団体」は低かった。

米国、ドイツでは、「国民一人ひとり」が「国や自治体」と同程度に高く、「大学等の教育研究機関」や「労働組合、消費者団体などの団体」も日本に比べ高かった。ドイツでは「NPO、地域コミュニティ」もかなり高水準となった。

なお、日本について「政府への信頼度」の高い人が「役割を果たすべき主体」として「政府」を選択しているかをみると、そうした関係は強くなかった。

図表 11-1 望ましい社会をつくるために役割を果たすべき主体  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 11-2 世代別 望ましい社会をつくるために役割を果たすべき主体  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数(人)	国や自治体	企業	働き手、消費者、生活者としての国民一人ひとり	NPO、地域コミュニティ	大学等の教育研究機関	労働組合、消費者団体などの団体	この中にあてはまるものはない
--	---------	-------	----	------------------------	--------------	------------	-----------------	----------------

【日本】

(%)

全体	2,215	67.9	49.6	44.2	11.3	8.1	7.9	19.4
10歳代	84	66.7	48.8	39.3	10.7	14.3	7.1	23.8
20歳代	334	54.2	44.3	29.6	9.6	12.0	9.0	27.8
30歳代	391	56.5	41.4	30.4	11.0	7.9	8.7	31.2
40歳代	507	65.7	48.3	47.3	8.7	7.5	8.5	19.9
50歳代	463	75.2	50.1	52.5	13.6	6.5	8.2	13.4
60歳代	436	83.7	61.9	56.4	13.8	6.7	5.3	7.3

【米国】

(%)

全体	1,330	57.9	33.8	58.1	12.7	27.9	17.4	12.6
10歳代	29	44.8	34.5	48.3	10.3	44.8	27.6	6.9
20歳代	298	50.0	32.6	46.6	12.1	32.2	25.5	15.4
30歳代	266	60.9	29.3	52.3	13.2	38.3	18.4	12.4
40歳代	248	60.5	33.1	56.9	13.7	31.5	15.7	10.5
50歳代	258	58.1	33.7	65.1	13.6	18.2	14.0	12.8
60歳代	231	63.2	41.1	74.5	11.3	15.2	10.4	11.7

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	47.0	30.5	54.0	26.0	30.0	15.2	11.7
10歳代	37	32.4	35.1	51.4	21.6	51.4	8.1	—
20歳代	224	45.5	26.8	39.7	30.4	40.6	13.8	8.0
30歳代	256	47.7	42.2	39.8	21.9	42.2	12.1	9.0
40歳代	237	42.2	26.2	51.1	25.7	32.9	14.8	16.5
50歳代	315	47.6	28.9	65.7	25.7	18.1	14.9	14.0
60歳代	253	53.8	27.3	69.6	27.7	17.4	21.3	12.3

<働き手としての意識>

問 12 働き手として企業に求めるものは何か

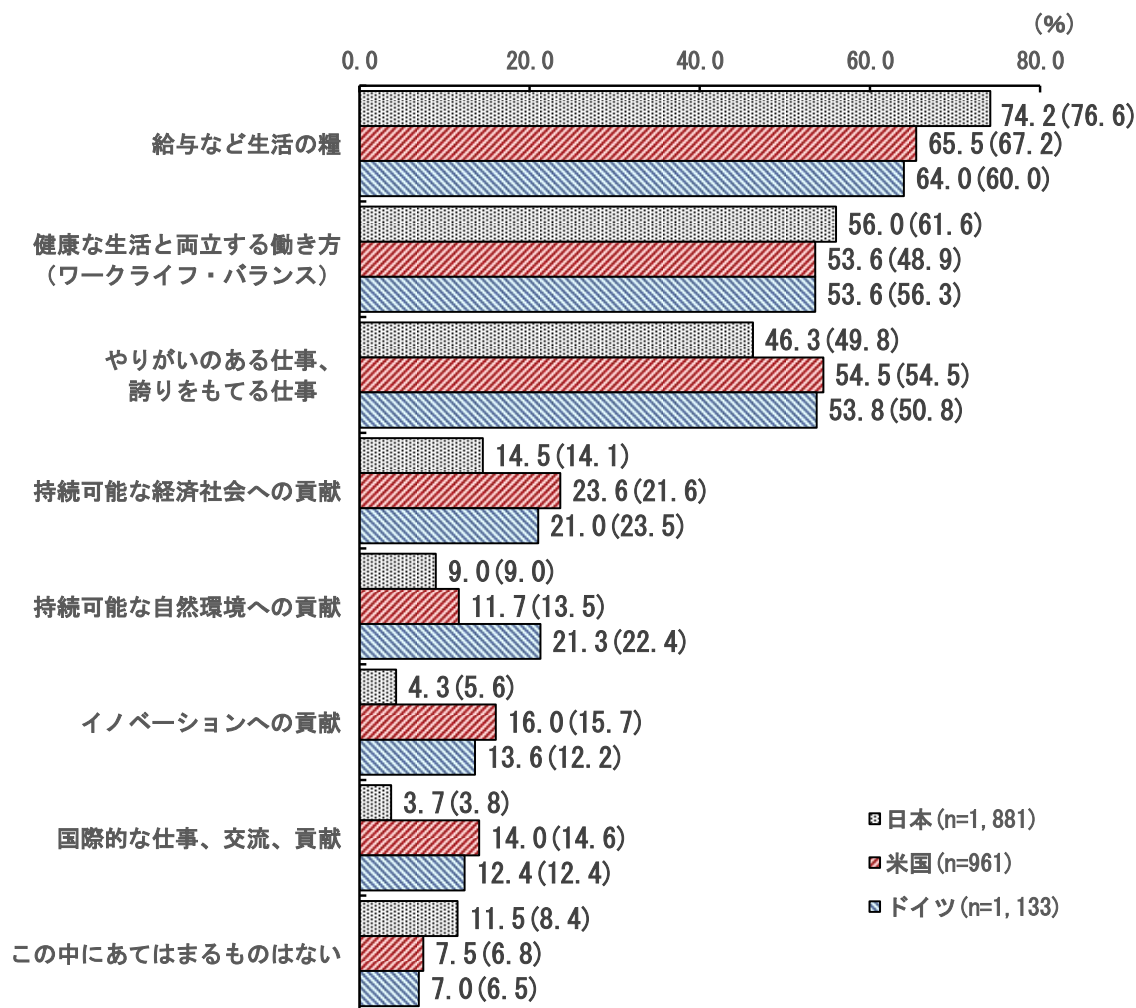
3か国ともに、「働き手として企業に求めるもの」として、「持続可能な経済社会への貢献」や「持続可能な自然環境への貢献」などの社会課題を挙げた人の割合は、経済面の要素を挙げた人に比べ低かった。

日本では、「給与など生活の糧」が7割、「ワークライフバランス」6割弱、「やりがい・誇り」5割弱といった項目が高く、これらに比べ、「持続可能な経済社会への貢献」や「持続可能な自然環境への貢献」などは低く、米国、ドイツに比べても低かった。年齢別にみると、高齢層では社会課題への意識が高い傾向となった。

米国、ドイツでも「給与など生活の糧」や「ワークライフバランス」が高く、それらに比べ社会課題への貢献は低かった。

前回調査と比べ、3か国とも大きな変化はみられなかった。

図表 12-1 働き手として企業に求めるもの・回答割合  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)



(注) 無職を除く。( )内は21年調査の数値

図表 12-2 世代別 働き手として企業に求めるもの 回答割合  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数(人)	給与など生活の糧	健康な生活と両立する働き方 (ワークライフ・バランス)	やりがいのある仕事、 誇りをもてる仕事	持続可能な経済社会への貢献	イノベーションへの貢献	国際的な仕事、交流、貢献	持続可能な自然環境への貢献	この中にあてはまるものはない
--	---------	----------	--------------------------------	------------------------	---------------	-------------	--------------	---------------	----------------

【日本】

(%)

全体	1,881	74.2	56.0	46.3	14.5	9.0	4.3	3.7	11.5
10歳代	78	66.7	47.4	50.0	14.1	6.4	7.7	7.7	14.1
20歳代	282	66.0	46.8	41.8	12.4	4.3	5.3	6.7	18.8
30歳代	327	70.0	53.5	41.0	7.3	4.0	4.9	4.0	15.9
40歳代	456	77.9	55.7	46.9	14.0	9.2	4.6	3.7	9.9
50歳代	410	78.8	59.3	47.6	15.9	10.5	2.2	2.4	9.0
60歳代	328	76.2	64.9	51.8	22.6	16.5	4.3	1.5	5.8

【米国】

(%)

全体	961	65.5	53.6	54.5	23.6	11.7	16.0	14.0	7.5
10歳代	25	44.0	60.0	32.0	24.0	20.0	8.0	16.0	20.0
20歳代	248	59.7	50.4	52.0	26.6	12.5	15.7	18.1	8.5
30歳代	226	62.4	51.8	50.9	23.5	12.8	23.0	19.0	5.8
40歳代	202	66.3	54.0	52.5	25.2	13.4	15.8	11.9	5.9
50歳代	176	75.6	54.5	63.6	21.0	8.0	11.9	9.1	6.8
60歳代	84	73.8	63.1	64.3	16.7	7.1	9.5	3.6	10.7

【ドイツ】

(%)

全体	1,133	64.0	53.6	53.8	21.0	21.3	13.6	12.4	7.0
10歳代	35	60.0	45.7	40.0	22.9	17.1	22.9	28.6	—
20歳代	210	58.1	51.0	52.9	19.0	13.8	21.9	21.4	5.2
30歳代	241	61.0	59.8	53.9	19.5	14.5	14.5	12.9	7.1
40歳代	214	62.6	55.6	52.8	20.6	17.3	13.1	14.0	7.9
50歳代	261	70.5	48.7	51.0	21.1	33.0	10.0	5.7	8.0
60歳代	172	68.0	54.7	62.8	25.6	27.9	6.4	5.2	7.6

(注) 無職を除く。

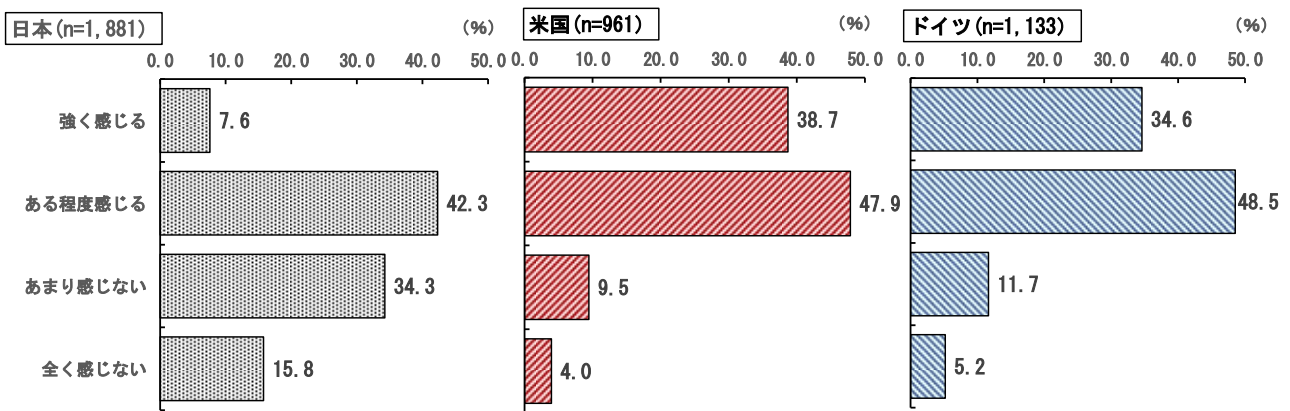
### 問 13 仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか

「仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか」について、日本では「強く感じる」「ある程度感じる」との回答割合が、米国、ドイツに比べ低かった。

職業・職種別にみると、日本では労務・技能職、派遣、パート・アルバイト、主婦・主夫で、低い傾向がみられた。

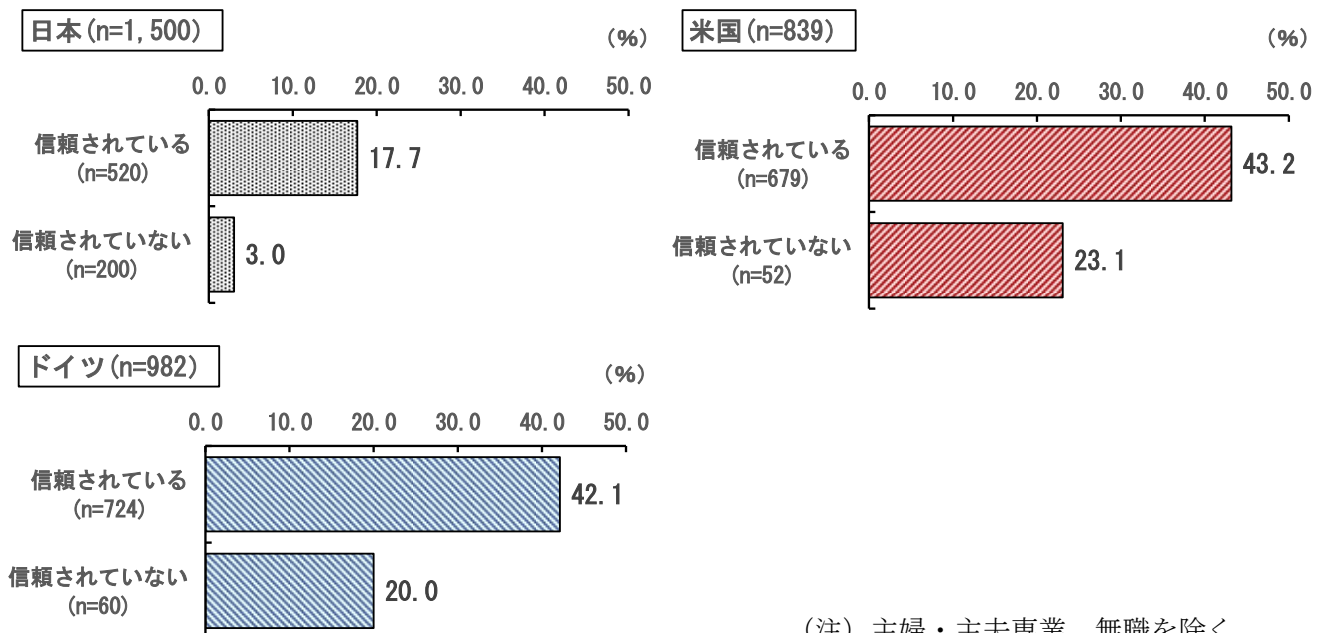
3 か国ともに、職場や学校で信頼関係があると、仕事・学業に喜びを感じるという関係がみられた。

図表 13-1 仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか（1つだけ回答）



(注) 無職を除く

図表 13-2 「職場・学校で信頼されている、いない」と「仕事に喜び・楽しみを強く感じる」の割合の関係



(注) 主婦・主夫専業、無職を除く

図表 13-3 職業別 仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	強く感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	感じない
<b>【日本】</b> (％)					
全体（無職を除く）	1,881	7.6	42.3	34.3	15.8
農林漁業	14	7.1	50.0	21.4	21.4
自営業（商工業）	102	10.8	50.0	29.4	9.8
その他自営業	78	15.4	48.7	16.7	19.2
公務員	45	15.6	62.2	15.6	6.7
会社員（管理職）	161	11.8	46.6	31.7	9.9
会社員（事務・技術職）	483	7.0	39.1	32.7	21.1
会社員（労務・技能職）	186	4.8	31.2	40.3	23.7
派遣	31	3.2	38.7	45.2	12.9
パート、アルバイト、等	291	5.2	37.8	40.2	16.8
主婦・主夫専業	381	4.2	47.2	38.3	10.2
学生	109	16.5	44.0	28.4	11.0
<b>【米国】</b> (％)					
全体（無職を除く）	961	38.7	47.9	9.5	4.0
農林漁業	17	35.3	52.9	5.9	5.9
自営業（商工業）	99	49.5	38.4	10.1	2.0
その他自営業	62	37.1	45.2	11.3	6.5
公務員	52	44.2	46.2	5.8	3.8
会社員（管理職）	229	50.2	43.2	5.2	1.3
会社員（事務・技術職）	138	24.6	56.5	15.2	3.6
会社員（労務・技能職）	104	30.8	55.8	10.6	2.9
派遣	17	17.6	82.4	—	—
パート、アルバイト、等	80	27.5	55.0	11.3	6.3
主婦・主夫専業	122	41.0	38.5	12.3	8.2
学生	41	36.6	51.2	4.9	7.3
<b>【ドイツ】</b> (％)					
全体（無職を除く）	1,133	34.6	48.5	11.7	5.2
農林漁業	51	76.5	19.6	3.9	—
自営業（商工業）	68	51.5	39.7	5.9	2.9
その他自営業	61	63.9	24.6	8.2	3.3
公務員	49	38.8	49.0	10.2	2.0
会社員（管理職）	162	48.1	42.6	5.6	3.7
会社員（事務・技術職）	254	25.6	56.7	11.8	5.9
会社員（労務・技能職）	171	24.6	57.3	14.0	4.1
派遣	9	22.2	33.3	33.3	11.1
パート、アルバイト、等	90	23.3	54.4	15.6	6.7
主婦・主夫専業	151	23.8	53.0	15.2	7.9
学生	67	23.9	46.3	19.4	10.4

(注) その他自営業はフリーランス、専門職、等を含む。パート、アルバイト、等は日雇、臨時雇を含む

図表 13-4 職場・学校での信頼関係と仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを感じるか  
（1つだけ回答）

		回答者数 (人)	仕事（家事、学業を含め）に喜び・楽しみを			
			強く感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	感じない
<b>【日本】</b>						
(%)						
全体		1,500	8.5	41.1	33.3	17.2
人 信 頼 を お け る	0人	723	4.8	28.1	37.2	29.9
	1人	224	7.6	46.0	39.7	6.7
	2人	209	8.6	50.2	33.5	7.7
	3~4人	150	10.0	62.0	24.0	4.0
	5人以上	194	21.6	57.7	18.0	2.6
学 校 で ・ 職 場 で	信頼されていない	200	3.0	20.5	37.5	39.0
	信頼されている	520	17.7	56.5	20.0	5.8
	わからない	780	3.7	36.0	41.0	19.2
<b>【米国】</b>						
(%)						
全体		839	38.4	49.2	9.1	3.3
信 頼 お け る 人	0人	192	22.9	48.4	19.8	8.9
	1人	181	39.8	49.7	7.7	2.8
	2人	154	33.8	57.8	6.5	1.9
	3~4人	146	45.9	46.6	6.8	0.7
	5人以上	166	52.4	44.0	2.4	1.2
学 校 で ・ 職 場 で	信頼されていない	52	23.1	53.8	19.2	3.8
	信頼されている	679	43.2	47.9	6.5	2.5
	わからない	108	15.7	55.6	20.4	8.3
<b>【ドイツ】</b>						
(%)						
全体		982	36.3	47.9	11.1	4.8
信 頼 お け る 人	0人	231	21.6	44.6	22.5	11.3
	1人	205	42.0	44.9	9.8	3.4
	2人	207	37.7	50.7	8.7	2.9
	3~4人	178	32.6	57.9	6.2	3.4
	5人以上	161	52.2	41.6	5.0	1.2
学 校 で ・ 職 場 で	信頼されていない	60	20.0	45.0	23.3	11.7
	信頼されている	724	42.1	47.4	7.6	2.9
	わからない	198	19.7	50.5	20.2	9.6

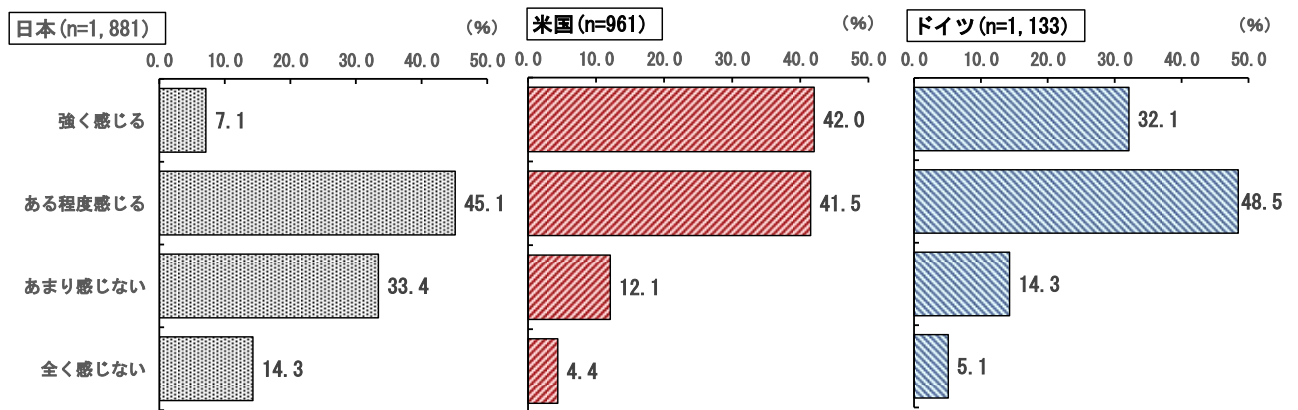
(注) 主婦・主夫専業、無職を除く

## 問 14 仕事（家事、学業を含め）で世の中に役立っていると感じるか

日本では仕事（家事、学業を含め）で世の中に役立っていると感じるかについて、「強く感じる」との回答割合が、米国、ドイツに比べ著しく低く、「あまり感じない」、「全く感じない」との回答割合が高かった。

職業・職種別にみると、日本では、派遣、パート・アルバイト、主婦・主夫で、「強く感じる」との回答割合が低かった。他方、米国、ドイツでは、それらの職業・職種でも日本ほど低くはなかった。

図表 14-1 仕事（家事、学業を含め）で世の中に役立っていると感じるか（1つだけ回答）



(注) 無職を除く



図表 14-2 職業別 仕事（家事、学業を含め）で世の中に役立っていると感じるか  
（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	強く感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	感じない
<b>【日本】</b> (％)					
全体（無職を除く）	1,881	7.1	45.1	33.4	14.3
農林漁業	14	—	50.0	28.6	21.4
自営業（商工業）	102	12.7	50.0	27.5	9.8
その他自営業	78	11.5	46.2	20.5	21.8
公務員	45	24.4	57.8	13.3	4.4
会社員（管理職）	161	9.9	57.8	26.1	6.2
会社員（事務・技術職）	483	7.2	44.1	31.3	17.4
会社員（労務・技能職）	186	7.0	41.9	32.3	18.8
派遣	31	3.2	48.4	41.9	6.5
パート、アルバイト、等	291	4.5	39.2	40.5	15.8
主婦・主夫専業	381	2.6	45.1	40.4	11.8
学生	109	11.9	40.4	33.9	13.8
<b>【米国】</b> (％)					
全体（無職を除く）	961	42.0	41.5	12.1	4.4
農林漁業	17	52.9	23.5	17.6	5.9
自営業（商工業）	99	48.5	35.4	10.1	6.1
その他自営業	62	40.3	35.5	12.9	11.3
公務員	52	55.8	26.9	11.5	5.8
会社員（管理職）	229	49.3	41.0	8.7	0.9
会社員（事務・技術職）	138	34.1	49.3	13.0	3.6
会社員（労務・技能職）	104	33.7	48.1	16.3	1.9
派遣	17	41.2	47.1	11.8	—
パート、アルバイト、等	80	36.3	43.8	16.3	3.8
主婦・主夫専業	122	38.5	41.8	10.7	9.0
学生	41	36.6	43.9	14.6	4.9
<b>【ドイツ】</b> (％)					
全体（無職を除く）	1,133	32.1	48.5	14.3	5.1
農林漁業	51	74.5	17.6	7.8	—
自営業（商工業）	68	33.8	48.5	16.2	1.5
その他自営業	61	47.5	39.3	11.5	1.6
公務員	49	42.9	46.9	10.2	—
会社員（管理職）	162	45.1	46.3	6.8	1.9
会社員（事務・技術職）	254	23.2	53.5	17.3	5.9
会社員（労務・技能職）	171	28.7	56.7	10.5	4.1
派遣	9	22.2	66.7	11.1	—
パート、アルバイト、等	90	24.4	53.3	15.6	6.7
主婦・主夫専業	151	25.8	44.4	19.2	10.6
学生	67	13.4	46.3	26.9	13.4

(注) その他自営業はフリーランス、専門職、等を含む。パート、アルバイト、等は日雇、臨時雇を含む

## <消費者としての意識>

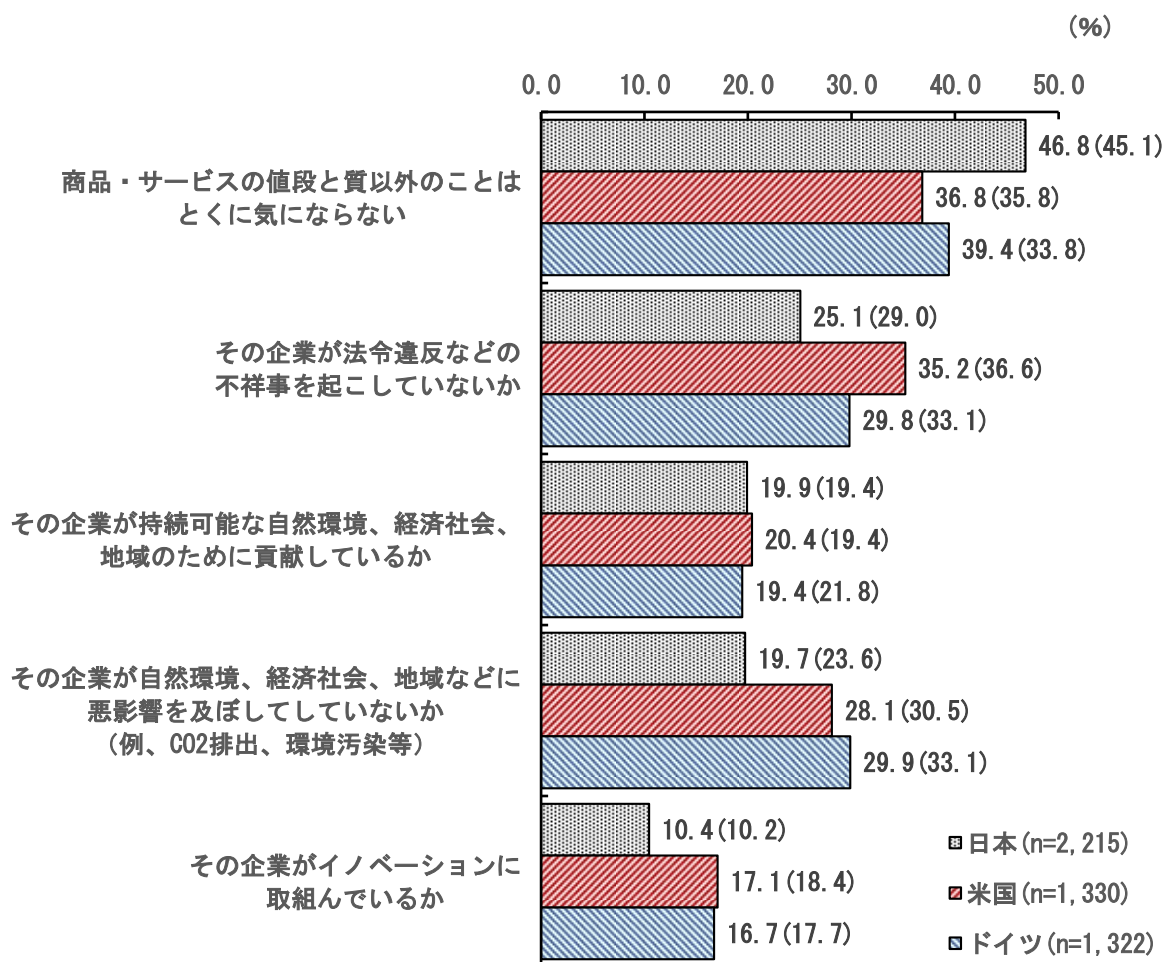
### 問 15 消費者として、買い物をする時に気になる要素は何か

「消費者として買い物をする際に気になる要素」として、3 か国ともに、「企業の不祥事」や「環境・社会への悪影響」など、社会課題への企業の対応を挙げた人の割合は2～3割となった。

日本では、「値段と質以外のことはとくに気にならない」が最も多かったが、「企業の不祥事」、「自然環境、経済社会、地域に悪影響を及ぼしていないか」、「持続可能な自然環境、経済社会、地域のために貢献しているか」を挙げた人の割合も2割前後となった。年齢別にみて回答に大きな差はみられなかった。

米国、ドイツでは、「値段と質以外はとくに気にならない」に次いで、「企業の不祥事」や「自然環境、経済社会、地域に悪影響を及ぼしていないか」が高い割合を占めた。「持続可能な自然環境、経済社会、地域のために貢献しているか」、「イノベーションに取り組んでいるか」も2割程度と高かった。年齢別にみると、米国、ドイツともに、10歳代、20歳代で社会課題への意識が高い傾向がみられた。

図表 15-1 消費者として気になること（2つまで回答、日本の回答結果で降順）



(注) ( ) 内は21年調査の数値

図表 15-2 世代別 消費者として気になること（2つまで回答、日本の回答結果で降順）

	回答者数（人）	商品・サービスの値段と質以外のことはとくに気にならない	その企業が法令違反などの不祥事を起こしていないか	その企業が自然環境、経済社会、地域などに悪影響を及ぼしていないか	その企業がイノベーションに取り組んでいるか	その企業が持続可能な自然環境、経済社会、地域のために貢献しているか
--	---------	-----------------------------	--------------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	46.8	25.1	19.9	19.7	10.4
10 歳代	84	47.6	17.9	20.2	19.0	17.9
20 歳代	334	45.8	24.3	21.0	13.5	12.9
30 歳代	391	47.3	21.5	22.0	12.3	12.0
40 歳代	507	46.9	25.8	17.8	20.9	9.7
50 歳代	463	50.8	23.1	17.3	23.1	8.6
60 歳代	436	42.7	31.4	22.5	26.4	8.5

【米国】

(%)

全体	1,330	36.8	35.2	20.4	28.1	17.1
10 歳代	29	31.0	48.3	17.2	20.7	24.1
20 歳代	298	29.5	43.0	19.5	29.5	19.1
30 歳代	266	31.2	34.2	21.8	30.1	23.3
40 歳代	248	32.7	35.5	22.6	29.8	19.0
50 歳代	258	45.3	29.5	20.2	26.0	14.7
60 歳代	231	48.5	30.7	18.2	25.5	6.9

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	39.4	29.8	19.4	29.9	16.7
10 歳代	37	37.8	35.1	13.5	21.6	18.9
20 歳代	224	30.8	41.1	13.4	32.1	22.8
30 歳代	256	30.1	45.3	13.7	28.1	25.0
40 歳代	237	41.8	23.6	18.1	26.2	17.7
50 歳代	315	43.5	20.6	24.8	33.7	13.0
60 歳代	253	49.4	20.6	26.1	29.6	6.3

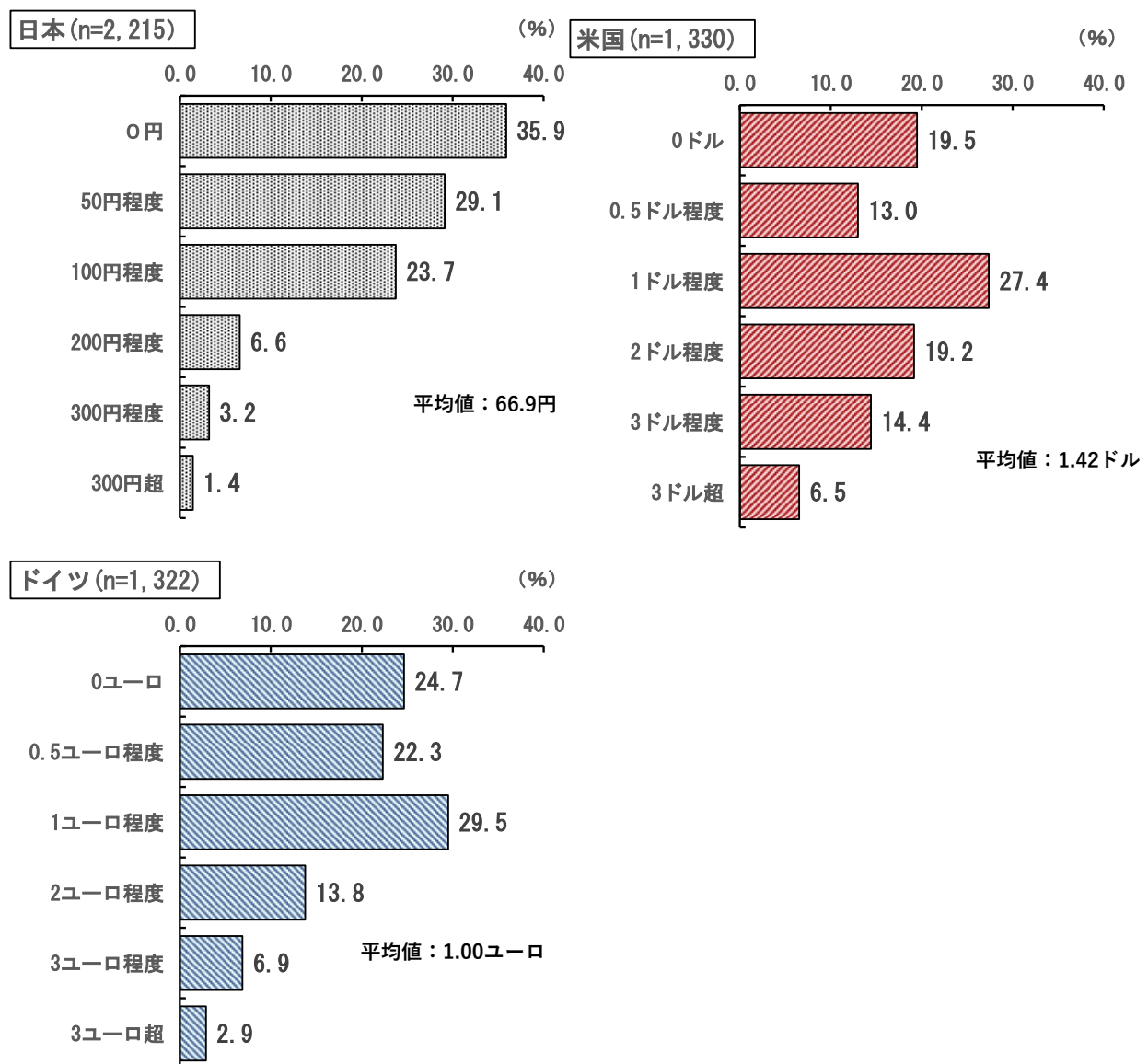
## 問 16 CO2 排出ゼロにするための追加費用をどの程度まで価格上昇として容認できるか

通常 1000 円（米国 10 ドル、ドイツ 10 ユーロ）で販売されている食品について、CO2 排出をゼロにするために 300 円（3 ドル、3 ユーロ）の追加費用が生じる場合、どの程度まで価格上昇として容認できるかを聞いた。

その結果、平均でみると、日本では追加費用の 2 割強、米国では 5 割弱、ドイツでは 3 割強の価格上昇を許容するという結果となった。

年齢別にみると、日本では大きな差はなかったが、米国、ドイツでは高齢層ほど価格上昇の許容度は低めとなった。所得別にみると、3 か国とも所得水準が高くなるほど許容度が高まる傾向がみられた。生活満足にとって重要な要素として「環境」を選択した回答者は、そうでない回答者に比べ、価格上昇の許容度は高めとなった。

図表 16-1 環境配慮のためにどの程度の費用であれば容認できるのか（1つだけ回答）



図表 16-2 世代別 環境配慮のためにどの程度の追加費用であれば容認できるのか  
(1つだけ回答)

【日本】		(%)					
	回答者 (人)	0円	50円 程度	100円 程度	200円 程度	300円 程度	平均 (円)
全体	2,215	35.9	29.1	23.7	6.6	3.2	66.9
10歳代	84	27.4	26.2	32.1	8.3	6.0	79.8
20歳代	334	38.9	24.6	23.4	6.9	3.3	71.3
30歳代	391	43.2	28.1	19.9	5.4	1.5	56.5
40歳代	507	35.9	29.4	22.3	7.9	3.4	67.6
50歳代	463	36.3	30.0	22.9	5.6	4.1	65.8
60歳代	436	28.2	32.8	28.4	6.7	3.0	70.8

【米国】		(%)					
	回答者 (人)	0ドル	0.5ドル 程度	1ドル 程度	2ドル 程度	3ドル 程度	平均 (ドル)
全体	1,330	19.5	13.0	27.4	19.2	14.4	1.42
10歳代	29	3.4	6.9	37.9	17.2	20.7	1.93
20歳代	298	12.1	13.4	29.2	24.5	14.4	1.54
30歳代	266	9.8	9.0	26.7	24.8	19.9	1.80
40歳代	248	15.7	12.1	25.4	20.6	15.7	1.62
50歳代	258	32.2	16.3	26.7	13.2	8.9	0.99
60歳代	231	32.0	15.2	27.3	11.3	12.1	1.02

【ドイツ】		(%)					
	回答者 (人)	0ユーロ	0.5ユーロ 程度	1ユーロ 程度	2ユーロ 程度	3ユーロ 程度	平均 (ユーロ)
全体	1,322	24.7	22.3	29.5	13.8	6.9	1.00
10歳代	37	2.7	10.8	32.4	35.1	16.2	1.68
20歳代	224	8.9	22.3	33.5	17.9	11.6	1.38
30歳代	256	11.7	16.4	35.9	19.5	11.7	1.37
40歳代	237	29.5	24.9	27.8	12.2	4.6	0.82
50歳代	315	33.3	25.1	26.7	8.9	3.5	0.78
60歳代	253	39.5	24.1	24.1	8.7	2.8	0.65

図表 16-3 所得別 環境配慮のためにどの程度の追加費用であれば容認できるのか  
(1つだけ回答)

【日本】

(%)

	回答者 (人)	0円	50円 程度	100円 程度	200円 程度	300円 程度	平均 (円)
全体	2,215	35.9	29.1	23.7	6.6	3.2	66.9
～100万円未満	693	35.5	32.3	23.7	5.6	2.5	60.2
～200万円未満	269	37.9	34.2	21.9	2.2	3.0	55.4
～400万円未満	408	30.4	28.4	27.2	8.3	3.9	76.7
～600万円未満	276	33.3	27.5	26.8	9.1	1.8	69.9
～800万円未満	146	30.1	25.3	30.8	5.5	5.5	81.8
～1,000万円未満	65	27.7	26.2	18.5	15.4	7.7	103.8
1,000万円以上	76	27.6	25.0	25.0	7.9	7.9	103.3

(注)所得を「答えたくない」(n=282)と回答した人の平均は51.1円

【米国】

(%)

	回答者 (人)	0ドル	0.5ドル 程度	1ドル 程度	2ドル 程度	3ドル 程度	平均 (ドル)
全体	1,330	19.5	13.0	27.4	19.2	14.4	1.42
～1万ドル未満	113	29.2	17.7	28.3	9.7	12.4	1.04
～2万ドル未満	120	24.2	12.5	29.2	15.8	15.0	1.25
～4万ドル未満	242	18.2	13.6	29.3	16.5	16.1	1.42
～6万ドル未満	231	16.9	16.0	32.0	21.2	8.7	1.29
～8万ドル未満	175	18.9	13.1	33.7	20.6	9.1	1.27
～10万ドル未満	114	19.3	16.7	17.5	18.4	23.7	1.51
10万ドル以上	269	13.8	7.1	20.4	26.0	19.3	1.88

(注)所得を「答えたくない」(n=66)と回答した人の平均は1.11ドル

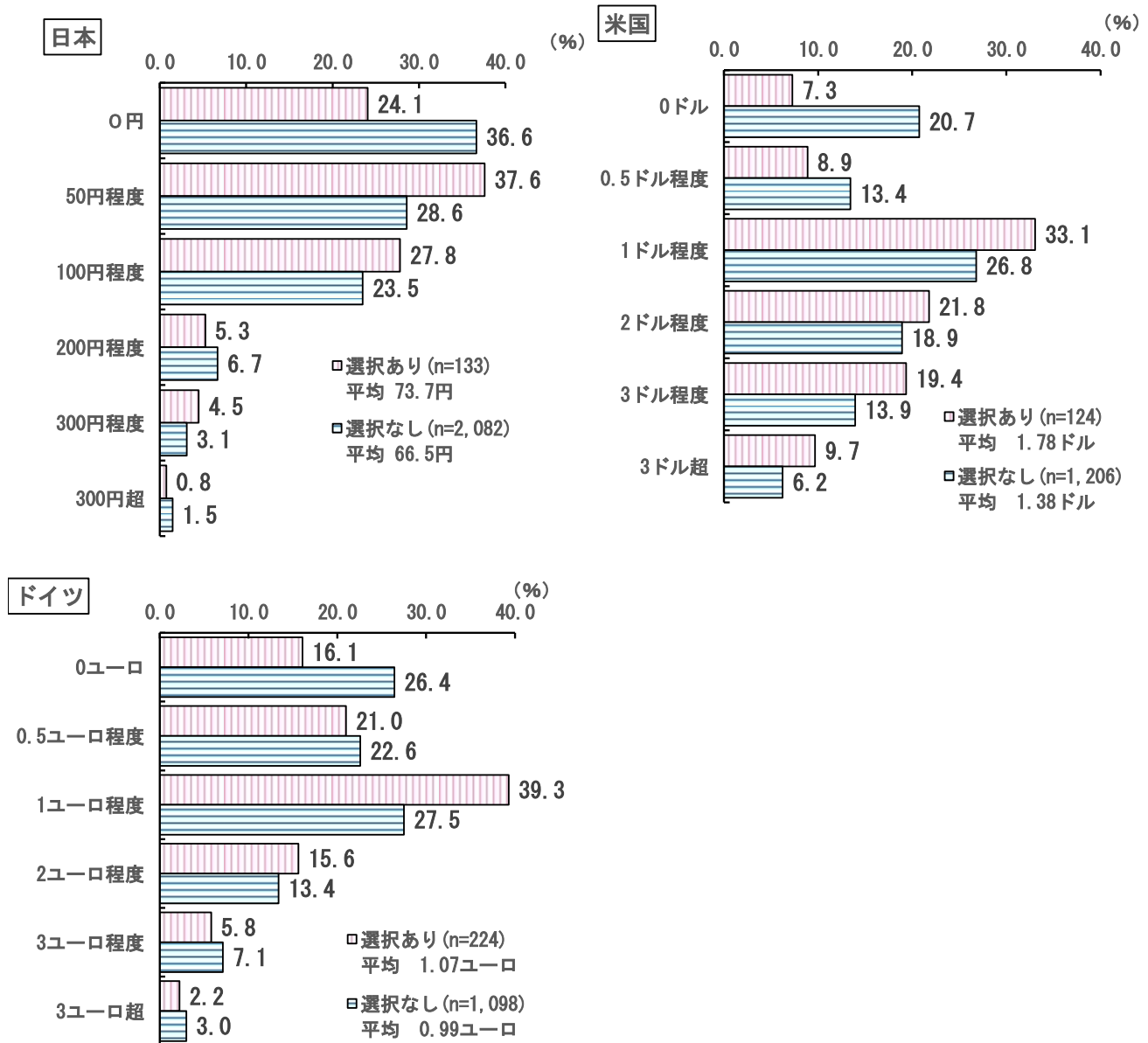
【ドイツ】

(%)

	回答者 (人)	0ユーロ	0.5ユーロ 程度	1ユーロ 程度	2ユーロ 程度	3ユーロ 程度	平均 (ユーロ)
全体	1,322	24.7	22.3	29.5	13.8	6.9	1.00
～1万ユーロ未満	125	32.0	22.4	26.4	10.4	7.2	0.86
～2万ユーロ未満	206	38.3	24.8	22.8	12.1	1.5	0.66
～4万ユーロ未満	364	22.3	23.4	32.4	11.0	7.4	1.03
～6万ユーロ未満	237	23.2	22.4	30.0	17.7	5.1	0.99
～8万ユーロ未満	139	15.8	23.7	35.3	14.4	7.9	1.11
～10万ユーロ未満	86	10.5	18.6	36.0	20.9	11.6	1.31
10万ユーロ以上	86	16.3	14.0	22.1	19.8	17.4	1.63

(注)所得を「答えたくない」(n=79)と回答した人の平均は0.87ユーロ

図表 16-4 持続可能な自然環境（生活満足にとって重要なもの）選択の有無別  
環境配慮のためにどの程度の追加費用であれば容認できるのか（1つだけ回答）

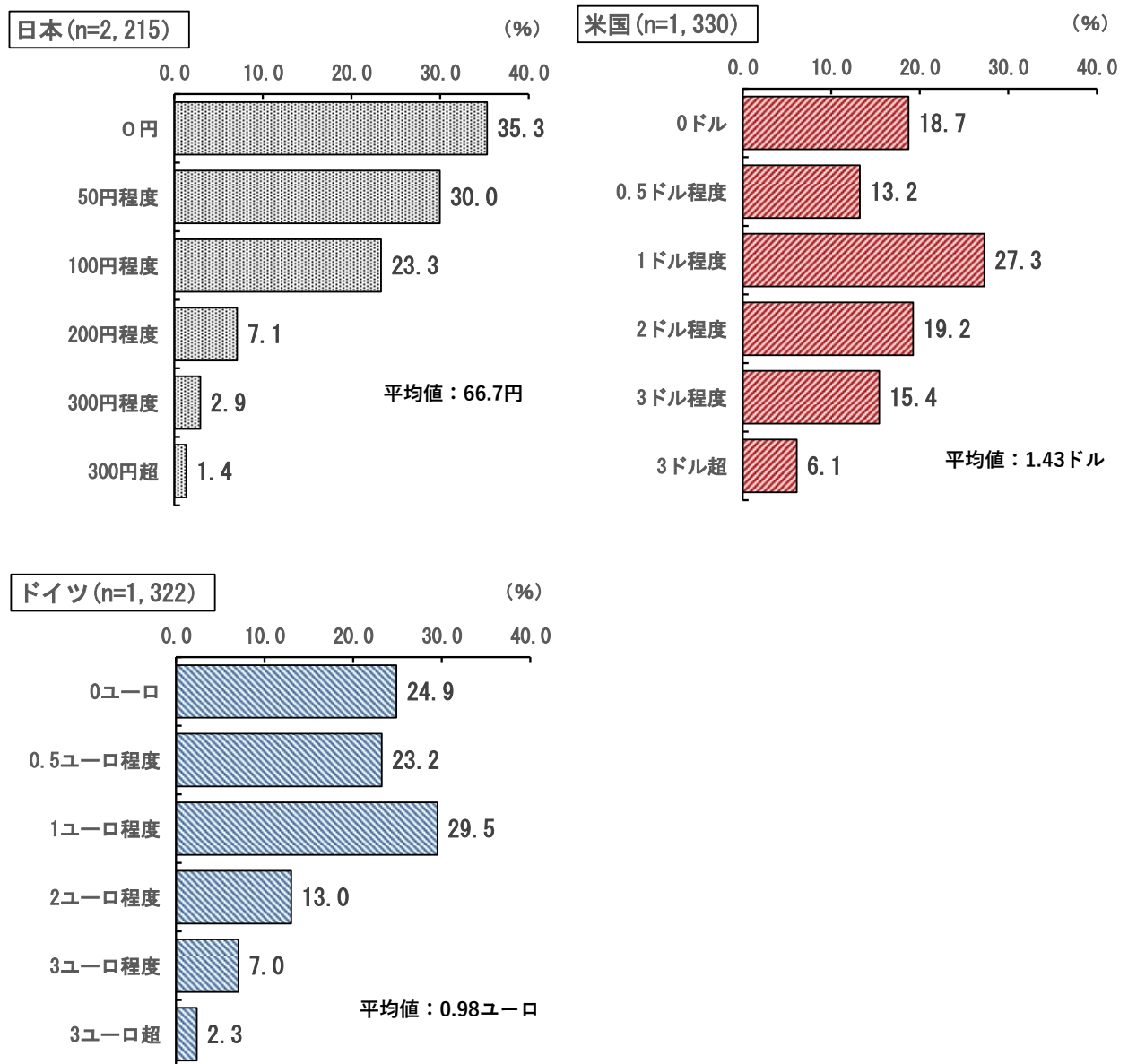


## 問 17 地域社会への貢献のための追加費用をどの程度まで価格上昇として容認できるか

通常 1000 円（米国 10 ドル、ドイツ 10 ユーロ）で販売されている食品について、地域社会への貢献（地域での雇用や原料調達、地域貢献、寄付等）のために 300 円（3 ドル、3 ユーロ）の追加費用が生じる場合、どの程度まで価格上昇として容認できるかを聞いた。

その結果、CO2 削減に関する問 16 と同様、平均で見ると、日本では追加費用の 2 割強、米国では 5 割弱、ドイツでは 3 割強の負担を許容するという結果となった。生活満足にとって重要な要素として「環境」を選択した回答者は、そうでない回答者に比べ、価格上昇の許容度は高めとなった。

図表 17-1 地域社会貢献のためにどの程度の追加費用であれば容認できるのか  
(1つだけ回答)





## <投資家としての意識>

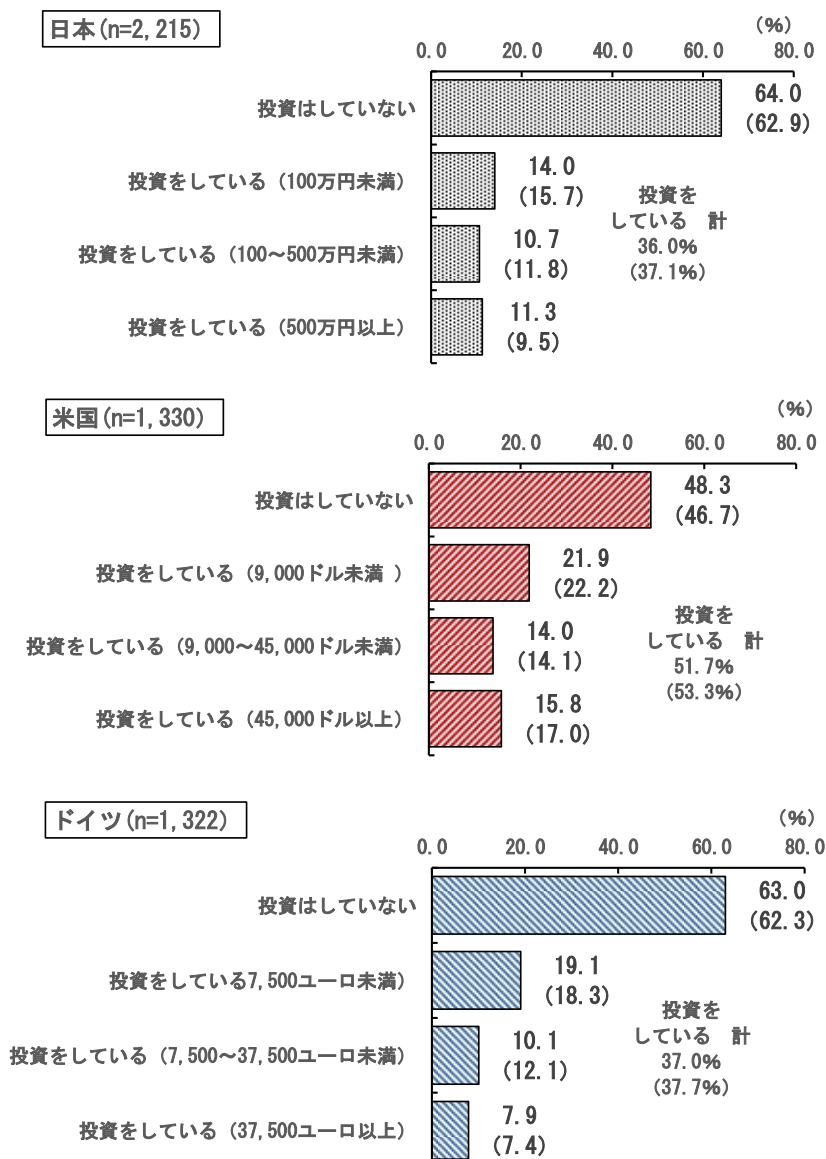
### 問 18 株式、債券、投資信託への投資をどの程度行っているか

「株式、債券、投資信託への投資について」日本では、4割弱が投資を行っていると回答し、「500万円以上投資している」が約1割を占めた。男性に比べ女性は、投資している割合が低かった。年齢別にみると、高齢層ほど投資している割合が高かったが、少額投資非課税制度（NISA）の導入等を背景に、20歳代、30歳代でも小口を中心に3割以上が投資をしていると回答した。

ドイツは日本と近い結果となり、4割弱が投資をしていると回答し、「37,500ユーロ（約540万円）以上投資している」が1割弱となった。

これに対し、米国では、投資を行っているが5割を超え、「45,000ドル（約650万円）以上投資している」が2割弱と高い割合となった。男女別にみると、日本と同様、米国、ドイツでも男性に比べ投資をしている女性の割合は低かった。年齢別にみると、米国では30歳代を中心に投資を行っている割合が高かった。他方、ドイツでは、2001年から税制優遇のある個人年金制度がスタートしたこともあり、投資をしているとの回答割合は若年層が高く、高齢層は低かった。

図表 18-1 株式、債券、投資信託への投資の状況・回答割合（1つだけ回答）



図表 18-2 性別・世代別 株式、債券、投資信託への投資の状況 (1つだけ回答)

【日本】

(%)

	回答者数 (人)	投資は して いない	投資をしている			
			100万円 未満	100～500万 円未満	500万円 以上	計
全体	2,215	64.0	14.0	10.7	11.3	36.0
男性	1,117	55.1	15.7	13.2	16.1	44.9
女性	1,098	73.1	12.4	8.1	6.4	26.9
10歳代	84	91.7	6.0	1.2	1.2	8.3
20歳代	334	66.5	18.3	10.5	4.8	33.5
30歳代	391	64.2	18.9	10.2	6.6	35.8
40歳代	507	61.3	17.0	10.8	10.8	38.7
50歳代	463	65.9	8.9	10.2	15.1	34.1
60歳代	436	57.8	10.1	13.3	18.8	42.2

【米国】

(%)

	回答者数 (人)	投資は して いない	投資をしている			
			9,000ドル 未満	9,000～ 45,000ドル 未満	45,000ドル 以上	計
全体	1,330	48.3	21.9	14.0	15.8	51.7
男性	658	36.5	24.6	17.9	21.0	63.5
女性	672	60.0	19.2	10.1	10.7	40.0
10歳代	29	58.6	20.7	13.8	6.9	41.4
20歳代	298	47.0	31.5	14.1	7.4	53.0
30歳代	266	38.3	22.9	22.6	16.2	61.7
40歳代	248	47.6	25.0	16.9	10.5	52.4
50歳代	258	54.3	17.4	8.5	19.8	45.7
60歳代	231	54.5	10.0	6.9	28.6	45.5

【ドイツ】

(%)

	回答者数 (人)	投資は して いない	投資をしている			
			7,500 ユーロ未満	7,500～ 37,500 ユーロ未満	37,500 ユーロ以上	計
全体	1,322	63.0	19.1	10.1	7.9	37.0
男性	666	54.4	21.6	12.6	11.4	45.6
女性	656	71.8	16.5	7.5	4.3	28.2
10歳代	37	43.2	43.2	10.8	2.7	56.8
20歳代	224	54.9	31.3	9.4	4.5	45.1
30歳代	256	53.1	24.6	15.6	6.6	46.9
40歳代	237	62.9	19.4	9.7	8.0	37.1
50歳代	315	72.7	10.2	8.6	8.6	27.3
60歳代	253	71.1	9.9	7.1	11.9	28.9

**問 19 投資を行う際に、投資先企業が「社会課題」に取り組んでいるか否かを気にしているか（問 18 で「投資をしている」と回答した人に質問）**

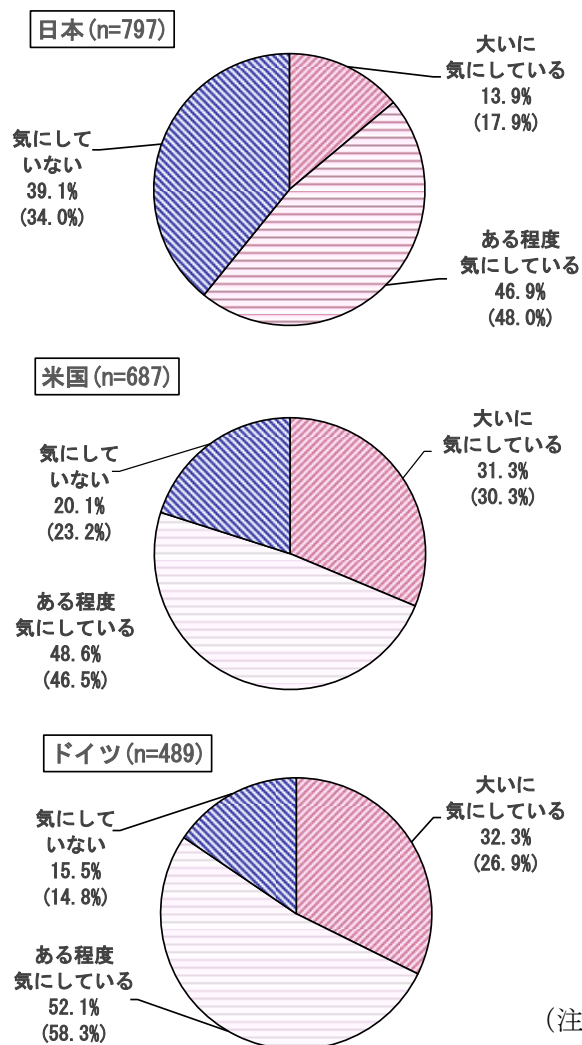
3 か国ともに、「投資」を行う際には、「働き手」として就職先を選ぶ場合や「消費者」として商品を選択する場合以上に、「投資先企業の社会課題への取組み」に関心を持つ人の割合が高く、また、若年層ほど関心が高かった。

日本では、約 6 割が投資先企業の社会課題への取組みを「気にしている（大いに＋ある程度）」と回答した。また、年齢別にみると若年層で「気にしている」との回答が高めとなり、「働き手としての意識」や「消費者としての意識」とは異なる傾向が示された。

米国（8割）、ドイツ（8割強）では「気にしている」との回答割合が日本以上に高かった。年齢別にみると、日本と同様、若年層で「気にしている」との回答が高い傾向となった。

上記のような結果の背景には、株式等への投資を行っている人の所得水準が平均より高いこと、また投資の判断をする際（特に若年層が投資判断を行う際）には、商品購入の判断などに比べ、長期の観点が重視され、企業の長期的パフォーマンス（収益やリスク等）に影響を及ぼす可能性のある「社会課題」への対応により注意が払われている可能性があると考えられる。

**図表 19-1 投資先企業の「持続可能性」を高める取組みへの関心（1つだけ回答）**



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 19-2 世代別 投資先企業の「持続可能性」を高める取り組みへの関心（1つだけ回答）

	回答者数 (人)	大いに 気にしている	ある程度 気にしている	気にして いない	気にして いる 計
<b>【日本】</b> (％)					
全体	797	13.9	46.9	39.1	60.9
10 歳代	7	42.9	28.6	28.6	71.4
20 歳代	112	24.1	43.8	32.1	67.9
30 歳代	140	18.6	40.0	41.4	58.6
40 歳代	196	11.2	46.4	42.3	57.7
50 歳代	158	10.8	46.2	43.0	57.0
60 歳代	184	8.7	56.0	35.3	64.7
<b>【米国】</b> (％)					
全体	687	31.3	48.6	20.1	79.9
10 歳代	12	25.0	66.7	8.3	91.7
20 歳代	158	35.4	52.5	12.0	88.0
30 歳代	164	43.3	43.3	13.4	86.6
40 歳代	130	37.7	51.5	10.8	89.2
50 歳代	118	19.5	46.6	33.9	66.1
60 歳代	105	12.4	47.6	40.0	60.0
<b>【ドイツ】</b> (％)					
全体	489	32.3	52.1	15.5	84.5
10 歳代	21	23.8	52.4	23.8	76.2
20 歳代	101	44.6	49.5	5.9	94.1
30 歳代	120	46.7	48.3	5.0	95.0
40 歳代	88	25.0	58.0	17.0	83.0
50 歳代	86	23.3	58.1	18.6	81.4
60 歳代	73	13.7	47.9	38.4	61.6

＜イノベーションについての意識＞

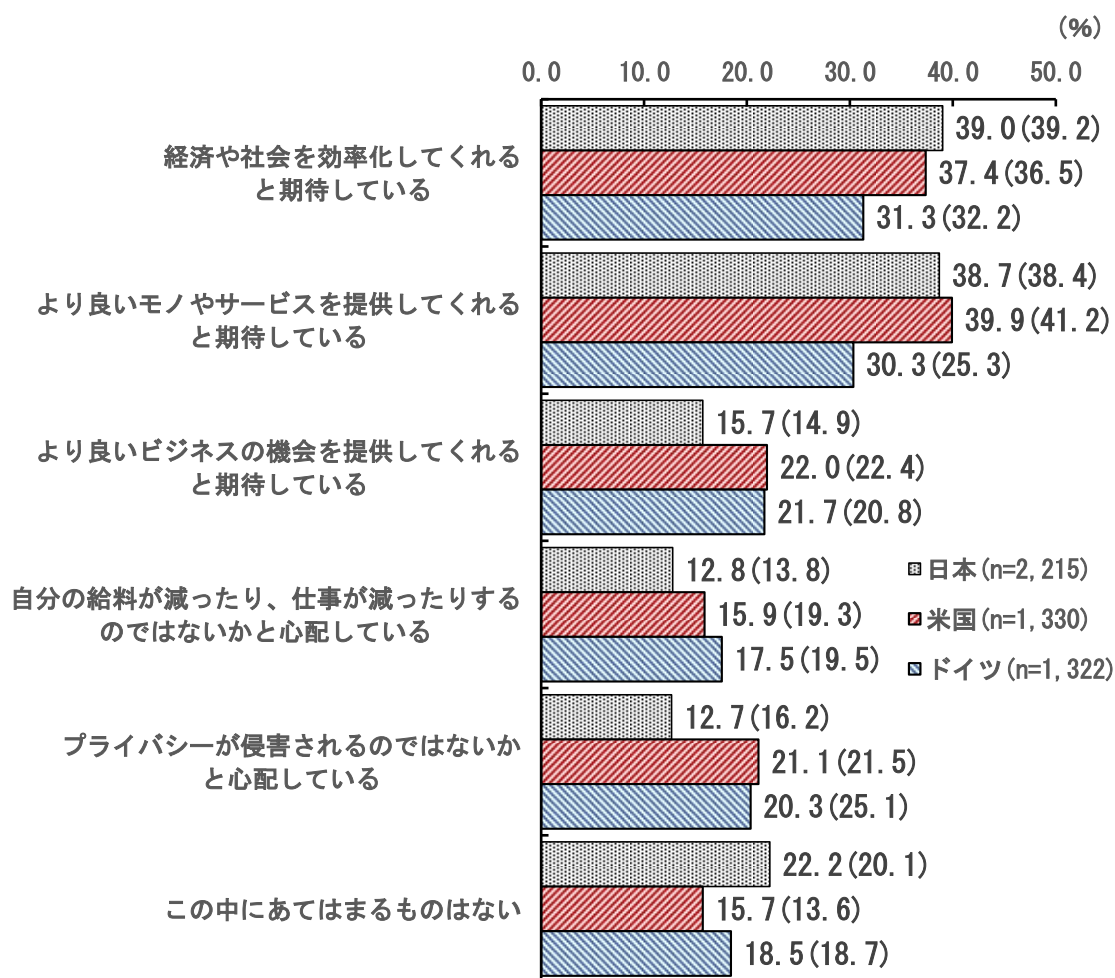
問 20 近年のAIやロボットなどのイノベーションについてどのように感じているか

「近年のAIやロボットなどのイノベーション」について、日本では、「経済や社会を効率化してくれる」、「より良いモノやサービスを提供してくれる」というポジティブな評価が高かったが、「給料や仕事の減少を心配」、「プライバシーの侵害を心配」というネガティブな評価も1割を超えた。

米国では日本と同様、ポジティブな評価が高い一方、プライバシーの侵害などの懸念が日本より高かった。

ドイツではイノベーションに対するポジティブな評価が日米に比べ低かった。

図表 20-1 イノベーションに対する感じ方（2つまで回答、日本の回答結果で降順）



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 20-2 性別・世代別 イノベーションに対する感じ方  
(2つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	経済や社会を効率化 してくれと期待し ている	より良いモノやサー ビスを提供してくれ ると期待している	より良いビジネスの 機会を提供してくれ ると期待している	自分の給料が減った り、仕事が減ったり するのではないかと 心配している	プライバシーが侵害 されるのではないかと 心配している	この中にあてはまる ものはない
--	----------	------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	---	-----------------------------------	--------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	39.0	38.7	15.7	12.8	12.7	22.2
男性	1,117	41.3	38.3	18.4	12.9	10.5	22.2
女性	1,098	36.7	39.1	12.9	12.7	14.9	22.2
10 歳代	84	32.1	41.7	9.5	14.3	21.4	26.2
20 歳代	334	35.6	33.8	17.1	16.5	8.4	29.9
30 歳代	391	29.4	32.0	18.7	16.6	11.8	27.6
40 歳代	507	39.1	39.8	15.8	15.0	12.6	20.5
50 歳代	463	39.1	37.6	14.3	10.6	14.5	19.7
60 歳代	436	51.4	47.7	14.7	6.0	13.3	15.4

【米国】

(%)

全体	1,330	37.4	39.9	22.0	15.9	21.1	15.7
男性	658	38.1	46.4	27.1	15.7	17.3	11.6
女性	672	36.6	33.6	17.0	16.1	24.9	19.8
10 歳代	29	37.9	44.8	34.5	27.6	10.3	6.9
20 歳代	298	30.9	40.6	31.9	18.8	17.1	15.1
30 歳代	266	38.0	43.6	30.5	17.3	15.4	12.0
40 歳代	248	38.3	45.2	23.4	15.3	15.3	14.1
50 歳代	258	38.0	34.9	12.4	16.7	28.7	19.0
60 歳代	231	43.3	34.2	6.9	8.7	32.0	19.9

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	31.3	30.3	21.7	17.5	20.3	18.5
男性	666	34.7	32.9	25.5	16.5	19.8	14.3
女性	656	27.9	27.7	17.8	18.6	20.9	22.7
10 歳代	37	24.3	27.0	24.3	24.3	13.5	16.2
20 歳代	224	30.8	41.1	31.7	25.0	14.7	7.6
30 歳代	256	27.7	43.0	39.8	16.8	11.3	11.7
40 歳代	237	33.3	30.0	17.7	20.7	19.4	17.3
50 歳代	315	32.1	23.8	13.3	14.6	23.5	25.7
60 歳代	253	33.6	17.0	8.3	11.5	32.4	27.3

## <政府のあり方についての意識>

### 問 21 政府（国や自治体）が果たすべき重要な役割は何か

「政府が果たすべき役割」としては、3 か国とも、経済面と社会面の双方で役割を果たすことが期待されている。

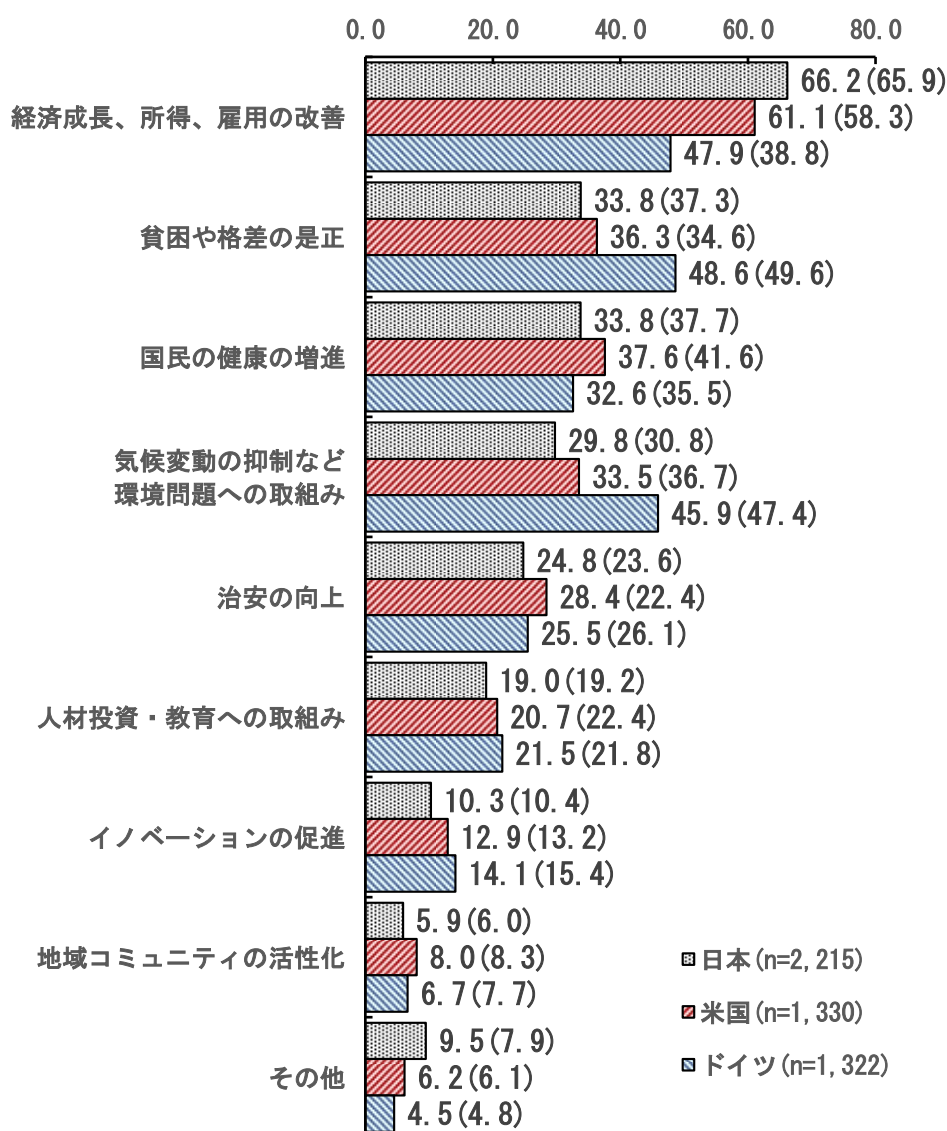
日本では、「経済成長、所得、雇用の改善」が最も高く、「貧困や格差の是正」、「国民の健康の増進」がそれに続き、「環境問題への取組み」も3割を超えた。

米国は日本と同様の傾向となり、「経済成長、所得、雇用の改善」が最も高く、「国民の健康の増進」、「貧困や格差の是正」、「環境問題への取組み」が続いた。

他方、ドイツでは、「経済成長、所得、雇用の改善」が日本、米国に比べ低く、「貧困や格差の是正」、「環境問題への取組み」という社会課題への取組みが経済成長など経済面の課題と同程度の水準となった。

前回調査と比較すると、経済・物価情勢の厳しさ等を背景に、3 か国ともに、政府が果たすべき役割として、経済成長の割合がやや高まり、社会課題の割合がやや低下する傾向がみられた。

図表 21-1 政府が果たすべき役割（3つまで回答、日本の回答結果で降順）



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

図表 21-2 性別・世代別 政府が果たすべき役割  
(3つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数(人)	経済成長、所得、雇用の改善	貧困や格差の是正	国民の健康の増進	気候変動の抑制など環境問題への取り組み	治安の向上	人材投資・教育への取り組み	イノベーションの促進	地域コミュニティの活性化	その他
--	---------	---------------	----------	----------	---------------------	-------	---------------	------------	--------------	-----

【日本】

(%)

全体	2,215	66.2	33.8	33.8	29.8	24.8	19.0	10.3	5.9	9.5
男性	1,117	65.0	31.5	32.8	25.3	25.0	20.3	14.1	6.4	10.8
女性	1,098	67.4	36.2	34.8	34.2	24.6	17.6	6.4	5.5	8.2
10歳代	84	59.5	42.9	22.6	20.2	22.6	25.0	14.3	9.5	9.5
20歳代	334	50.9	31.4	29.3	18.3	19.5	22.2	14.7	7.8	12.9
30歳代	391	57.5	32.2	30.7	25.3	18.2	18.7	11.5	5.9	15.1
40歳代	507	70.8	34.7	33.7	29.2	24.3	19.3	10.3	5.1	8.9
50歳代	463	73.0	32.6	34.1	33.9	25.5	17.9	7.1	6.0	8.0
60歳代	436	74.3	35.6	41.7	40.6	35.1	16.3	8.5	4.6	4.4

【米国】

(%)

全体	1,330	61.1	36.3	37.6	33.5	28.4	20.7	12.9	8.0	6.2
男性	658	58.7	31.0	37.1	34.5	28.6	22.3	15.3	6.2	6.1
女性	672	63.4	41.5	38.1	32.6	28.3	19.0	10.6	9.8	6.3
10歳代	29	51.7	48.3	37.9	24.1	37.9	34.5	13.8	10.3	3.4
20歳代	298	56.0	35.6	35.6	34.2	20.5	27.2	13.1	6.4	5.7
30歳代	266	63.2	33.1	36.8	30.1	23.7	22.2	15.0	5.6	4.9
40歳代	248	62.5	38.3	39.9	34.3	25.0	20.6	14.5	8.5	6.0
50歳代	258	64.0	35.3	35.7	30.6	37.2	16.3	11.2	9.7	8.5
60歳代	231	61.5	38.5	40.7	40.3	36.8	13.9	10.4	10.4	6.1

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	47.9	48.6	32.6	45.9	25.5	21.5	14.1	6.7	4.5
男性	666	46.4	45.5	33.3	43.2	25.2	19.4	19.8	7.2	4.8
女性	656	49.4	51.8	31.9	48.6	25.8	23.6	8.4	6.1	4.3
10歳代	37	40.5	27.0	21.6	59.5	16.2	18.9	16.2	8.1	5.4
20歳代	224	46.4	36.6	33.9	45.1	17.0	29.0	16.1	4.0	4.5
30歳代	256	50.4	31.3	41.8	44.9	15.2	21.5	16.0	5.5	2.0
40歳代	237	45.1	46.8	24.5	40.1	24.5	22.4	18.1	6.8	9.3
50歳代	315	46.0	60.0	29.2	47.0	33.7	19.7	13.7	8.6	4.4
60歳代	253	52.6	67.6	35.6	49.8	35.6	16.6	7.1	7.5	2.8



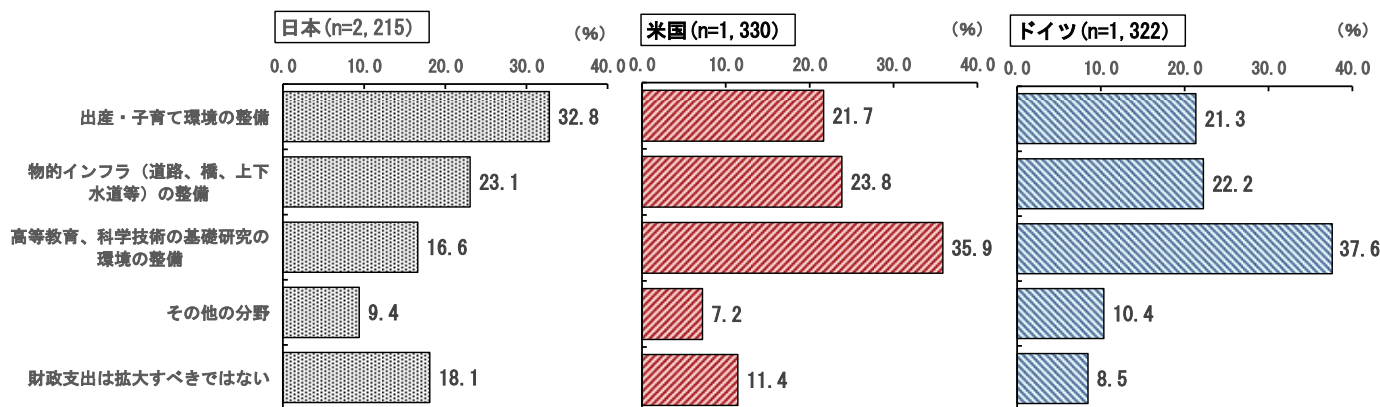
## 問 22 次世代・将来世代のために政府が支出を拡大すべき分野は

日本では、出生率・出生数の低下などを背景に「出産・子育て環境の整備」が3割強と最も高く、「物的インフラ（道路、橋、上下水道等）の整備」、「高等教育、科学技術の基礎研究の環境整備」が続いた。また、「財政支出を拡大すべきではない」も2割弱を占めた。米国、ドイツでは「高等教育、科学技術の基礎研究の環境整備」が4割弱と最も高かった。

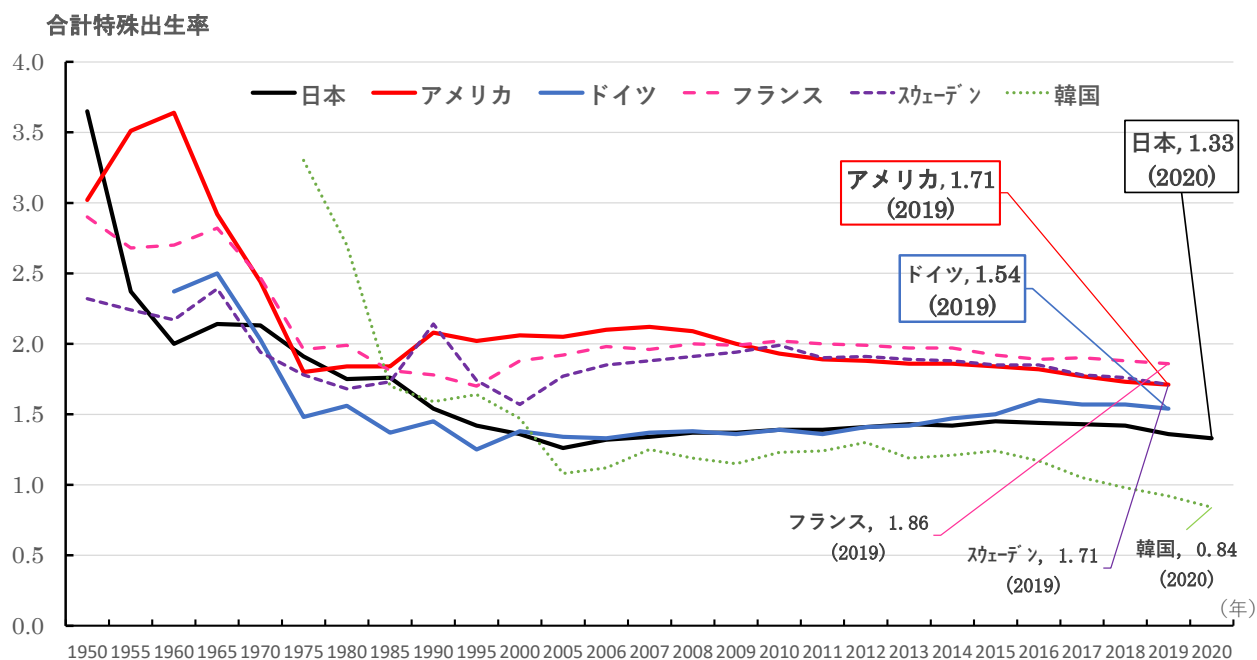
3か国を通じて、「物的インフラ」という有形資産以上に「出産・子育て」もしくは「高等教育・科学技術」という無形資産への投資を重視するという結果となった。

（注：合計特殊出生率は日本1.33（20年）、米国1.71（19年）、ドイツ1.54（19年））

図表 22-1 次世代・将来世代のために拡大すべき分野は何か  
（1つだけ回答、日本の回答結果で降順）



### <参考> 主要国の合計特殊出生率の推移



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」（2022年版）  
 主要先進国の合計特殊出生率：1950～2020年をもとに作成

図表 22-2 世代別 次世代・将来世代のために拡大すべき分野は何か  
(1つだけ回答、日本の回答結果以降順)

	回答者数 (人)	出産・子育て 環境の整備	物的インフラ (道路、橋、上 下水道等)の 整備	高等教育、科学 技術の基礎研究 の環境の整備	その他の分野	財政支出は拡大 すべきではない
--	-------------	-----------------	-----------------------------------	------------------------------	--------	--------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	32.8	23.1	16.6	9.4	18.1
男性	1,117	30.2	25.9	17.5	8.5	18.0
女性	1,098	35.5	20.2	15.8	10.3	18.2
10歳代	84	44.0	15.5	19.0	3.6	17.9
20歳代	334	31.1	19.5	16.8	5.7	26.9
30歳代	391	33.5	22.3	13.0	8.4	22.8
40歳代	507	28.2	27.0	19.5	9.3	16.0
50歳代	463	27.6	25.5	15.1	13.6	18.1
60歳代	436	42.2	20.9	17.4	9.9	9.6

【米国】

(%)

全体	1,330	21.7	23.8	35.9	7.2	11.4
男性	658	22.6	24.2	35.1	5.2	12.9
女性	672	20.7	23.5	36.6	9.2	10.0
10歳代	29	34.5	6.9	48.3	6.9	3.4
20歳代	298	27.9	18.5	38.9	7.0	7.7
30歳代	266	30.8	17.7	41.0	4.1	6.4
40歳代	248	25.4	19.4	40.3	5.6	9.3
50歳代	258	8.5	30.6	32.6	10.1	18.2
60歳代	231	12.1	37.2	23.4	9.5	17.7

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	21.3	22.2	37.6	10.4	8.5
男性	666	18.6	25.8	37.8	8.4	9.3
女性	656	24.1	18.6	37.3	12.3	7.6
10歳代	37	10.8	18.9	62.2	5.4	2.7
20歳代	224	31.7	21.4	35.7	7.1	4.0
30歳代	256	32.4	18.8	38.3	6.6	3.9
40歳代	237	19.0	23.6	37.1	10.5	9.7
50歳代	315	13.0	24.1	36.8	15.2	10.8
60歳代	253	15.0	23.3	36.4	11.5	13.8

図表 22-3 所得別 次世代・将来世代のために拡大すべき分野は何か  
(1つだけ回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	出産・子育て環境 の整備	物的インフラ (道路、橋、上下水 道等)の整備	高等教育、科学技術 の基礎研究の環境の 整備	その他の分野	財政支出は 拡大すべきでは ない
--	-------------	-----------------	-------------------------------	------------------------------	--------	------------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	32.8	23.1	16.6	9.4	18.1
～100万円未満	693	37.8	18.3	16.5	9.1	18.3
～200万円未満	269	32.3	27.5	12.6	10.0	17.5
～400万円未満	408	29.4	26.0	19.6	8.1	16.9
～600万円未満	276	35.1	25.4	17.0	8.7	13.8
～800万円未満	146	39.0	21.2	18.5	8.9	12.3
～1,000万円未満	65	18.5	36.9	24.6	6.2	13.8
1,000万円以上	76	32.9	25.0	23.7	13.2	5.3

(注)所得を「答えたくない」(n=282)と回答した人は割愛

【米国】

(%)

全体	1,330	21.7	23.8	35.9	7.2	11.4
～1万ドル未満	113	16.8	15.9	37.2	11.5	18.6
～2万ドル未満	120	22.5	25.0	26.7	13.3	12.5
～4万ドル未満	242	19.4	23.1	41.3	5.8	10.3
～6万ドル未満	231	19.5	25.1	33.8	10.0	11.7
～8万ドル未満	175	21.1	30.3	34.3	4.0	10.3
～10万ドル未満	114	16.7	29.8	38.6	2.6	12.3
10万ドル以上	269	32.7	19.3	37.5	3.7	6.7

(注)所得を「答えたくない」(n=66)と回答した人は割愛

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	21.3	22.2	37.6	10.4	8.5
～1万ユーロ未満	125	13.6	20.0	36.8	19.2	10.4
～2万ユーロ未満	206	17.5	25.7	28.2	16.0	12.6
～4万ユーロ未満	364	19.5	23.4	40.4	10.2	6.6
～6万ユーロ未満	237	21.1	24.1	38.4	8.9	7.6
～8万ユーロ未満	139	18.7	25.9	39.6	2.9	12.9
～10万ユーロ未満	86	32.6	16.3	44.2	3.5	3.5
10万ユーロ以上	86	48.8	15.1	25.6	5.8	4.7

(注)所得を「答えたくない」(n=79)人と回答した人は割愛

図表 22-4 地域別・都市規模別 次世代・将来世代のために拡大すべき分野は何か  
(1つだけ回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	出産・子育て 環境の整備	物的インフラ (道路、橋、 上下水道等) の整備	高等教育、科 学技術の基礎 研究の環境の 整備	その他の分野	財政支出は 拡大すべきで はない
--	-------------	-----------------	-----------------------------------	----------------------------------	--------	------------------------

【日本】

(%)

全体	2,215	32.8	23.1	16.6	9.4	18.1
北海道	94	24.5	25.5	16.0	16.0	18.1
東北	148	36.5	22.3	14.2	11.5	15.5
関東・甲信	831	32.3	23.6	17.3	8.2	18.7
中部	348	33.9	21.0	15.2	9.8	20.1
近畿	364	31.6	24.7	17.3	9.9	16.5
中国	121	34.7	25.6	17.4	9.9	12.4
四国	64	32.8	28.1	7.8	6.3	25.0
九州	245	35.1	18.8	18.8	9.0	18.4
政令指定都市	815	33.7	21.5	18.2	8.6	18.0
上記以外の市	1,144	34.2	22.9	16.4	9.5	17.0
町	210	25.7	29.0	14.3	11.4	19.5
村	46	15.2	28.3	4.3	10.9	41.3

【米国】

(%)

全体	1,330	21.7	23.8	35.9	7.2	11.4
北東部	232	25.9	23.3	33.6	7.8	9.5
中西部	276	20.7	23.6	30.8	8.0	17.0
南部	503	21.7	25.4	37.8	5.8	9.3
西部	319	19.4	21.9	38.9	8.5	11.3
大都市	391	32.2	18.7	39.6	3.6	5.9
中小都市	293	17.4	23.5	36.9	10.2	11.9
郊外	417	18.2	25.2	33.8	8.2	14.6
地方	229	15.3	30.6	31.9	7.9	14.4

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	21.3	22.2	37.6	10.4	8.5
北部	215	22.3	26.0	32.6	10.7	8.4
東部	251	28.3	17.1	37.8	10.8	6.0
中部	465	18.1	24.3	38.9	11.0	7.7
南部	391	20.2	21.0	38.6	9.2	11.0
大都市	461	28.0	18.4	35.6	11.5	6.5
中小都市	491	18.5	21.4	43.2	8.6	8.4
郊外	207	16.9	24.2	34.3	10.6	14.0
地方	163	16.6	33.1	30.7	12.3	7.4

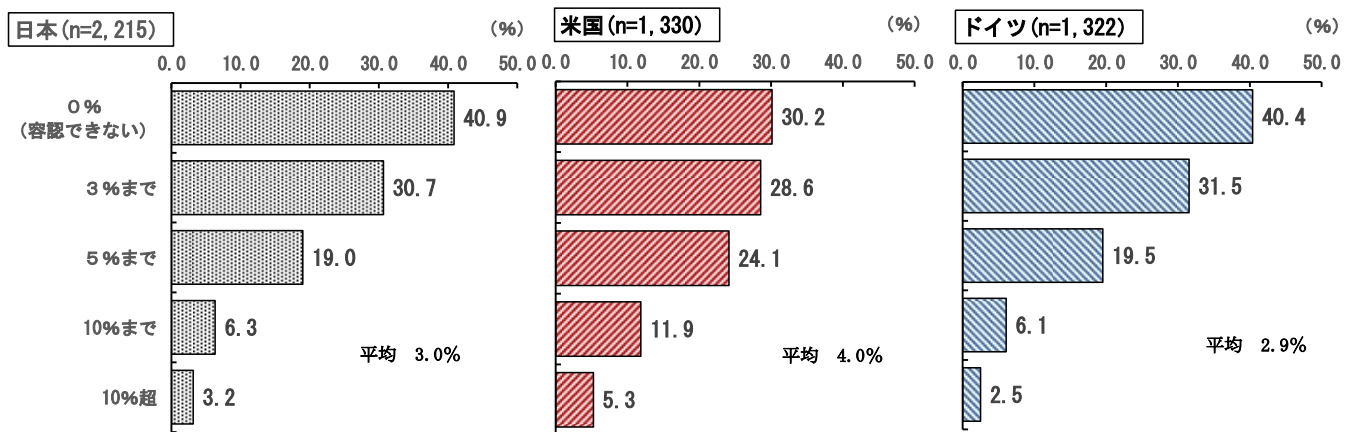
**問 23 次世代・将来世代のために政府が財政支出を拡大する場合、あなた自身は税負担をどの程度まで容認できるか**

日本とドイツでは、次世代・将来世代のためであっても増税は容認できないとした人が4割程度、容認できる人は6割程度となり、容認できる増税幅は、全体の平均で約3%となった。米国では、容認する人が7割程度となり、容認できる増税幅は平均で約4%となった。

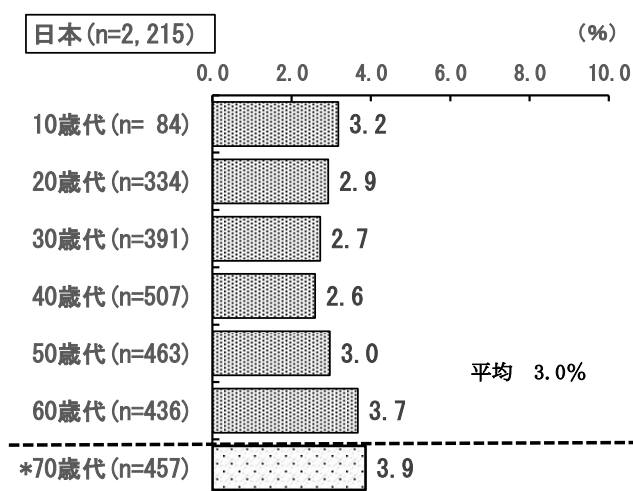
年齢別にみると、日本では米国、ドイツとは異なり、高齢層で容認できる増税幅がやや高めとなり、「シルバー民主主義」といわれるような状況とは異なる結果となった。

3か国とも、高所得層ほど、また政府への信頼度が高いほど容認できる増税幅が高めとなった。

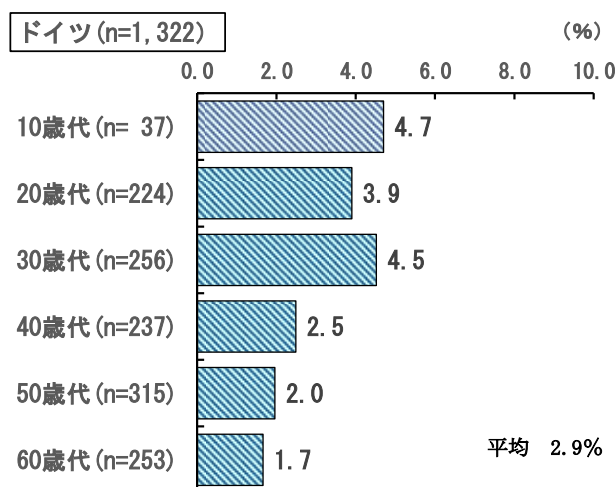
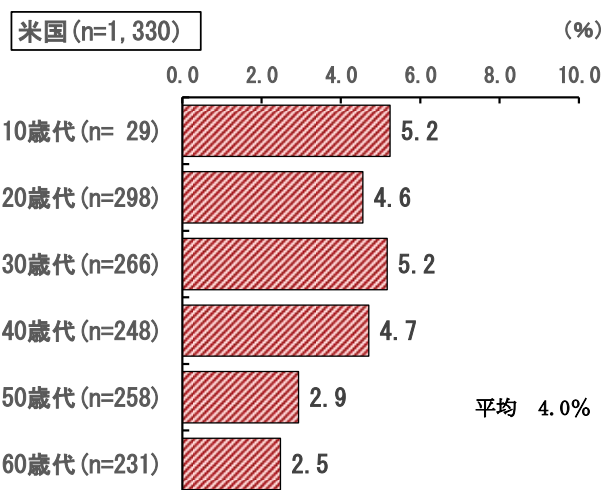
**図表 23-1 次世代・将来世代のために税負担をどの程度まで容認できるか（1つだけ回答）**



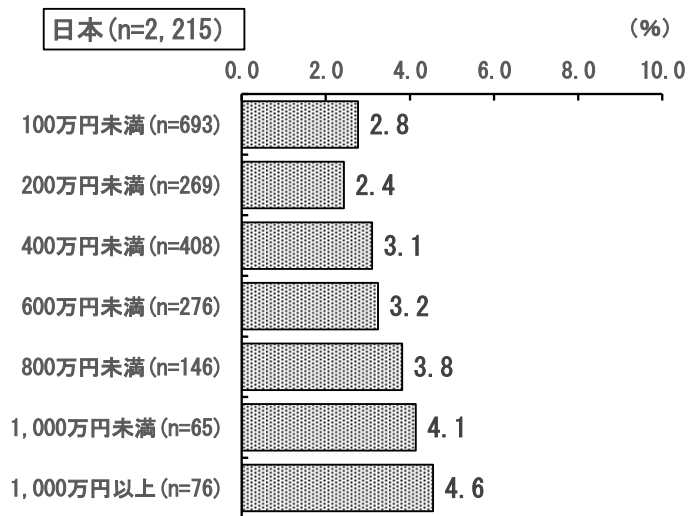
図表 23-2 世代別 次世代・将来世代のために税負担をどの程度まで容認できるか（平均）



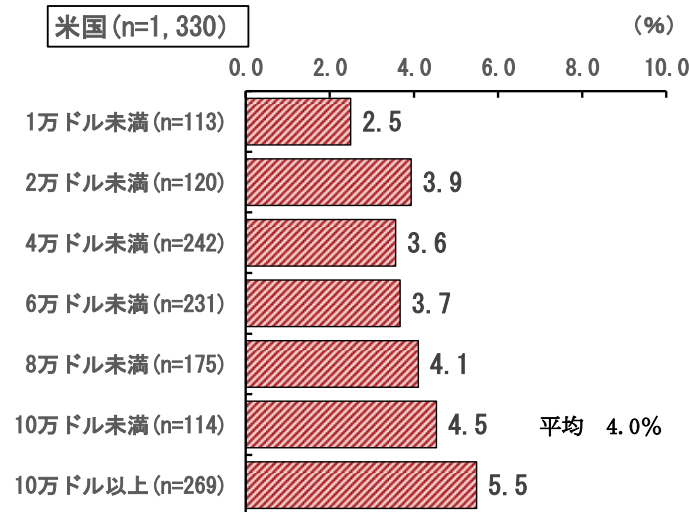
(注) 日本は70歳代も調査を実施。平均は60歳代までで算出。



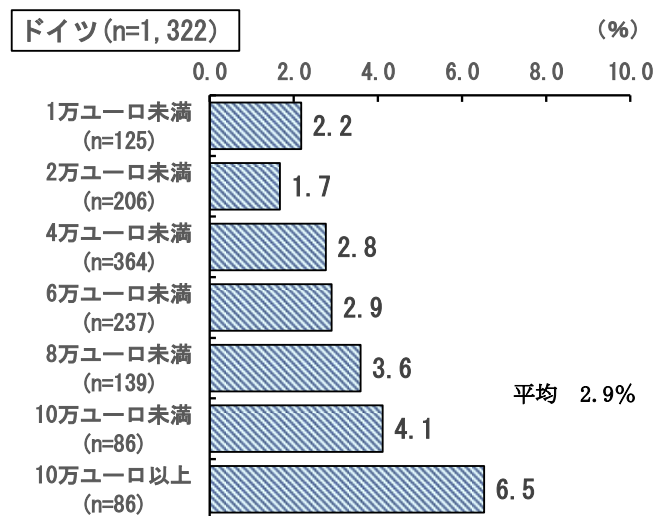
図表 23-3 所得別 次世代・将来世代のために税負担をどの程度まで容認できるか（平均）



(注) 所得を「答えたくない」と回答した人 (n=282) の平均は 2.5%

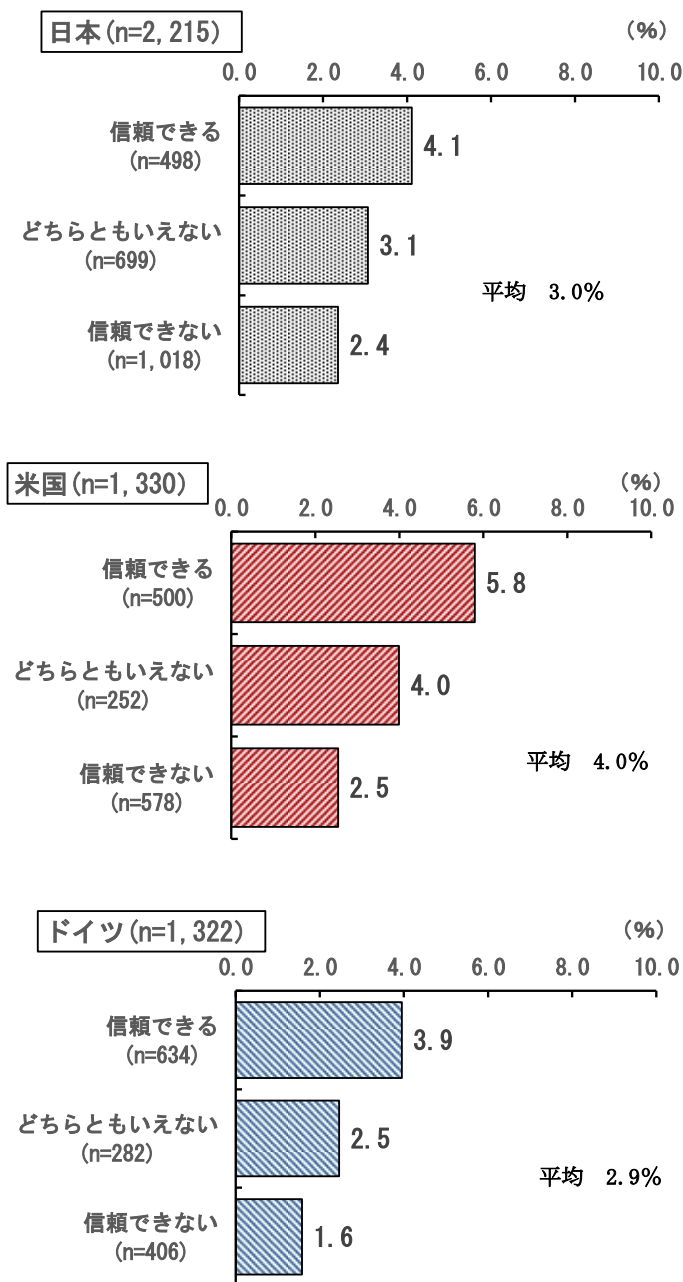


(注) 所得を「答えたくない」と回答した人 (n=66) の平均は 3.0%



(注) 所得を「答えたくない」と回答した人 (n=79) の平均は 1.4%

図表 23—4 政府信頼度別 次世代・将来世代のために税負担をどの程度まで容認できるか  
(平均)





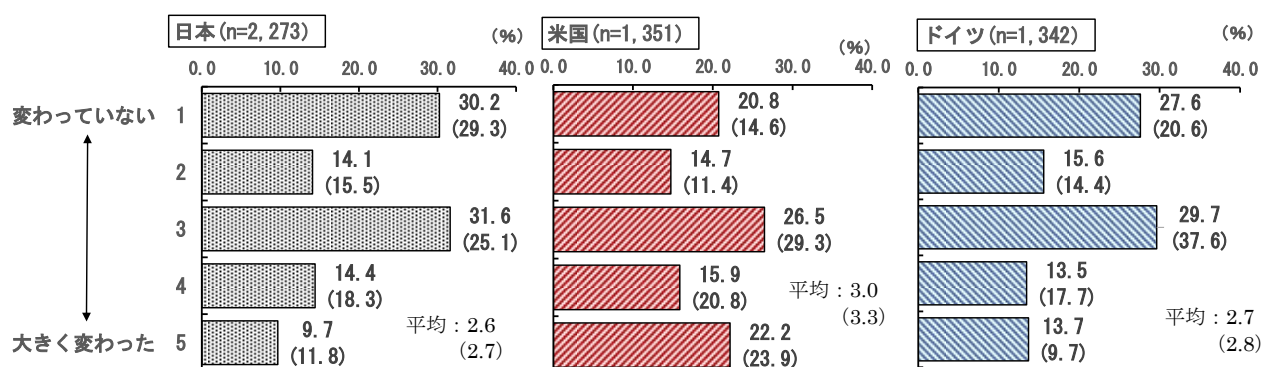
## <新型コロナ感染症についての意識>

### 問 24 新型コロナ感染症（COVID19）の拡大により、働き方、生活がどの程度変化したか（5段階評価）

「新型コロナ感染症（COVID19）の拡大により、働き方、生活がどの程度変化したか」については、3か国とも、「変わっていない」とする回答が2割～3割ある一方、「変化した」とする回答（5段階で3～5）が5割～6割を占めた。年齢別、所得別にみて、3か国とも大きな違いはみられなかった。

過去1年間で、感染者数は3か国、特に、日本で増加したものの、行動規制が大きく緩和された米国、ドイツでは「変わっていない」との回答が増加した。日本では前回調査からの変化は小さかった。都市規模別でみると、3か国とも大都市での変化が大きめとなった。

図表 24-1 働き方、生活の変化の程度  
(5段階評価：変わっていない=1点～大きく変わった=5点)



(注) ( ) 内は21年調査の数値

## <参考> 新型コロナウイルスの感染者数・死者数（日本・米国・ドイツ）

数値の（上段）2022/9/8時点（下段）2021/8/30時点  
(人)

	日本	米国	ドイツ
感染者数（累計）	19,882,749	95,118,482	22,422,084
	1,473,653	39,057,368	3,947,035
人口100万人あたり感染者数	157,736	285,713	386,435
	11,653	117,997	47,110
死者数（累計）	42,110	1,049,749	148,217
	16,005	638,711	92,208

(出典) 米国ジョンズ・ホプキンス大学の発表をもとに作成

図表 24-2 性別・世代別 働き方、生活の変化の程度  
(変わっていない：1点～大きく変わった：5点)

	回答者数 (人)	1 変わっていない	2	3	4	5 大きく変わった	平均 (点)
			←		→		

【日本】

(%)

全体	2,215	30.2	14.1	31.6	14.4	9.7	2.6
男性	1,117	27.4	14.0	33.8	15.0	9.9	2.7
女性	1,098	33.2	14.2	29.4	13.8	9.4	2.5
10歳代	84	16.7	11.9	41.7	21.4	8.3	2.9
20歳代	334	21.9	13.5	42.5	14.1	8.1	2.7
30歳代	391	29.2	15.9	32.0	15.3	7.7	2.6
40歳代	507	34.1	13.0	29.4	14.0	9.5	2.5
50歳代	463	31.3	13.0	28.7	12.5	14.5	2.7
60歳代	436	34.6	15.8	26.6	14.9	8.0	2.5

【米国】

(%)

全体	1,330	20.8	14.7	26.5	15.9	22.2	3.0
男性	658	19.9	14.3	26.6	17.6	21.6	3.1
女性	672	21.6	15.2	26.3	14.1	22.8	3.0
10歳代	29	20.7	13.8	31.0	10.3	24.1	3.0
20歳代	298	17.4	15.8	28.2	16.4	22.1	3.1
30歳代	266	14.7	11.3	24.1	21.8	28.2	3.4
40歳代	248	19.0	12.1	30.2	13.7	25.0	3.1
50歳代	258	27.5	17.1	25.6	12.8	17.1	2.7
60歳代	231	26.4	17.7	23.4	14.7	17.7	2.8

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	27.6	15.6	29.7	13.5	13.7	2.7
男性	666	27.3	18.8	26.4	13.7	13.8	2.7
女性	656	27.9	12.3	32.9	13.3	13.6	2.7
10歳代	37	21.6	32.4	29.7	16.2	—	2.4
20歳代	224	14.3	17.9	36.6	15.6	15.6	3.0
30歳代	256	14.8	18.4	27.3	16.8	22.7	3.1
40歳代	237	28.7	16.0	29.1	11.8	14.3	2.7
50歳代	315	37.5	12.7	27.3	11.7	10.8	2.5
60歳代	253	39.9	11.5	29.2	11.5	7.9	2.4

図表 24-3 所得別 働き方、生活の変化の程度  
(変わっていない：1点～大きく変わった：5点)

	回答者数 (人)	1 変わっていない	2	3	4	5 大きく変わった	平均(点)
			←		→		

【日本】

(%)

全体	2,215	30.2	14.1	31.6	14.4	9.7	2.6
～100万円未満	693	36.5	12.0	29.7	12.3	9.5	2.5
～200万円未満	269	40.5	15.2	24.5	12.3	7.4	2.3
～400万円未満	408	28.2	16.9	32.8	13.7	8.3	2.6
～600万円未満	276	21.0	16.3	35.1	18.1	9.4	2.8
～800万円未満	146	16.4	15.1	37.0	15.8	15.8	3.0
～1,000万円未満	65	16.9	20.0	27.7	16.9	18.5	3.0
1,000万円以上	76	17.1	13.2	31.6	27.6	10.5	3.0

(注)所得を「答えたくない」(n=282)と回答した人の平均は2.6点

【米国】

(%)

全体	1,330	20.8	14.7	26.5	15.9	22.2	3.0
～1万ドル未満	113	25.7	15.9	19.5	7.1	31.9	3.0
～2万ドル未満	120	22.5	13.3	30.8	12.5	20.8	3.0
～4万ドル未満	242	22.7	14.9	30.6	11.6	20.2	2.9
～6万ドル未満	231	24.2	14.3	28.1	13.9	19.5	2.9
～8万ドル未満	175	20.6	17.1	26.3	16.0	20.0	3.0
～10万ドル未満	114	17.5	14.9	25.4	21.1	21.1	3.1
10万ドル以上	269	12.6	13.0	24.5	22.3	27.5	3.4

(注)所得を「答えたくない」(n=66)と回答した人の平均は2.7点

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	27.6	15.6	29.7	13.5	13.7	2.7
～1万ユーロ未満	125	40.0	10.4	22.4	14.4	12.8	2.5
～2万ユーロ未満	206	40.3	16.5	26.7	9.7	6.8	2.3
～4万ユーロ未満	364	29.7	13.7	31.9	11.8	12.9	2.6
～6万ユーロ未満	237	24.9	18.6	32.5	11.4	12.7	2.7
～8万ユーロ未満	139	15.8	18.7	37.4	18.0	10.1	2.9
～10万ユーロ未満	86	8.1	15.1	27.9	27.9	20.9	3.4
10万ユーロ以上	86	18.6	10.5	16.3	15.1	39.5	3.5

(注)所得を「答えたくない」(n=79)と回答した人の平均は2.6点

図表 24-4 地域別・都市規模別 働き方、生活の変化の程度  
(変わっていない：1点～大きく変わった：5点)

	回答者数 (人)	1 変わっていない	2	3	4	5 大きく変わった	平均 (点)
		←————→					

【日本】

(%)

全体	2,215	30.2	14.1	31.6	14.4	9.7	2.6
北海道	94	25.5	19.1	28.7	11.7	14.9	2.7
東北	148	39.2	11.5	29.7	10.8	8.8	2.4
関東・甲信	831	27.0	13.5	31.6	16.0	11.9	2.7
中部	348	28.7	13.8	35.3	14.1	8.0	2.6
近畿	364	31.9	15.4	32.4	13.2	7.1	2.5
中国	121	40.5	14.0	25.6	12.4	7.4	2.3
四国	64	31.3	23.4	29.7	12.5	3.1	2.3
九州	245	32.2	11.8	30.6	15.9	9.4	2.6
政令指定都市	815	26.9	15.0	30.9	14.7	12.5	2.7
上記以外の市	1,144	31.6	13.8	32.1	14.3	8.1	2.5
町	210	33.3	12.9	32.4	14.3	7.1	2.5
村	46	41.3	10.9	28.3	10.9	8.7	2.3

【米国】

(%)

全体	1,330	20.8	14.7	26.5	15.9	22.2	3.0
北東部	232	22.0	16.4	32.8	13.4	15.5	2.8
中西部	276	21.7	15.9	23.9	17.8	20.7	3.0
南部	503	22.3	13.9	25.0	15.3	23.5	3.0
西部	319	16.6	13.8	26.3	16.9	26.3	3.2
大都市	391	12.0	9.7	29.7	20.5	28.1	3.4
中小都市	293	22.5	14.7	27.6	16.0	19.1	2.9
郊外	417	24.5	19.2	23.0	14.9	18.5	2.8
地方	229	26.6	15.3	25.8	9.6	22.7	2.9

【ドイツ】

(%)

全体	1,322	27.6	15.6	29.7	13.5	13.7	2.7
北部	215	30.7	12.6	30.2	13.5	13.0	2.7
東部	251	29.5	15.5	25.9	10.0	19.1	2.7
中部	465	28.6	16.8	31.0	12.3	11.4	2.6
南部	391	23.5	15.9	30.2	17.1	13.3	2.8
大都市	461	24.7	15.2	26.5	13.4	20.2	2.9
中小都市	491	26.7	16.3	33.8	14.1	9.2	2.6
郊外	207	32.4	15.9	26.6	15.0	10.1	2.5
地方	163	32.5	14.1	30.1	9.8	13.5	2.6

図表 24-5 政府信頼度別 働き方、生活の変化の程度  
(変わっていない：1点～大きく変わった：5点)

	回答者数 (人)	1 変わって いない	2	3	4	5 大きく 変わった	平均(点)
--	-------------	------------------	---	---	---	------------------	-------

【日本】

(%)

全体	2,215	30.2	14.1	31.6	14.4	9.7	2.6
信頼できる	498	25.9	15.9	30.5	18.7	9.0	2.7
どちらともいえない	699	26.0	13.0	42.1	12.2	6.7	2.6
信頼できない	1,018	35.3	13.9	25.0	13.9	12.0	2.5

【米国】

(%)

全体	1,330	20.8	14.7	26.5	15.9	22.2	3.0
信頼できる	500	12.2	13.0	26.6	23.6	24.6	3.4
どちらともいえない	252	24.6	18.3	28.2	11.5	17.5	2.8
信頼できない	578	26.5	14.7	25.6	11.1	22.1	2.9

【ドイツ】

(%)

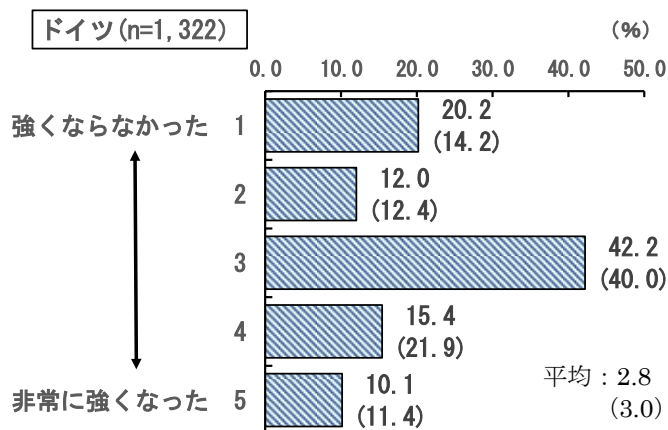
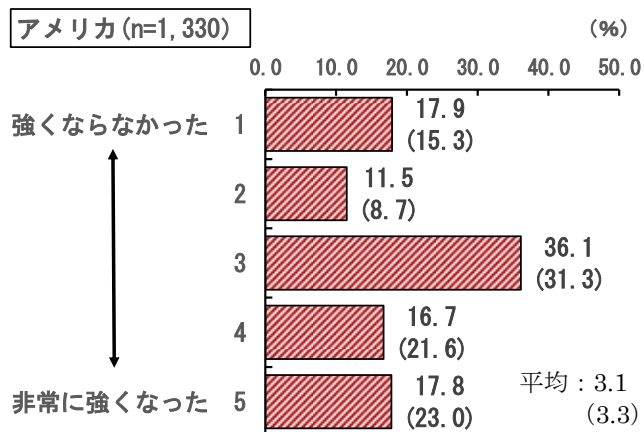
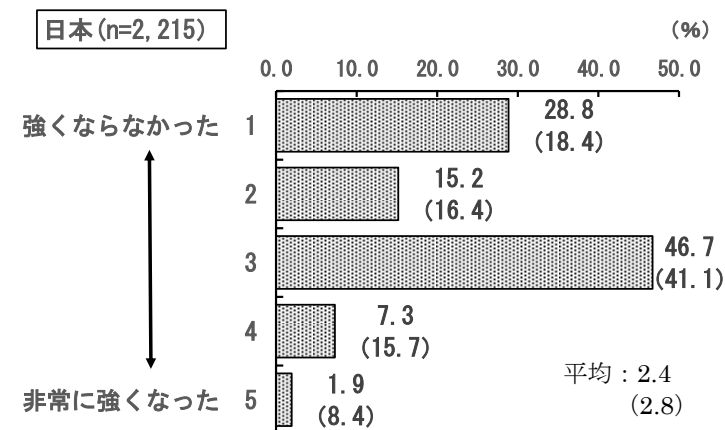
全体	1,322	27.6	15.6	29.7	13.5	13.7	2.7
信頼できる	634	21.9	16.1	30.3	15.5	16.2	2.9
どちらともいえない	282	32.3	14.5	33.3	11.7	8.2	2.5
信頼できない	406	33.3	15.5	26.1	11.6	13.5	2.6

問 25 新型コロナ感染症（COVID19）が拡大する中で、社会とのつながりの重要性への  
 思いは強くなったか否か（5段階評価）

日本では、5段階評価の3が最多となり、平均値は2.4となった。

米国では、3が最多となったが、4、5も多く、平均値は3.1となった。都市規模別では大都市で大きい値となった。ドイツでは、平均値が2.8となった。

図表 25 社会とのつながりの重要性への思いは強くなったか  
 （強くならなかった：1点～非常に強くなった：5点）



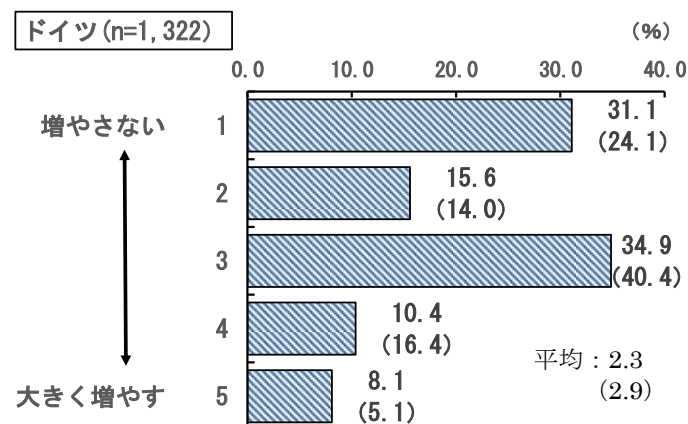
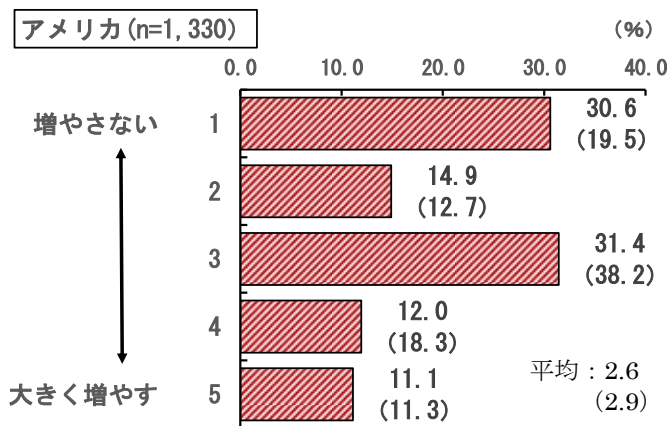
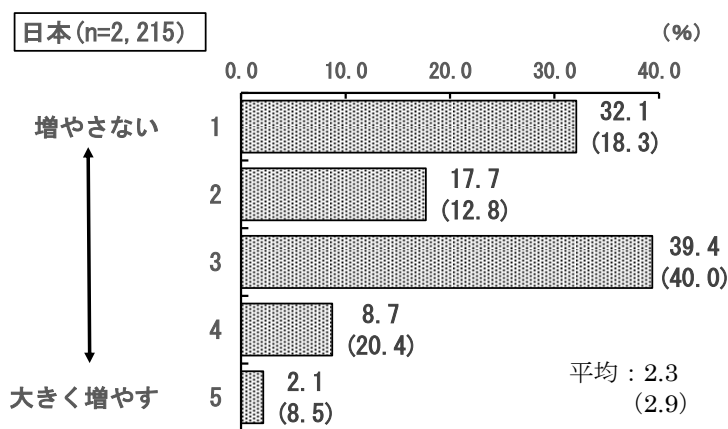
(注) ( ) 内は21年調査の数値。なお、21年調査は「社会とのつながりの重要性を感じたか否か」を尋ねた。

問 26 コロナの収束後、消費支出（外食、観劇・スポーツ、旅行など）を増やすか否か（5段階評価）

「コロナの収束後に消費支出を増やすか」という点については、3か国とも「増やさない」が3割程度を占めたが、残りの約7割はある程度増やすと回答した。

新型コロナへの規制は緩和された、もしくは緩和されつつあるものの、他方で、物価の高騰や景気見通しの悪化などを背景に、3か国ともに、支出を「増やさない」との回答が増加し、「増やす」は減少した。

図表 26 コロナ危機が収まった後、支出を増やそうと思うか・回答割合  
（増やさない：1点～大きく増やす：5点）



(注) ( ) 内は 21 年調査の数値

## <エネルギーの安定供給のために必要な対応>

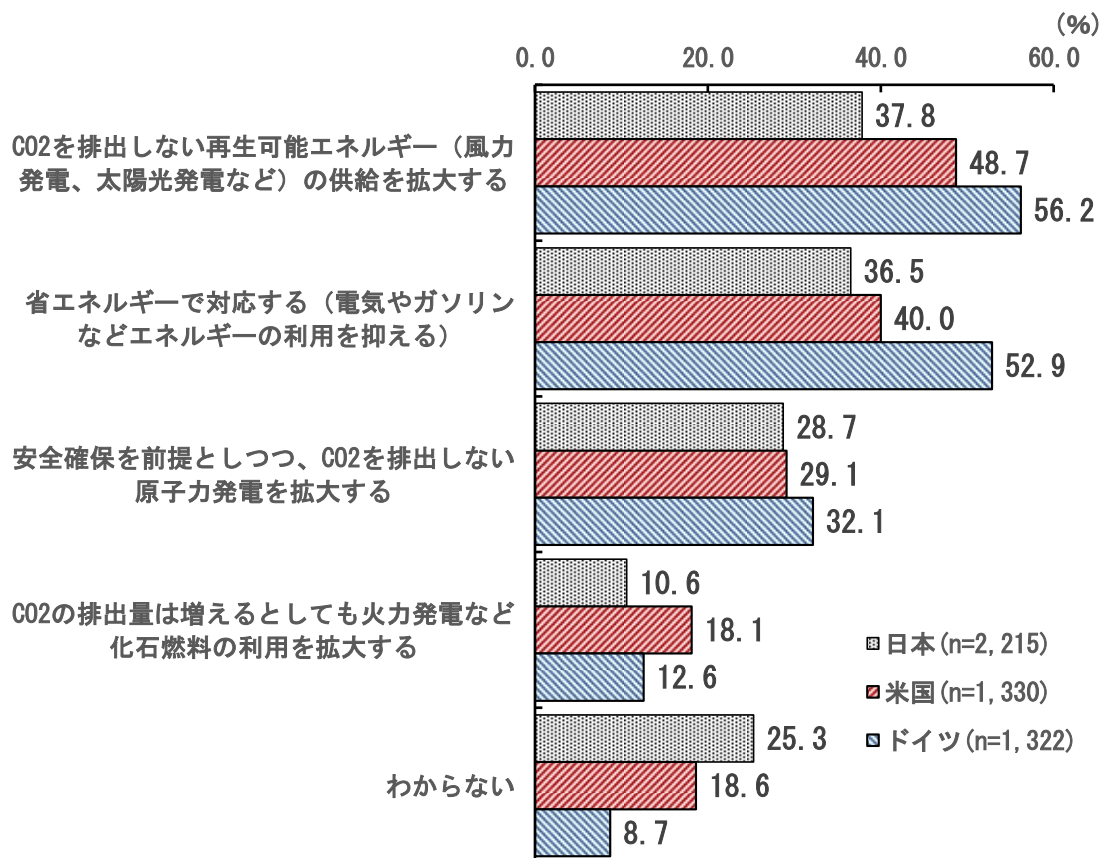
### 問 27 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか

ロシアのウクライナ侵攻を背景に、世界的にエネルギーの供給制約への懸念が強まっている。こうしたことから、「エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか」を質問した。

対応として、3 か国とも「再生可能エネルギーの供給拡大」、「省エネルギー」の回答割合が高く、特に、ドイツでは高い割合を示した。また、「安全確保を前提としつつ、CO2を排出しない原子力発電を拡大する」との回答は、3 か国とも3割前後となった。

日本では、政府を信頼できると回答した人の4割強が「原子力発電を拡大する」を選択したのに対し、政府を信頼できないと回答した人では、2割強にとどまった。

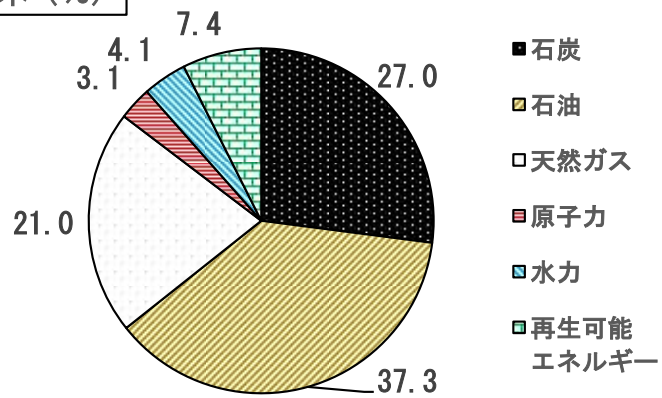
図表 27—1 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか  
(2つまで回答、日本の回答結果で降順)



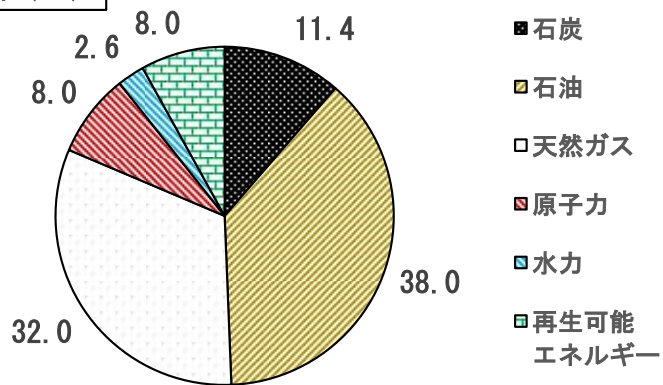


<参考> 3か国一次エネルギーの構成比

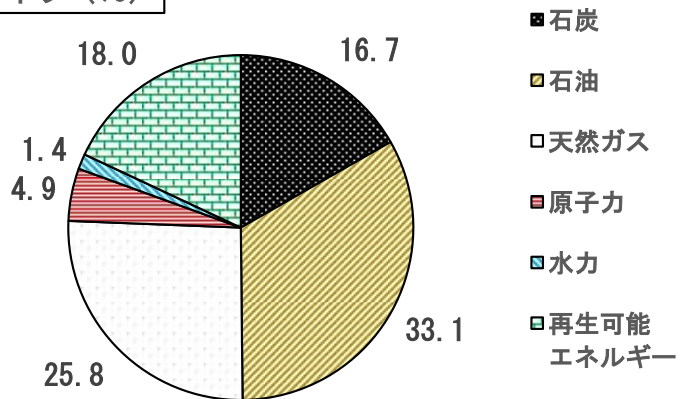
日本 (%)



米国 (%)



ドイツ (%)



(出典) 一般財団法人日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」をもとに作成。

図表 27-2 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか  
(2つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	CO <sub>2</sub> を排出しない再生可能エネルギーの供給を拡大する	省エネルギーで対応する	安全確保を前提としつつ、CO <sub>2</sub> を排出しない原子力発電を拡大する	CO <sub>2</sub> の排出量は増えるとしても火力発電など化石燃料の利用を拡大する	わからない
--	----------	---	-------------	--	--	-------

【日本】 (%)

全体	2,215	37.8	36.5	28.7	10.6	25.3
10歳代	84	42.9	33.3	22.6	8.3	29.8
20歳代	334	30.2	26.9	25.7	11.4	36.8
30歳代	391	29.9	29.2	27.9	10.7	32.7
40歳代	507	33.7	32.7	31.8	10.8	27.4
50歳代	463	42.1	41.0	27.4	10.8	21.2
60歳代	436	50.0	50.7	30.7	9.9	10.8

【米国】 (%)

全体	1,330	48.7	40.0	29.1	18.1	18.6
10歳代	29	41.4	48.3	34.5	10.3	17.2
20歳代	298	51.7	42.6	27.9	12.8	19.5
30歳代	266	52.6	40.2	30.8	13.2	15.8
40歳代	248	49.6	41.5	31.0	18.5	16.1
50歳代	258	45.3	32.9	25.2	24.4	22.9
60歳代	231	44.2	41.6	30.3	24.2	19.0

【ドイツ】 (%)

全体	1,322	56.2	52.9	32.1	12.6	8.7
10歳代	37	59.5	40.5	29.7	16.2	5.4
20歳代	224	50.4	48.7	34.4	11.2	7.6
30歳代	256	64.8	52.3	27.3	8.6	6.6
40歳代	237	49.4	46.0	29.5	13.9	14.8
50歳代	315	58.4	58.1	31.7	13.0	8.3
60歳代	253	55.7	58.9	38.3	15.4	7.1

図表 27-3 所得別 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか  
(2つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数(人)	CO <sub>2</sub> を排出しない再生可能エネルギーの供給を拡大する	省エネルギーで対応する	安全確保を前提としつつ、CO <sub>2</sub> を排出しない原子力発電を拡大する	CO <sub>2</sub> の排出量は増えるとしても火力発電など化石燃料の利用を拡大する	わからない
--	---------	---	-------------	--	--	-------

【日本】 (%)

全体	2,215	37.8	36.5	28.7	10.6	25.3
～100万円未満	693	39.4	40.0	24.8	9.7	24.8
～200万円未満	269	37.2	34.6	30.1	13.8	22.7
～400万円未満	408	39.7	36.5	33.3	12.7	20.6
～600万円未満	276	41.7	39.1	33.0	10.5	19.2
～800万円未満	146	40.4	40.4	29.5	11.6	19.2
～1,000万円未満	65	46.2	38.5	36.9	9.2	12.3
1,000万円以上	76	36.8	42.1	46.1	14.5	14.5

(注) 所得を「答えたくない」(n=282)とした人の構成は割愛

【米国】 (%)

全体	1,330	48.7	40.0	29.1	18.1	18.6
～1万ドル未満	113	34.5	35.4	17.7	11.5	39.8
～2万ドル未満	120	54.2	44.2	20.8	14.2	22.5
～4万ドル未満	242	48.8	38.0	28.9	16.1	18.6
～6万ドル未満	231	52.4	39.0	30.3	17.3	15.2
～8万ドル未満	175	49.1	36.6	26.9	18.9	19.4
～10万ドル未満	114	57.9	39.5	36.0	23.7	8.8
10万ドル以上	269	48.7	46.1	38.3	23.8	8.2

(注) 所得を「答えたくない」(n=66)とした人の構成は割愛

【ドイツ】 (%)

全体	1,322	56.2	52.9	32.1	12.6	8.7
～1万ユーロ未満	125	49.6	43.2	39.2	16.0	12.8
～2万ユーロ未満	206	53.9	53.4	32.0	11.7	9.7
～4万ユーロ未満	364	58.0	53.6	29.4	13.5	9.3
～6万ユーロ未満	237	56.1	48.9	35.4	16.0	7.2
～8万ユーロ未満	139	51.8	53.2	40.3	9.4	6.5
～10万ユーロ未満	86	60.5	58.1	36.0	7.0	2.3
10万ユーロ以上	86	69.8	70.9	17.4	9.3	1.2

(注) 所得を「答えたくない」(n=79)とした人の構成は割愛

図表 27-4 政府信頼度別 エネルギーの安定供給のためにどんな対応が望ましいか  
(2つまで回答、日本の回答結果で降順)

	回答者数 (人)	CO <sub>2</sub> を排出しない再生 可能エネルギーの供給を 拡大する	省エネルギーで対応する	安全確保を前提としつ つ、CO <sub>2</sub> を排出しない 原子力発電を拡大する	CO <sub>2</sub> の排出量は増える としても火力発電など化 石燃料の利用を拡大する	わからない
--	-------------	---	-------------	--	--	-------

【日本】 (%)

全体	2,215	37.8	36.5	28.7	10.6	25.3
信頼できる	498	45.8	44.8	43.2	10.4	9.8
どちらともいえない	699	34.3	30.3	25.0	9.2	33.3
信頼できない	1,018	36.3	36.7	24.2	11.7	27.3

【米国】 (%)

全体	1,330	48.7	40.0	29.1	18.1	18.6
信頼できる	500	57.0	50.0	31.8	14.2	9.6
どちらともいえない	252	46.8	37.3	23.8	8.7	28.6
信頼できない	578	42.4	32.5	29.1	25.6	22.1

【ドイツ】 (%)

全体	1,322	56.2	52.9	32.1	12.6	8.7
信頼できる	634	65.8	61.5	26.7	6.9	5.0
どちらともいえない	282	51.8	48.6	30.9	11.3	14.2
信頼できない	406	44.3	42.4	41.6	22.2	10.6

※本調査の結果を引用される際は、出典として（一社）経済社会システム総合研究所「KAITEKI 研究会」と明記されたい。

一般社団法人 経済社会システム総合研究所

【所在地】 東京都千代田区麴町3-5-2 ビュレックス麴町9階（〒102-0083）

【電話】 03-5216-7311（代表）

【URL】 <https://iess.or.jp>